

屋根、はり、もや、けた、合掌を起因物（小）とする死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 (小) コード	事故 の型 コー ド	労 働 者 規 模
2022	1	8 ～ 10	平屋住宅の屋根修繕工事の準備作業として、屋根瓦に足掛かりを取り付けるため、勾配屋根を移動しているときに高さ約4mから墜落したものの。入院加療していたが、数日後に死亡したものの。	030202	1	1～ 9
2022	1	8 ～ 10	木造2階建て建物の2階屋根において、事業主と被災者の2名が高圧洗浄機を用い瓦屋根の洗浄作業をしている際、被災者がバランスを崩して、約5メートル下の地面に墜落したものの。	030209	1	1～ 9
2022	2	16 ～ 18	被災者は、塗装を行っていた工場の屋根の端部を移動中、バランスを崩し外部足場の手すり足場板の間から約1.5m下の地面に墜落したものの。外部足場に、中さんおよび巾木はなかった。	030209	1	10 ～ 29
2022	2	12 ～ 14	工場屋根改修工事において、スレート屋根上で作業していた被災者が、明り取り箇所の塩化ビニール製波板を踏み抜いて、約6m下の床に墜落したものの。	030201	1	0
2022	2	16 ～ 18	被災者（3次下請）は躯体の2階屋上にて近隣敷地へ粉じんが飛散するのを防止するためのシートを設置していた。シートの設置作業を終えた被災者は事務所へ戻ろうと2階屋上を歩いていたところ、何らかの原因で2階屋上の天窓を踏み抜いてしまい墜落した。	030201	1	50 ～ 99
2022	2	10 ～ 12	2階建ての木造一戸建て住宅の建設工事現場において、建前作業に従事していた被災者が、1階床面から高さ約2.5mの1階梁から1階床面に墜落し、頸髄損傷となったものの。被災者は事故後病院に搬送され、入院加療していたが、数日後に死亡した。	030202	1	1～ 9

2022	3	10 ～ 12	被災者が事業場の屋根の上に発生した靄の発生原因を調べるため、乾燥・イットリアセクション建屋のスレート屋根に上がり移動していたところ、スレート屋根を踏み抜き、5.7メートル下の建屋内クリーンルーム屋上部分に落下し死亡したもの。	010801	1	1～ 9
2022	3	16 ～ 18	個人宅のテラス上に設置された屋根の葺替え工事中、被災者は屋根上でポリカーボネート樹脂製屋根材のビス止め作業を行っていたところ、地上から278センチメートルの当該屋根先端部から墜落したもの。	030202	1	1～ 9
2022	3	12 ～ 14	倉庫のスレート屋根上において、被災者はコーキング補修を行っていたところ、スレート屋根を踏み抜き、約6.5メートルの高さから墜落したもの。	030209	1	1～ 9
2022	4	14 ～ 16	清掃等の作業を事業場A構内で担う事業者の被災労働者が屋根からの雨漏りを端緒として事業場A工場屋根修理を実施していた。修理に伴い、箒などで土ぼこりを清掃していた被災労働者が樹脂製波板とスレートの重ね合わせ（境界）部を踏み抜き墜落した。	030209	1	1～ 9
2022	6	10 ～ 12	平屋の木造建屋の建て方作業中、移動式クレーンでつり上げた棟木を南北方向に4本並んだ柱上に載せる作業を行っていた時に、北側2本目の柱と接続していた梁及び柱がねじれて倒壊し、落下箇所で作業していた被災者の頭部にぶつかった。	030202	5	1～ 9
2022	6	12 ～ 14	被災者は、冷凍倉庫屋根の改修工事現場において、何らかの原因により、屋根の端部から地上まで、途中、足場に引っ掛かりながら約7m墜落し被災したもの。被災者は昏睡状態のまま入院治療を継続していたが、後日、肺炎により死亡した。	030209	1	1～ 9
2022	7	12 ～ 14	自動車整備業者の敷地内における建屋のスレート屋根改修工事中、スレートを踏み抜き、約5m下の建屋の床に墜落したもの。災害発生当初は意識もあり、会話も可能であったが、災害発生当日の夜に容体が急変し、2日後に死亡した。災害発生当時、屋根上に歩み板及び防網は取り付けられておらず、また、被災者は保護帽及び墜落制止用器具を身に付けていなかった。	030209	1	1～ 9

2022	7	14 ～ 16	木造2階建て住宅の建方作業において、1階梁上（2階床面）で作業を行っていた被災者が、約3m下に墜落したものの。1. 8m×2スパンの梁の間に桁行方向に4mの足場板が掛かっていたが、足場板がずれて跳ね出しになっており、そこに乗ったことで体勢を崩し足場板とともに墜落した。同日入院し2日後に死亡が確認された。	030202	1	1～ 9
2022	8	16 ～ 18	工場増築工事現場において、新設するストックヤードの折板の屋根葺き工事中に、被災者が折板材同士の継ぎ目部分であるハゼを自動ハゼ締機を使用して締め付け固定する作業を行っていたところ、被災者が屋根の南西側から地上に墜落したものの。	030209	1	1～ 9
2022	8	14 ～ 16	被災者は木造3階建てアパート解体工事において2階住宅部で高さ1.7mの脚立に乗り、電動チェーンソーを使用し梁を切断する作業を行っていた。下請作業員が床にうつぶせの状態で見えている被災者を発見したものの。被災者に意識はなく、搬送先の病院で頸椎損傷で死亡した。	030209	4	1～ 9
2022	8	14 ～ 16	戸建て住宅（木造2階建て）の新築工事現場において、被災者が2階床部分の梁の上（基礎部分からの高さ3.18メートル）で建て方の作業を行っていたところ、バランスを崩し、基礎部分のコンクリート上に墜落したものの。	030202	1	1～ 9
2022	9	14 ～ 16	屋根上で太陽光温水パネルの接続配管交換作業中、屋根の軒先から墜落（高さ7.43m）した。	030203	1	1～ 9
2022	9	10 ～ 12	民家倉庫のスレート屋根改修工事において、被災者は立て掛けた梯子から屋根に上り、補修箇所寸法を計測していたところ、当該スレート屋根を踏み抜き高さ4.7m下の地上に墜落した。	030202	1	1～ 9
2022	9	10 ～ 12	2階建て一軒家の瓦葺き替え工事において、被災者は、瓦上げ機を使用して、高さ約3.8mの1階屋根上の端で、瓦の上げ下ろし作業を行っていたところ、地面に墜落した。	030202	1	1～ 9
		10	被災者は倉庫の屋根材の材質調査のため、同倉庫の屋根に登ったところ			1～

2022	10	～	ろ、屋根（スレート材）を踏み抜き、倉庫内のコンクリート床に墜落し	011305	1		9
		12	た。なお、墜落箇所から地面までの高さは11.75mであった。				
2022	10	～	2階建て住宅兼倉庫（1階が倉庫、2階が木造住宅）の2階住宅部分を				
		12	解体する工事現場において、被災者は高さ約7メートルの2階屋根に上				
		～	がって2階屋根の垂木をバールを用いて取外す作業をしていたところ、	030209	1		1～
		14	1階コンクリートの地面に墜落し死亡したもの。災害発生時、足場は設				9
			置されておらず、被災者はヘルメットを着用、墜落制止用器具は使用し				
			ていなかった。				
2022	10	～	台風で被害を受けた工場建屋のスレート屋根の修理のため、スレート屋				
		14	根上で被災者を含む作業員3名で作業を行っていたところ、被災者が屋				
		～	根の明り取り板を踏み抜いて、約1.5mの下の建屋内に墜落した。被災	030209	1		1～
		16	者は、墜落した際に高さ1.47mのロール機の端に激突した後、コン				9
			クリートの土間に墜落した。				
2022	10	～	被災者は個人邸宅の車庫のスレート屋根が破損している個所を修繕して				
		16	いたが、作業終了の連絡がないことを不審に思った施主が様子を見に				
		～	行ったところ、頭から血を流しながら座り込んでいる被災者を発見し	030209	1		1～
		18	た。その後、死亡が確認された。				9
2022	10	～	自社工場の雨漏り補修をするため、被災者含む2名で工場のスレート波				
		14	板の屋根上で補修作業中、スレート波板の屋根を踏み抜き、8.1メー				
		～	トル下の工場土間に墜落した。	030209	1		1～
		16					9
2022	10	～	食品加工会社の建屋の改修工事において、被災者と代表取締役が高さ約				
		12	4.5メートルの屋根の端において、既存の屋根材の下側に新規の屋根				
		～	材をハンマー又はつかみ（板金の端をつかんで加工するための工具）の				
		14	頭部で押し込んでいたところ、被災者が反動でバランスを崩し、コンク	030202	1		1～
			リート地面に墜落したもの。墜落防止措置はなかった。なお、被災者は				9
			被災後、後日、脳死の診断を受けていたもの。同年中に死亡。				
		10	改修作業の様子を写真で撮影するために、屋根の上に上がり、雨除け鋼				
			板上に乗ったところ、足を踏み外し、明り取り用のポリカーボネート製				10

2022	11	～ 12	の折板（厚さ1.5mm）を踏み抜いておよそ8m下の地上に墜落した。	030201	1	～ 29
2022	11	8 ～ 10	個人宅の屋根及び外壁の塗装工事現場において、社長が約30m離れた駐車場で塗料の調合作業を行っていた際、施工住宅の方角から音がしたためその方向を見たところ、被災者が地面に横たわっていたもの。被災者は病院に搬送されたものの、出血性ショックにより死亡した。現場の状況から被災者は住宅2階のベランダから梯子で屋根に上がり、屋根の確認中に約6.3m下の地面に墜落したものと推測される。	030209	1	1～ 9
2022	11	10 ～ 12	民家（木造三階建て）の外壁等改修工事において、一階屋根上（勾配約25度、地上からの高さ約3.6m）でブロワーと呼ばれる機械で屋根の清掃作業をしていた被災者が、隣家駐車場に墜落したもの。被災者は、保護帽及び墜落制止用器具を着用していなかった。	030209	1	1～ 9
2022	12	12 ～ 14	鉄骨造倉庫の屋根敷設工事に従事していた被災者が、屋根上で屋根材のボルト締め付け作業を行っていたところ、屋根上から約1.1m下方のコンクリート上に墜落し意識不明の状態での病院に搬送され、重症頭部外傷を原因とする肺炎のため死亡したもの。	030209	1	1～ 9
2022	12	14 ～ 16	被災者は、有線放送の不具合の現地調査のため、自動車販売店に出張し、販売店併設の工場の外部はしごを上り、屋根上に設置されたアンテナに向けて工場の屋根上を歩行していたところ、屋根上の天窗（ガラス）を踏み抜き、6.1m下のコンクリート製の床に墜落したもの。災害発生当時、屋根上には40cm程の積雪があり、また、被災者は保護帽及び墜落制止用器具を使用していなかった。	080409	1	1～ 9
2022	12	10 ～ 12	委託を受けた施設の屋根の雪下ろし作業で、被災者ら作業員3名が屋根上の雪の上で雪庇を落としていたところ、乗っていた屋根上の雪が屋根を滑り出し、作業員3名は雪とともに地上に墜落したもの。墜落した作業員の1名は負傷なし、2名は生き埋めとなり救出され病院に搬送されたが死亡した。要求性能墜落制止用器具の取り付け設備はなく、同器具	030199	1	1～ 9

			の着用や保護帽も着用していなかった。			
2022	12	10 ～ 12	委託を受けた施設の屋根の雪下ろし作業で、被災者ら作業員3名が屋根上の雪の上で雪庇を落としていたところ、乗っていた屋根上の雪が屋根を滑り出し、作業員3名は雪とともに地上に墜落した。墜落した作業員の1名は負傷なし、2名は生き埋めとなり救出され病院に搬送されたが死亡した。要求性能墜落制止用器具の取り付け設備はなく、同器具の着用や保護帽も着用していなかった。	030199	1	1～ 9
2021	1	14 ～ 16	自動車整備工場の鉄骨平屋建てスレート屋根上において、被災者は単独で足場倒壊防止用の足場最上段を繋ぐロープを張る作業を行っていたところ、歩み板を設けていなかったため、スレートを踏み抜き、高さ5.6メートル下のコンクリート床上に墜落した。被災者は病院に搬送されたが、同日死亡した。	30209	1	1～ 9
2021	1	14 ～ 16	屋根上で除雪作業を行っていた男性従業員2名が、6.22m下の地面へ墜落した。1人は腰を打った程度で、特段休業を要する怪我はなかったが、もう1人は頭を強く打ち、病院に運ばれたが死亡が確認された。	140309	1	100 ～ 299
2021	1	14 ～ 16	2階建て家屋屋根リフォーム工事中の作業員が、2階屋根部分高さ6.7mの位置から地面に墜落し、意識不明となり、搬送先で死亡したものの。	30202	1	1～ 9
2021	2	10 ～ 12	事業場の寮（木造2階）の屋根（片流れ）の雪庇落とし作業において、軒先（低い側）で2人が雪を落としていたところ、屋根に堆積していた雪（高さ約2m）が一斉に動き出し、押し出されて地上の雪山へ転落し、そこへ雪が落ち続けて埋まった。2人とも掘り出されて救出されるも、1人が死亡した。屋根には周辺の木を利用して親綱が架け渡され、各自ハーネスからランヤード（非伸縮式）を連結していた。	140309	1	30 ～ 49
2021	2	10 ～	屋根の樋に溜まった枯葉を取りビニール袋に入れる清掃作業を2人で終えて戻るときに、鉄板の屋根を通らず樹脂製の灯りとりの上に乗ったため、灯りとりが割れて5.3メートル下へ落下して地面（アスファル	10602	1	100 ～

		12	ト)で頭と腰を打ち付けた。			299
2021	2	8 ~ 10	2階木造建築の建て方(軸組み)工事中、被災者は、1階天井部分の梁を取り付けるため高さ3メートルの位置にある梁の上でしゃがみながら待機していた。次の梁の設置予定場所へ移動する際に立ち上がったところ、風にあおられ、頭から1階床板上に墜落した。外周には昇降用足場が組まれているが、軸組み作業中のため防網や親綱の設置はなく墜落制止器具の着用もなし。なお、ヘルメットは着用していたが、墜落時には外れていた。	30202	1	1~ 9
2021	2	14 ~ 16	工場屋根の修理作業中、屋根スレートを踏抜き、約7メートル下に墜落した。	30209	1	1~ 9
2021	3	10 ~ 12	民家の倉庫の補修のために、高さ2.2mの波板トタン製の屋根に上り、しゃがんで作業を行っていた被災者が、屋根上で移動するために立ち上がろうとしたところ、バランスを崩し、地面に墜落し側頭部を強打し死亡したものの。	30209	1	1~ 9
2021	4	12 ~ 14	事業場が運営するゴルフ場利用者向けのロッジの管理人の被災者は、ロッジ内のカーポートの屋根上で屋根に積もった松葉の落葉の除去作業等をしていたところ、屋根材のポリカーボネート製波板を踏み抜き、2.4m下の地面(アスファルトコンクリート舗装)に墜落し、外傷性くも膜下出血を負った。発生後、病院へ救急搬送されたが、病院にて死亡が確認された。目撃者がいないため、発生状況等は推定。	140101	1	30 ~ 49
2021	4	14 ~ 16	屋根補修工事のため、スレート屋根上において、雨漏り防止のため二重に設けられたスレート板の一枚目を取り除き、当該スレート板を持ちながら屋根上を歩いていたところ、屋根板を踏み抜いたことにより約6.2m下のコンクリート床面に墜落し、翌日の夜死亡が確認されたもの。なお、墜落時保護用保護帽及び墜落制止用器具は着用していた。	30209	1	1~ 9
			既存の建物の改修工事の建屋屋上における防水工事において、被災者と			

2021	4	10 ～ 12	同僚労働者が、屋上に貼る防水シート（ロール状の長さ10メートル）1本を、所定の幅に手で引き裂く作業中、ロールを解きながら2人向き合ってそれぞれ反対方向に後退しながら引き裂いていたところ、被災者が10メートル後退して裂き終えた場所が建屋屋上の北端であり、その場所においてバランスを崩し、7.65メートル下の地面まで墜落したものの。	30209	1	10 ～ 29
2021	5	12 ～ 14	社長と被災者が、スレートでふかれた工場の屋根を補修しようとしたところ、被災者がスレートを踏み抜いて約4メートル墜落して死亡したものの。	11109	1	10 ～ 29
2021	5	12 ～ 14	被災者他5名で子会社の倉庫の屋根上に設置されたソーラーパネルを清掃中に、被災者は事務所屋根から倉庫屋根に移動しようとしたところ約7メートル下に墜落し死亡した。被災者は、本社に所属する労働者であり、災害当日は、子会社の倉庫で、出張作業を行っていたもの。	170209	1	50 ～ 99
2021	5	16 ～ 18	ビルにて警備を行っている労働者が、警備時間中に墜落したものの。	150101	1	300 ～ 499
2021	6	8 ～ 10	事業場の豚舎屋根に遮光用塗料を塗る前作業として、被災者は豚舎屋根上に昇降し動力噴霧機を用いて屋根を水洗いしていたところ、屋根の端部から約2.49m下に墜落。災害発生後、被災者は救急搬送され入院していたが、死亡した。	70101	1	1～ 9
2021	6	8 ～ 10	被災者はスレート屋根の上でスレート屋根の交換作業の作業指示や作業補助を行っていた。スレート屋根には、ごく一部に歩み板が設けられていたが、大半の場所に設置されていなかった。作業を行っていたところ、被災者はスレート屋根を踏み抜き、約9m下の工場建屋床面のコンクリートに墜落し、死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2021	6	16 ～	被災者ほか1名は、鉄骨造3階建屋の解体作業を屋上階で行っていたところ、屋上の床面が崩壊し、3階部分へ墜落した。その結果、被災者は屋上に設置されていた塔屋の支柱の下敷きになり、もう1名は3階部分	30209	1	1～ 9

		18	へ墜落した際に足首と肩甲骨の打撲を負ったもの。			
2021	7	10 ～ 12	被災者は、土場にて、屋根を設置するにあたり、高さ約5メートルを超える当該屋根の南東端上で、屋根材端部の切断のため、石筆チョークと差し金を用いて、切断箇所に線を引く作業をしていたところ、墜落したものの。	30201	1	1～ 9
2021	7	12 ～ 14	工場新築工事現場において、被災者が鉄骨の梁に乗って墜落防止ネットを取り付けようとしたところ、誤って、約10メートル落下して死亡したものの。	30203	1	1～ 9
2021	8	8 ～ 10	学校の4階の窓ふき作業を行っていた被災者が、4階付近から墜落したものの。足場等の設置はなく、ヘルメットや安全帯の着用もしていなかった。	150101	1	10 ～ 29
2021	8	10 ～ 12	災害現場において、被災者は倉庫の屋根の修繕作業を行っていたところ、野地板（屋根本体を保持させるための屋根下地）を踏み抜いて、約4.5メートル下に墜落し、死亡したものの。	30209	1	1～ 9
2021	8	14 ～ 16	工場の屋根に上がって雨漏り箇所の点検をしていたところ、スレート屋根を踏み抜いて、高さ約9.8メートルから地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2021	8	16 ～ 18	被災者が事業場内の第3工場屋根の雨漏りを点検するため、第3工場建屋スレート屋根に上がり移動していたところ、スレート屋根の明かりとり部分を踏み抜き、5メートル下の地面に落下し死亡したものの。	10903	1	50 ～ 99
2021	8	14 ～ 16	一般住宅のカーポートの屋根修繕工事現場で、被災者がカーポートの屋根に上がり、屋根材の波板の張り替え作業を行っていたところ、高さ約2.5メートル下の地面に墜落したものの。被災者は、後日死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2021	9	18 ～ 20	被災者は、高さ3.4mの2階の梁上を移動していたところ、梁を踏み外し、1階の土間コンクリートに墜落し被災したものの。なお、被災当時、保護帽の着用は未着用であった。	30202	1	1～ 9
		12				

2021	9	～ 14	倉庫の屋根のテント張替え作業中に、隣接する事務所のスレートを踏み抜いて墜落したもの。	30209	1	1～ 9
2021	10	～ 12	8階建マンションにおいて、同マンションの管理人（被災者の妻）や住民等が何か墜落した音を聞きつけ、同管理人が音のした場所を確認したところ、同マンションの地上西側通路で血を流して倒れている被災者（同マンションの管理人）を発見したもの。墜落地点の地上からマンション屋上までの高さは21.7m、屋上外周は高さ0.4mのパラペットで囲われている。	80409	1	300～ 499
2021	10	～ 14	下水処理場（地上1階、地下1階）の屋上の除草作業をしていた被災者が、刈り取った草の収集作業中にFRP製の天窗を突き破り、直下にある最終沈殿池（コンクリート上）に墜落した。	60101	1	10～ 29
2021	10	～ 10	8 外壁塗装工事後の足場解体のためシート外し作業をしていた被災者が屋根の端から約5メートル墜落し、搬送先の病院で死亡したもの。	30201	1	1～ 9
2021	10	～ 14	被災者は木造2階建て個人住宅の屋根に設置済の融雪装置の点検と屋根瓦に生えた苔の除去作業を屋根上で行っていた。被災者は金属工具のラチェットレンチを使用して苔の除去作業を行っていたが、屋根軒先から6.95m下の地面に墜落した。	150101	1	1～ 9
2021	12	～ 12	10 発注者は、強風で屋根破損部を覆っていた鉄板がずれたため被災者所属事業場に修繕の下見に来てほしいと依頼した。被災者所属事業場は被災者を現場責任者として他1名と現場に行かせた。発注者は固定梯子からの目視のみでよいと指示していたが、被災者はスレート屋根上に乗り移ったようで、屋根に穴が開き、8.6m下の1階工場床面に被災者が倒れているのを作業中の発注者の労働者が見つけた。	30309	1	1～ 9
2021	12	～ 10	8 寺の事務棟の屋根にある落ち葉清掃中に高さ4.54メートルから墜落し、死亡したもの	60101	1	10～ 29

2021	12	14 ～ 16	建築物解体工事において、3名でのスレート屋根の解体作業中に、被災者がスレート屋根を突き抜け、約6メートル下方の地上まで落下し死亡したもの。被災者はスレート屋根の横にある金属製の屋根上で、屋根の解体で発生した開口部から廃材を地面に落とす作業をしていた。スレート屋根に踏抜防止措置は講じられておらず、また、墜落制止用器具を使用する等の墜落防止措置も講じられていなかった。	30201	1	1～ 9
2020	1	10 ～ 12	病院の増築工事（S造2F建）において、鉄骨の組立作業を行っていた被災者が、梁材の上面（高さ約6.5m）から墜落し、脳挫傷により死亡したもの。移動式クレーンで吊られた梁材（1点吊）を支柱の取付プレート上に仮置きして、その梁材の上を移動していたところ、梁材がプレートから外れ、バランスを崩して墜落した。安全帯は着用していたが、墜落直前には使用されていなかった。保護帽は飛来落下用の物を着用していた。	30201	1	1～ 9
2020	1	14 ～ 16	外壁の塗装工事現場において、高さ2.84mの屋根上に単管足場を組み立てる作業を行った。被災者は、クランプ1点で固定された長さ4mの建地材をつかみ、足場上に上ろうとしたところ、建地材が回転し、屋根の上から墜落した。保護帽は着用していたが、要求性能墜落制止用器具は着用していなかった。	30209	1	10 ～ 29
2020	2	8 ～ 10	屋根改修工事のため、スレート屋根上で資材の荷卸作業をしていた被災者が、スレートを踏み抜いて約5mの高さから墜落したものの。	30209	1	1～ 9
2020	3	16 ～ 18	木造家屋改修工事（建方作業）中、雨が降ってきた為、被災者において2階屋根全体にブルーシートを掛ける作業を行っていた際、東面屋根端部よりしゃがんだ状態で背中を外側に向けながら墜落。1階屋根部分に墜落後さらにアスファルト地面に墜落した。（地上から1階屋根までの高さは3.16m、2階屋根までの高さは6.06m）災害発生から3時間半後脳挫傷により死亡。親綱等設備なし。墜落時保護用の保護帽のみ着用していた。	30202	1	50 ～ 99

2020	3	8 ～ 10	被災者は、所在する工業のスレート屋根上にて、屋根の棟部分の補修作業を行っていたところ、スレート屋根を踏み抜き、約9メートル下のコンクリート床に墜落し、搬送先病院にて死亡したものの。	30209	1	1～ 9
2020	3	12 ～ 14	被災者は堆肥小屋の屋根を補修するため、高所作業車を使用して屋根に上り、補修作業を行っていた。その際、屋根材を踏み抜き、堆肥の上に墜落した。その後、堆肥を攪拌するための攪拌機が自動で稼働していたため、攪拌部に巻き込まれて、切断された。	70101	1	30 ～ 49
2020	3	16 ～ 18	被災者は、単独作業で寺の屋根に上がって屋根板金を補修する作業中、3.8m下の地面に墜落した。被災時、寺の周囲には足場が設置されていなかった。また、被災者はヘルメット、安全帯を着用していなかった。	30202	1	1～ 9
2020	4	8 ～ 10	工場の雨漏り修繕のため、屋根スレート板の張替え作業中、使用していた工具等を片づけるために屋根上を移動していたところ、スレートを踏み抜き約8.5m下のコンクリート床に墜落したものの。	30209	1	10 ～ 29
2020	4	10 ～ 12	平屋建て倉庫のスレート屋根塗り替え作業中、スレートを踏み抜き4.79m下に墜落したものの。	30202	1	10 ～ 29
2020	4	14 ～ 16	被災者は朝から事業場内でユニック車の荷台の片づけ作業に従事し、朝から現場作業を行い、正午頃に帰社し昼休憩を取った後、お昼頃から荷台の片づけ作業を同僚と再開した。被災者が単独で片づけ作業を行っていたが、夕方に被災者が工場内のスレート屋根を踏み抜き、約6m下の床に墜落した。墜落の際、壁に立て掛けていた丸鋸刃に頭部が接触した。	10909	1	1～ 9
2020	5	10 ～ 12	テント倉庫の屋根の修繕作業を作業員5名で行っていた。うち1名が作業のために屋根の上にあった。他の4名が地上で作業に従事していたところ、突然、テント倉庫内から衝撃音が響き、その方へ駆けつけると、屋根上に上がっていた作業員がコンクリートの床に倒れていた。直ちに救急搬送され、搬送先で死亡が確認された。	30309	1	1～ 9

2020	6	16 ～ 18	2階建ての住宅の屋根の上において、エア・コンディショナー（エアコン）の室外機等の取付作業を行っていたところ、足を滑らせて屋根から約3.1m下の地面に墜落したものの。	80209	1	1～ 9
2020	6	8 ～ 10	木造住宅新築工事現場において、高さ3.42mの1階屋根上で、地面にいた者から外装用下地合板（97cm×3m・重さ約20kg）を受け取った後、地面に墜落したものの。建築物全周に外部足場の設置はあるが、被災者が墜落した箇所については建築物への出入口として開口部にしており、建地のみで足場板の設置無し。	30202	1	1～ 9
2020	6	12 ～ 14	スキー場のリフト乗り場（標高約800m）の床板の張り替えを4人で行っていた。床板を取り外した箇所の根太材（幅6cm、高さ9cm）に被災者が上がっていたところ、折れて4.4m下の地山に墜落した。4人ともヘルメットや安全帯は着用していなかった。作業は初日であった。	30202	1	1～ 9
2020	8	8 ～ 10	屋内機械室において冷凍装置のメンテナンス作業中、隣接する建屋に部品を取りに行くため、その最短距離となるスレート屋根上に設置してある2本の配管（幅25cm）の上を歩行していたところ、採光スレートを踏み抜き7.3m下のコンクリート床に墜落したものと推測される。スレート屋根には歩み板、防網等の設置はなく、被害者は保護帽及び墜落制止用器具を着用していなかった。	30302	1	1～ 9
2020	8	10 ～ 12	工場の屋外に設置している排気ダクトより異音がしたため、被災者がスレートの屋根に登り点検していたところ、当該スレート屋根を踏み抜き、約5m下の室内コンクリート床に墜落した。	11703	1	1～ 9
2020	8	16 ～ 18	5階建てアパート（40世帯入居可）の屋上に太陽光パネルを設置するため、屋上（広さ約9m×約70m）で設置済みの架台に太陽光パネルの設置に必要な金具を取付ける作業を行っていた。屋上では代表者を含む4名が作業をしており、各々が取付け作業をしていたところ、被災者がいないことに気が付いた同僚が探したところ、約15m下の地上に墜落している被災者を発見した。墜落制止用器具の取付設備はなかった。	30302	1	1～ 9

2020	8	10 ～ 12	被災者は、倉庫屋根上（鉄骨スレート葺）を覆っている木の枝の除去作業を同僚と2名で従事していた。同僚がチェーンソーで木の枝の切断する係を担当し、被災者は切断する木を押さえる係を担当をしていた。被災者は、外部足場から倉庫屋根上に移動し歩いていたところ、屋根に取り付けていた明り取り用波板を踏み抜き、589cm下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2020	9	10 ～ 12	S造平屋建倉庫建設工事現場において、被災者が鉄骨に登り鉄骨のボルトの本締めを行っていたところ、天井下地材の薄板鋼板を踏み抜き、高さ約6.42メートルの箇所からコンクリート床面に墜落し、死亡した。なお、墜落防止措置は講じられていなかった。	30201	1	1～ 9
2020	9	14 ～ 16	自社工場の屋根補修のため、同僚1名とスレート屋根に上り作業を行っていたところ、被災者の足元のスレートが割れ、被災者はバランスを崩し、明り取りの箇所から墜落。屋根下に天井板（ベニヤ板）が設けられていたものの、同天井板を突き破り、地上まで墜落。墜落高さは4.28m。	10709	1	1～ 9
2020	9	14 ～ 16	作業員2名で2階建て戸建て住宅の2階屋根の補修作業を行っていたところ、1名が高さ約6.5mの軒先から地上へ墜落したものの。	30202	1	1～ 9
2020	9	12 ～ 14	被災者は、同僚2名と工場建屋の屋根（スレート下地金属板複合屋根、既存のスレート材に後から金属波板を取り付けた）上で外壁の腐食部分の撤去・清掃作業に従事していた。午前中に外壁腐食部の撤去作業が完了し、昼食休憩後、撤去した外壁の破片が屋根の上に落ちていたので、これを掃き集め片付ける作業中、下地であるスレート材及び上部の金属波板の腐食度合の高い箇所を踏み抜き、約8メートル下の工場床に墜落し、死亡した。	30201	1	10 ～ 29
2020	10	10 ～	軽量鉄骨造2階建家屋解体工事に従事していた被災者が、屋根上で屋根パネル材の解体をしていたところ、屋根上から約5.7m下方の基礎コンクリート上に墜落し、意識不明の状態での病院に搬送されたもの（意識	30202	1	1～ 9

		12	不明のまま、後日誤嚥性肺炎により死亡)。			
2020	10	8 ~ 10	木造2階戸建て住宅建設工事における上棟時、地上からの高さ約3.6mの足場又は梁の上から墜落し、被災者の右脇腹に足場2層目の建地が突き刺さったもの。	30202	1	1~ 9
2020	10	10 ~ 12	蔵の屋根の取替作業で、被災者が、既設の下地材の上に新しい下地材の合板を仮置きする作業を行い、他の2名が離れた位置で釘止めする作業を行っていた。屋根上で作業していた被災者の方から音がしたので、他の労働者が振り返って確認すると、軒先に合板が引っ掛かり、被災者が地上に墜落して倒れている状況を発見した。蔵の周囲には、くさび式足場が設置されていたが、手すりは1段で、荷上げのため一部のシートが取り外されていた	30202	1	10 ~ 29
2020	11	16 ~ 18	倉庫のスレート屋根の張り替え工事をしていた被災者が、スレートの取り付けをしようとしたところ、スレート屋根を踏み抜き、約6.3m下のコンクリート床面へ墜落したものの。	30209	1	30 ~ 49
2020	12	8 ~ 10	被災者は、スレート屋根を更新する工事現場において、地上から高さ約15mの場所に位置するスレートを踏み抜き、地上に墜落した。建物周囲には足場があり、屋根上には3列の親綱が張られていたが、歩み板は無く、墜落防止用ネットを屋根上に広げる作業が途中まで行われていたが屋根を踏み抜いた箇所にはネットがまだ広げられておらず、墜落制止用器具も親綱にかけていなかった。	30209	1	1~ 9
2019	1	10 ~ 12	住宅の新築工事において、屋根部の梁(幅10cm)の上で母屋材(角材)を配置していたところ、1階床(木板)に墜落したものの。高さ5.8m。ヘルメットは着用、安全帯は未着用であった。	30202	1	1~ 9
2019	2	8 ~ 10	被災者が倉庫棟東面の庇のスレートの撤去作業のため、当該スレートの上に乗った直後、当該スレートを踏み抜き、高さ約5.2m墜落し、死亡したものの。	30201	1	10 ~ 29
		14	台風被害及び老朽化による屋根修繕工事(瓦取替)において、労働者2			1~

2019	2	16	名で外部足場解体作業中、下屋根（高さ3.26m）から墜落したものの。	30202	1	9
2019	2	18	折板屋根修繕工事において、FRP製明り取り折板の交換のため、屋根上で墜落防止用の手すり等の仮設資材設置作業中、被災者は作業が終了したため屋根から降りるまでの間に、設置済みの手すりの外に出て、交換する予定のない劣化した明り取り折板を踏み抜き、約15m下に墜落して死亡した。	30209	1	1~9
2019	2	16	個人の木造住宅解体工事現場において、1階屋根の上で作業者が軒を切ろうとした時に、地上高さ3.85mの屋根から墜落したものと推定される。	30202	1	1~9
2019	2	12 ~ 14	被災者は、最低高さ3.57メートルの自社倉庫の屋根の上において、専務とともに2名で除雪作業に従事していたが、災害の発生時分に、除雪作業をしていた屋根の下で雪に埋まった状態で、専務により発見された。傍らには転位した移動式はしごがあった。被災者が作業していた屋根の一部には落雪の痕跡が認められたが、被災者が発見された場所は、落雪の痕跡がある屋根の下方であった。	80209	1	1~9
2019	3	10 ~ 12	被災者が垂木の出鼻をそろえる為の墨打ち作業中、屋根から約3.5m下の地面に墜落したものの。	30202	1	1~9
2019	3	10 ~ 12	被災者は、ホテルのエントランスの屋根に上がり、スコップで雪庇を落としていたところ、上方の屋根（三角）に積もった雪が滑り落ちてきて、被災者がこれに巻き込まれ、約7m下の地面に墜落したものの。被災当時の天気は晴れ、気温はプラスであった。	140101	1	30~49
2019	3	12 ~ 14	被災者は、2階建て個人住宅の建替え工事現場において、1階屋根の上に設けられた足場板から屋根を経由して外部足場上に乗り移り、さらに建物2階の床面に乗り移ろうとしたところ、開口部から約3.8メートル下の基礎部に墜落したものの。	30202	1	1~9
		10	資材等を保管するために使用していたコンテナ（高さ約2.4m、幅約			10

2019	4	～ 12	3 m、奥行約 5 m) の雨漏りを補修するために当該コンテナ上で作業していた被災者が高さ約 2. 4 m の位置から地面に墜落したものの。	30209	1	～ 29
2019	4	10 ～ 12	木造家屋の雨樋等改修作業において、被災者が 2 階の屋根に上り、雨樋の金物を事業主に渡そうとしたところ、屋根端部から道路に墜落した。	30202	1	1～ 9
2019	4	～ 12	木造平屋建て新築工事現場において、被災者は、母屋上から垂木を設置箇所に運搬する作業を行っていたところ、約 4 m 下の地面に墜落し、更に 1 m 下の田んぼに墜落したものの。建屋の外周にはクサビ緊結式足場が組まれていたが、中さん及び飛来・落下防止ネットが設置されていなかった。	30202	1	1～ 9
2019	5	～ 14	木造軸組工法の作業場の新築工事現場において、被災者は高さ 4. 5 m の梁に乗り、梁と梁の頭つなぎをホゾに入れようとして片足を頭つなぎに乗せた状態で掛矢で頭つなぎを打ったところ、頭つなぎがホゾからはずれ、頭つなぎもろとも墜落した。その後、病院に搬送されたが死亡が確認された。	30202	1	1～ 9
2019	5	～ 16	既設建物の改修工事のため外部足場（最高高さ 3 0. 5 m）を組立てに際し、足場南側から北側に向かって歩行中、北側にいた対向者を避けるため、足場から建物梁に移動したところ、梁から足を滑らせて 1 0 階から 2 階（高さ約 2 5 m）に墜落したものの。移動時は胴ベルト型の安全帯を外していた。	30201	1	1～ 9
2019	5	16 ～ 18	台風により被害を受けた建物のスレート屋根を補修する工事において、スレート屋根の上で作業を行っていた 2 次下請の労働者がスレート屋根を踏み抜き、高さ約 6. 1 メートル下のコンクリート床に墜落し、死亡したものの。	30309	1	1～ 9
2019	6	10 ～ 12	被災者が、2 階屋根（高さ 7 3 3 センチメートル）を作業床とし、屋根の補修工事を行っていたところ、この屋根から墜落したものの。なお、墜落防止措置は講じられておらず、要求性能墜落制止用器具の使用もされていなかった。	30202	1	1～ 9

2019	6	8 ～ 10	被災者はマンションの2階共用廊下において清掃作業を行っていたが、同廊下外側の手すり壁を乗り越え、清掃作業箇所でないエントランスホールの屋根部（高さ3.75メートル）に乗り移った後、屋根部より墜落し死亡した。	150101	1	300 ～ 499
2019	6	14 ～ 16	住宅新築工事現場において、梁上で2階床敷き作業を行っていた被災者が、約3メートル下に墜落したものの。なお、被災者は災害発生日から入院していたが、後日本災害に起因して死亡した。	30202	1	1～ 9
2019	6	8 ～ 10	屋根の冷却用スプリンクラー設置工事のため、スレート屋根上で配管の設置作業していた被災者が、スレートを踏み抜いて約5mの高さから墜落したものの。	30110	1	1～ 9
2019	7	12 ～ 14	工場のスレート屋根に設置されたルーフファン（煙突）を塗装する作業を行っていた労働者が、スレートを踏み抜いて約1.4m下のコンクリート床に墜落し死亡したものの。	30201	1	10 ～ 29
2019	7	10 ～ 12	倉庫の屋根（FRP材）の屋根の張替え工事において、作業開始の際に、屋根上を移動中、被災者がFRP屋根を踏み抜いて高さ約6mから墜落したものの。	30309	1	1～ 9
2019	8	12 ～ 14	小中学校に設置された貯水槽内部の清掃作業の業務を委託されたものの。災害当日は午後より労働者3名で中学校屋上の貯水槽内部の清掃作業を開始したところであった。被災者は貯水槽の外観を写真撮影していたが、撮影中に屋根の端部より約1.6m下の地面に墜落した。	150109	1	10 ～ 29
2019	8	12 ～ 14	工場建屋の屋根補修工事において、被災者は同工事で使用するスレート材を手に持ち、同建屋のスレート屋根上に敷かれた幅20センチメートルの歩み板を徒歩で移動し、同材を明り取り窓付近に置いていたところ、同窓を踏み抜き、約7メートル下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2019	9	12 ～ 14	自社工場の屋根に上がり、同僚2名と雨樋の補修作業を行っていたところ、被災者がスレート屋根を踏み抜き、9メートル下の工場床面に墜落したものの。	11209	1	1～ 9

2019	9	16 ～ 18	台風により、各所で屋根に穴が開き、雨漏りがするようになったが、ある工場においても、穴が開いている部分が目視で確認できた。そのため、当該工場の屋根に登って、点検作業を行っていたところ、スレート葺であった屋根を踏み抜き、約5.7メートル下に墜落した。	10806	1	10 ～ 29
2019	9	10 ～ 12	木造2階建て個人住宅の解体工事現場にて、バールのような手工具を用いて屋根上の天井の梁の上で天井ベニヤ板を解体作業中、3.7m下の階段上に墜落し、さらに1.3m下のコンクリートの床に転落して死亡したものの。	30309	1	1～ 9
2019	9	10 ～ 12	マンションの管理人である被災者は、工事業者が前日に修繕を行った箇所（屋上、エキスパンションジョイント部）の確認を行うため、14階へ向かったところ、屋上への導線となる屋根の端部から1階エントランス部まで転落し死亡したものの。	150101	1	100 ～ 299
2019	10	14 ～ 16	台風の雨、暴風によって、損傷したスレート屋根の修繕作業において、屋根上の作業者が、スレート屋根を踏み抜いて、地上へ墜落した（約7m）。	30203	1	1～ 9
2019	10	14 ～ 16	工場のスレート屋根の補修のため、3名の作業員が屋根上でスレートの穴あけ、ボルト締め等の作業を行っていた。3名の作業員が休憩を取ろうと声を掛け合い、それぞれの作業場所から休憩場所へ移動しようとしていたところ、ドスンと音がした。確認したところ、穴の開いたスレート屋根から約8m下の工場内の床面に倒れている作業員1名が発見された。	30209	1	1～ 9
2019	11	10 ～ 12	倉庫の屋根補修作業において、スレート屋根上に上り、ガルバリウム鋼板を取り付けする作業中、スレート屋根を踏み抜き、高さ約7メートル下のコンクリート床面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2019	11	8 ～ 10	木造2階建ての屋根に設置されたソーラーパネルの定期点検のため、住宅の東面から3連はしごを用いて、被災者が屋根に上って作業を行っていたところ、屋根の西側の端部から地上まで墜落したものの。	170209	1	10 ～ 29
		8	民家の外壁改修工事現場において、2階外壁塗り替えのため、1階屋根			

2019	11	～	上で、作業床の設置場所を確認していたところ、高さ約3メートルから	30202	1	1～
		10	アスファルト地面に墜落した。			9
2019	11	～	被災者は、工場の解体工事現場において、高さ約10メートルの位置に	30209	1	1～
		10	ある屋根に上がりスレートを撤去していたところ、スレートを踏み抜い			9
			て地面に墜落し、死亡した。			
2019	12	～	被災者は、木造家屋の解体工事現場で解体作業に従事中、解体中のゴミ	30209	1	1～
		10	等が隣家に入らないよう、現場を単管パイプとメッシュシートで養生作			9
			業中、1階屋根の軒先から3.5m下の地面に転落し、頭部等を強打し			
			たもの。その後、病院に搬送されたものの、同日午前死亡が確認され			
			た。			
2019	12	～	新築工事現場、建築物屋内の梁上において、被災者及び被災者所属事業	30309	1	1～
		12	場の労働者が梁間にベニヤ板を渡して当該ベニヤ板上で、柱にシートを			9
		14	取り付ける作業に従事していたところ、被災者が当該ベニヤ板上から約6			
			m下のコンクリート地面に墜落し、死亡したものの。			
2019	12	～	駅構内にて横取装置の電源を新設するにあたり、線路を横断するビーム	30301	1	1～
		2	に防護管を設置するため、高さ約6mのビーム上で作業していたとこ			9
			ろ、墜落したものの。			
2019	12	～	2階建て木造住宅の塗装工事で使用した足場を解体作業中、被災者は火	30209	1	1～
		12	打ち材を取り外し、火打ち材1本を持って屋根上を移動していたとこ			9
			ろ、高さ5.95メートルの軒先から地上に墜落したものの。			
2018	1	～	工事中の工場建屋の屋根上で荷下ろし作業を終えて、被災者が移動中に	30201	1	1～
		8	足を滑らせ7.5メートル下の地上の敷鉄板上へ墜落した。当該屋根端			9
		9	部には墜落防止用の手すり及び中さんが設置され、屋根上には親綱が設			
			置されていたが、被災者は安全帯を使用しておらず、降雪後は除雪に支			
			障をきたす幅木は取りはずされていたため、手すりをすり抜けて墜落し			
			たものである。			
			被災者は、平屋の児童館の屋根上（片流れ屋根）において除雪業務を			

2018	1	14 ～ 15	行っていたところ、屋根の雪と一緒に約1.8m下の雪山に滑り落ち、雪の下敷きとなり埋まり被災した。災害発生時、屋根に積もった雪が自然に落ちるよう、被災者を含む3名で屋根上の煙突回り等の隅部を除雪していたもの。被災者の他に1名が被災者と同様に埋まったが、この者は救助され怪我はなかった。	30199	1	1～ 9
2018	1	8 ～ 9	豚の尿の浄化槽建屋の屋根補修及び張替工事のため、被災者が屋根上で古いポリカーボネート波板を剥がす作業をしていたところ、波板を踏み抜き、約3.7m下の浄化槽に墜落しておぼれ溺死した。	30209	10	1～ 9
2018	1	10 ～ 11	空港国際線ターミナルと国内線ターミナルを連結するターミナル拡張工事において、3階天井部分のPC梁が落下し2階床上で高所作業車を使用して作業をしていた作業員が巻き込まれ被災した。	30201	5	10 ～ 29
2018	1	10 ～ 11	地震による瓦災害工事において、中2階の下屋を施工中に、軒先の板に足を突っ込み、体勢を崩して6.9m下の土手に転落したものの。	30202	1	1～ 9
2018	2	16 ～ 17	中学校のガラス製の屋根の清掃作業中に、ガラスを踏み抜き、高さ約15mから地面に墜落して死亡した。屋根は、網入りガラス約150枚（1枚あたり約1平方メートル）がそれぞれ金属枠（幅6センチメートル）に碁盤の目状にはめこまれていた。被災者は、金属枠の上で作業をしていたが、ガラスに乗った際、踏み抜いた。屋根には歩み板、防網、安全帯取付設備、手すり等は未設置で、被災者は保護帽、安全帯を未着用であった。	150101	1	10 ～ 29
2018	2	16 ～ 17	木造平屋建て牛舎の新築工事現場において、屋根下地の組立て作業を行うに当たり、被災者は地上で垂木材の玉掛け作業を行った後、建屋内部に設置した移動はしごを用い、高さ6.04mの母屋上に移動した。その後、一方の足を母屋（幅9cm）に、もう一方の足を既に固定していた垂木（幅4.5cm）の上へのせ、同僚が仮置きしていた垂木を固定しようとする等していたところ、建屋内部の地面に墜落したものの。	30202	1	10 ～ 29
			事業場敷地内の破損した倉庫の屋根（ポリカーボネート樹脂板）の修理			

2018	3	14 ～ 15	作業を単独で行っていた被災者（元大工）が、高さ5.57mの屋根の波板を踏抜き、地上に墜落し倒れているのが発見された。被災者は病院に搬送されたが、死亡が確認された。発見時の被災者は保護帽、安全帯ともに未着用であり、屋根に防網等も設置されていなかった。	30109	1	1～ 9
2018	3	14 ～ 15	栈橋を支える鋼管杭の塗装のために海上につり足場が組まれていたが、その足場解体作業中、強風（風速12.5m/s）にあおられて、栈橋を構成する梁（直径80cmの鋼管）から墜落し溺死したもの。	30309	10	10 ～ 29
2018	4	12 ～ 13	被災者は地上から高さ3m93cm以上の1階屋根上で瓦に跳ねた漆喰の清掃作業中、屋根上から道路に墜落し、死亡した。屋根上の周りは手すりが設置されていなかった。また、被災者はヘルメット、安全帯を着用。墜落時は、安全帯を使用していなかった。	30203	1	1～ 9
2018	4	16 ～ 17	工場解体工事において、屋根上で波型スレートの取り外し作業中に出来た開口部から、約9メートル下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2018	4	8 ～ 9	工場の屋根及び雨樋の修繕工事において、現場代理人である被災者が同工場の波板スレート屋根（スレート部分とFRP部分あり）を歩いていたところ、FRPの波板を踏み抜き、約8.6メートル下のコンクリート床に墜落して死亡した。	30201	1	10 ～ 29
2018	4	8 ～ 9	倉庫解体工事におけるスレート屋根撤去作業中に、屋根上で作業していた被災者が木毛板を踏み抜き約8m下の地面に墜落したもの。被災者の災害直前の作業状況から判断すると、屋根上のベンチレータを取り外そうとしたときに、木毛板に足をかけてしまったものと推定される。	30201	1	10 ～ 29
2018	5	16 ～ 17	平屋民家の屋根葺き替え工事において、雨漏り防止のため、被災者が屋根にブルーシートをかけていたところ、バランスを崩し、軒先から約5m下の地面に墜落し、死亡した。	30202	1	1～ 9
		16	被災者は、鉄骨スレート屋根葺き工場において、塔屋足場の組立作業をしていたところ、スレート屋根を踏み抜き、10.5メートル下のコンクリート床に墜落した。被災者の近くで同僚が作業していたが被災者の			1～

2018	5	～ 17	墜落した状況は確認していない。被災者は保護帽、安全帯を着用していた。スレート屋根には踏み抜きを防止する防網、道板は設置されていなかった。	30309	1	9
2018	6	～ 17	学生共同住宅（2階建軽量鉄骨）の屋根塗替工事現場において塗装作業中、屋根の南側端部から地上に墜落した。（高さ6.05m）	30201	1	1～ 9
2018	6	～ 13	地震、火災等の非常事態を作業員に知らせるために、数ヶ月前に約30台の非常灯・サイレンを設置し、初期調整のため午前中に5台の設定を終了、午後から災害発生場所である製品倉庫内のクリーンルームの前室の天井（高さ3.7メートル）に設置した同機の設定のため天井を歩いたところ、天井を踏み抜き墜落したもの。	30301	1	1～ 9
2018	7	～ 10 ～ 11	鉄骨造のD形倉庫の新築工事現場において、鉄骨の建方作業中、屋根下地の溝形鋼（チャンネル材）のボルト締めのため、もやに乗って移動していたところ、もやが折れて6.4m下のコンクリート床に墜落し、搬送先の病院で6時間半後に外傷性脳損傷により死亡したもの。保護帽と胴ベルトの安全帯を着用していたが、安全帯は使用せず、親綱の設置も無かった。	30201	1	1～ 9
2018	7	～ 8 ～ 9	倉庫の屋根の改修工事現場において、当該倉庫の屋根の上でスレートの撤去作業を行っていたところ、スレートを踏み抜いて、高さ約6.5メートルの箇所から、コンクリート床面に墜落したもの。	30201	1	1～ 9
2018	8	～ 14 ～ 15	木造2階建て家屋の屋根の雨漏り改修のため、1階と2階の屋根瓦を全面葺き替える作業を代表者とアルバイト労働者（被災者）の2名で行っていたところ、2階屋根で作業をしていた被災者が1階北側樹脂波板上に墜落し、頸椎圧迫による酸欠で死亡したもの。被災者等はヘルメットや安全帯を着用しておらず、防網や足場も設けていなかった。	30202	1	1～ 9
2018	8	～ 10	工場の雨漏り補修工事のため、スレート屋根の上を被災者と共同作業員Aの2名で板金材を運搬するために移動していたところ、スレートを踏	30203	1	1～ 9

		11	み抜き、約9. 8 m下のコンクリート床に落下し、死亡したものの。			
2018	8	14 ～ 15	車両所運用検修センター資材庫の雨漏りに対する屋根補修作業完了後、地上に戻ろうと屋根上を移動していた際に、スレート屋根の重ね合わせの部分が浮いていると感じた被災者が、スレートを何度か踏んで浮きを確認していたところ、スレートを踏み抜いて約4. 5 m下の地面に墜落し、死亡したものの。	30201	1	1～ 9
2018	8	8 ～ 9	牧場の牛舎屋根上にスプリンクラーを設置する作業を行う際に、スプリンクラーのホースを通すため、牛舎の屋根に上って作業を行っていたところ、屋根の明かり取りに乗った際に踏み抜き、約4. 7 m下の牛舎内通路に墜落したものの。容体急変し、死亡した。	70101	1	10 ～ 29
2018	8	12 ～ 13	台風により飛ばされた工場建屋の屋根張替え工事に従事していた労働者が屋根上を通行していたところ、屋根に葺かれた木毛板を踏み抜き、約13メートル下の工場床面に墜落して死亡した。	30201	1	1～ 9
2018	9	8 ～ 9	被災者は2階建集合住宅の塗装工事現場において、2階屋根の軒先5. 5 mから、敷地境界に設置されたアルミ柵の上に落下した。現認者不在のため推定であるが、被災者は屋根上の化粧小窓の塗装のため、外部足場から屋根に渡り、傾斜角度25度の屋根上を移動中に足を滑らせ、建物外周に設けられた足場の手すり(約1 m)を乗り越えたか、手すりの下をくぐり抜けて墜落したものと考えられる。	30209	1	1～ 9
2018	9	14 ～ 15	台風により倉庫の屋根が破損したため、雨漏り防止用シートを敷くために、被災者と同僚がスレート拭き屋根上に上がり、2名で屋根端部から丸めたシートを広げていたところ、被災者が棧と棧の間のスレートを踏み抜き、約5 m下に墜落したものの。屋根には歩み板、防網は設けられておらず、被災者は保護帽、安全帯を使用していなかった。	11209	1	1～ 9
2018	9	10 ～	台風による2階建住宅の被害調査及び雨漏り養生を行うため、被災者と同僚の2名は屋根上で防水シート養生を行っていたが、防水シートが足りなくなったため、同僚がシートを取りに行っている間に、2階屋根から1階屋根に立てていたはしごを降りようとしたところ、一旦1階屋根	30201	1	50 ～

		11	に墜落して、地面まで墜落したものの。保護帽、安全帯は使用していない。被災者は緊急手術後も意識不明の状態であったが、後日死亡した。			99
2018	9	12 ～ 13	台風により損傷した屋根の応急措置としてブルーシートによる養生を行っていた。被災者が屋根の梁部を通行中、誤ってスレート部分に足を掛け、踏み抜き、約1.2mの高さから墜落した。(安全帯装着なし。歩み板なし。)	30209	1	1～ 9
2018	9	8 ～ 9	鶏糞発酵建屋の屋根材が台風で吹き飛ばされたため、ビニールシートで養生する前の段取りのために、屋根上に上っていたところ、劣化した樹脂製波板を踏み抜いて5.3m墜落した。頭・胸・腹部の外傷を負った。	70101	1	50 ～ 99
2018	9	16 ～ 17	台風により破損したスレート屋根の応急処置のためビニールシートで養生中、右手をついた箇所のスレートが折れ、約3m下に落下し、後頭部等を強打したものの。	30209	1	1～ 9
2018	9	12 ～ 13	木造2階建て店舗兼住宅の屋根雪止め交換工事において、長さ7.3mの雪止め用丸太を2階屋根上へ上げるため、丸太にロープを掛け、被災者ほか1名が高さ5.44mの2階屋根から引き上げていたところ、被災者が地面へ墜落し、死亡した。	30209	1	1～ 9
2018	9	18 ～ 19	被災者は一人で災害発生場所である個人宅の1階及び2階の屋根の雨どいの清掃作業を開始したが、同宅敷地脇の水路の中で、意識を失って倒れているところを発見され、病院に搬送されたが死亡が確認された。	150101	1	1～ 9
2018	9	8 ～ 9	スレート屋根の雨漏り補修工事を鉄骨平屋建ての工場の屋根上で行っていたところ、1箇所目の作業が終わり、次の箇所へ移動中にスレート屋根を踏み抜いて高さ約8メートルの位置から工場内へ墜落して死亡したもの。現場では歩み板は使用しておらず、被災者は安全帯を着用していたが使用していなかった。	30209	1	10 ～ 29
		8	鉄骨造1階建工場建屋建築工事に4人の屋根板金職人のうちの1人として入場した労働者が、他の3人の職人とともに梁の上に上って鋼板製屋			1～

2018	9	～	根材を順次敷設する作業を行っていたところ、鉄骨梁に鋼板製屋根材を	30209	1	9
	9		固定しようとした際に、当該屋根板の端部から高さ7.65メートル下の			
			地面（砂利）に墜落して死亡したものの。			
2018	9	～	一般住宅に隣接する物置小屋の改築工事において、代表者、被災者、施	30209	1	0
	9		主の3名で屋根の上に上り、防水シートを貼る作業を行っていたとこ			
			ろ、被災者が屋根から約4m下のコンクリートの地面に墜落したものの。			
2018	9	～	既設住宅の屋根改修工事のため屋根上で屋根材を設置していたところ、	30203	1	1～
	9		何らかの原因でバランスを崩し、当該住宅周囲に設置していた単管足場			9
			を使用した屋根上の手すりの隙間からメッシュシートを破って、隣地駐			
			車場のアスファルトに約5.98m墜落した。			
2018	9	～	台風が強風で資材倉庫屋根上の手摺りとネットフェンスの一部が吹き飛	30199	1	1～
	9		ばされたため、復旧作業を行っていたところ、屋根の端より2.8メー			9
			トル下に墜落したものの。			
2018	10	～	台風により破損した屋根明かり取り用FRP波板取替作業のため、被災	30201	1	1～
	10		者と同僚が屋根（スレート葺き）に登り、波板の取替作業を行っていた			9
			ところ、バランスを崩し同建屋屋根上から建屋内に約4m墜落したも			
			の。被災者は保護帽は着用していたが、安全帯は着用しておらず、屋根			
			には安全帯取付設備や防網は設けられていなかった。なお、屋根上には			
			幅約20cmの歩み板2枚が設けられているものであった。			
2018	10	～	台風により、敷地内の倉庫のスレート屋根が破損したことから、破損部	140301	1	30
	10		分をビニールシートで覆う作業を被災者を含む2名が行なっていたとこ			～
			ろ、スレート屋根を踏み抜き約5.5メートル下のコンクリート床に墜			49
			落したものの。			
2018	10	～	台風により被災した倉庫の屋根を修理するため、補修材を持ち屋根上を	30309	1	1～
	10		移動中、スレートを踏み抜き9.8m墜落、死亡したものの。			9
			倉庫の屋根の補修工事の見積もりを行うため、同屋根上で屋根材の寸法			10
			測定を行っていた被災者が転倒し、同屋根の明かり取りの部分の屋根材			

2018	10	～ 13	を突き破り、約7メートル下の床面に墜落し、医療機関に搬送されたが、同日死亡した。	30202	1	～ 29
2018	10	8 ～ 9	上記支所内、購買倉庫のスレート屋根の雨漏り補修のため、職員6名が屋根に登りブルーシート掛け段取り作業中、被災者が明かり取り部分（ポリカーボネート部材）を踏み抜き約6.21m下に墜落した。（搬送先の病院で、死亡が確認された。）	170209	1	30 ～ 49
2018	10	12 ～ 13	工場の屋根補修工事を行っていた労働者が、屋根（スレート）を踏み抜き、地上まで9.3メートル墜落し死亡したもの。	30309	1	10 ～ 29
2018	10	～ 13	12 工場のスレート屋根（明かり取り用）を交換する作業を行っていた労働者が、スレートを踏み抜いて高さ約5.23メートルの位置からコンクリート床に墜落したもの。	30209	1	10 ～ 29
2018	10	10 ～ 11	工場にあるテント倉庫の天井が台風の影響で吹き飛ばされたため、ブルーシートがかけられた状態になっていた。ブルーシートに雨水がたまり、たわんでいたため、被災者は、テント倉庫の屋上に歩み板を敷き、柄杓とバケツで水を抜いていたところ、テント内に墜落し、死亡したもの。	30209	1	1～ 9
2018	11	10 ～ 11	台風により破損したスレート屋根補修作業中に、スレートを踏み抜き、高さ約10mから墜落したもの。	30309	1	1～ 9
2018	11	～ 17	16 死亡した被災者は1階屋根の下地工事中、屋根上を移動していたときに、軒先で作業していた別の作業員と接触し、軒先から2.75m下のコンクリート地面に墜落し死亡した。	30202	1	1～ 9
2018	11	～ 15	14 被災者は、2階建てアパートの屋根上で塗装作業を行っていたところ、屋根の端から足場作業床に墜落し、さらに作業床の手すりの下から地面まで墜落したもの（屋根の端から地面までの垂直高さ：約6.7m）	30309	1	1～ 9
		10	ログハウス（平屋建て）の屋根葺き作業において、屋根端部から約2.			

2018	12	11	9 m下の地上に墜落し、頭部を強打したものの。負傷から11日後に死亡。	30209	1	1 9
2018	12	11	平屋建ての個人住宅（最大H＝4.5 m）の屋根上で、1人で屋根の袖（妻面側のふち）の屋根瓦の交換作業を行っていたところ、高さ約3.2 mの位置から地面まで墜落した。会社では日常的には安全帯等の墜落防止措置を取っていなかった。なお、一人作業での墜落災害であり、墜落時の詳細は不明。	30209	1	10 ～ 29
2018	12	8 9	請け負った倉庫の外壁工事が終了したため、足場の解体作業を行っていた。被災者は駐輪場の屋根に置いてあったインパクトドライバーを取りに行き、駐輪場の屋根から屋根（巾約80 cm）に移動しようとしたところ、足を滑らせ約2.3 m下のコンクリート床に墜落したものの。その後容体が急変し脳挫傷により死亡した。	30201	1	30 ～ 49
2017	1	12 13	ユニットハウス製造現場において、関係請負業者として、外装、内装の製造を請け負っていた当該事業場の労働者が、ユニットハウス屋根（高さ2.6 m）より墜落して、2日後に死亡した。	11709	1	1 ～ 9
2017	2	10 11	旅館の壁に水漏れを確認した元左官工で風呂管理と建屋の軽微な補修を担当していた被災者は、支配人と話しあい屋上の防水補修を行うことになった。9時30分頃、支配人と被災者は3階屋上の露天風呂に移動。支配人は柵にロープを設置後、露天風呂を離れた。10時43分、駐車場で蒲団を干していた労働者がなにかが落ちる音に気づき倒れている被災者を発見。発見時被災者は足の痛みを訴えていたが、搬送先の病院で死亡が確認された。	140101	1	1 ～ 9
2017	2	16 17	不要な段ボール等を細かくするシュレッダー装置の配管が詰まったため、被災者ともう1名がスレート屋根葺きの工場の屋根に上り、詰まった個所の配管の整備を行っていたところ、被災者がスレートを踏み抜き、約8.5 m下の床面に墜落し、翌日死亡した。	10602	1	100 ～ 299
			5階建て鉄筋住宅の屋上において、被災者及びもう一人の労働者の2名			

2017	2	10 ～ 11	でテレビケーブルの取替作業を行うため、被災者が新しいケーブルの先端付近を持ち、屋上の端部へ歩きながらケーブルを引っ張って行く延線作業を行っていたところ、屋上端部から14.56m下の地面まで墜落し、救急車で病院へ搬送されたが死亡した。なお、屋上端部に手すり等は設置されておらず、被災者も保護帽及び安全帯は着用していなかった。	30203	1	10 ～ 29
2017	2	14 ～ 15	養豚場において、豚舎（3階建て、軒高6.7m）の雪庇落としのため、被災者が屋根に上ってスコップ等で雪庇を落とし、他の労働者1名が地上で落ちた雪庇をかき集めていた。その作業中、地上で雪庇をかき集めていた労働者が、背後でドサツという音がした場所を確認したところ、倒れている被災者を発見した。	70101	1	1～ 9
2017	2	16 ～ 17	建屋解体工事現場でスレート屋根をはがす作業終了後、地上に降りようと梁の上を移動していた際に、約7.5m下の地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2017	3	8 ～ 9	2階建アパートの屋根を塗装中、軒先から約6メートル下の地上に墜落し死亡した。	30209	1	1～ 9
2017	3	10 ～ 11	屋根瓦の葺き替え工事中、雨による作業中断のため、作業の片付けをしていた被災者が、片付けを終えて屋根から降りるため、瓦屑などが入った箕を両手に持って瓦が葺かれている屋根の上を移動中、足を滑らせて屋根から約2m下のコンクリート地面に墜落し、頭を打ち付け、脳挫傷により死亡した。作業場所である屋根の上には足場等は設けられておらず、安全帯も使用しておらず、安全帯取り付け設備も設けられていなかった。	30202	1	1～ 9
2017	3	12 ～ 13	被災者は昼休み後に2号倉庫の西側に出来た雪庇を落とす作業を一人で開始した。東側に設置されているタラップ下部に開いた脚立を掛けて屋根に登り、西側の屋根に飛び出た雪庇を南側から北に向かって切り落とした後、北側の角付近から6.61m墜落した。	80109	1	1～ 9

2017	3	8 ～ 9	工場屋根の葺替工事中、被災者はスレート屋根を踏み抜き、10.8mの高さから工場の土間（コンクリート）に墜落した。	30209	1	1～ 9
2017	3	10 ～ 11	二階建て木造住宅の保証更新における防水工事で、外壁シーリングの更新作業を行っていた被災者が、玄関上の屋根庇（高さ3.2m）から墜落した。	30202	1	1～ 9
2017	3	14 ～ 15	工場のスレート屋根上の避雷針の整備工事において、2人の作業者が歩み板の設置など墜落防止措置がないままで避雷針のポールの取替え作業を行っている際、被災者がスレート屋根に設置された明かり採り用の波板を踏み抜き、約16メートル下の鉄筋上に落下し、全身打撲、大動脈破裂により死亡した。	30309	1	10 ～ 29
2017	4	14 ～ 15	老朽化したスレート屋根の上に鋼板を張る作業をしており、ほぼ鋼板は張り終えていたが、明かり取り用の塩化ビニル板を踏み抜き、約5.3mの高さから墜落した。病院に搬送されたが死亡が確認された。	30209	1	1～ 9
2017	4	18 ～ 19	被災者は朝8時頃、自宅の風呂の中で意識不明の状態で見つめられた。その後病院へ搬送されたが、翌日死亡。死因は「くも膜下出血」であった。被災者は死亡前々日事務所2階への昇降階段下空間部の物入れ内にて、荷を抱えて立ち上がりながら振り向いた際、高さ1.3mの位置にあった梁に前額部をぶつけた。その時は被災者本人が「たんこぶ程度」と言い帰宅していた。	80109	3	1～ 9
2017	4	14 ～ 15	倉庫のスレート屋根の破損箇所にブルーシートを掛けるため、スレート屋根上を移動していたところ、スレートを踏み抜き、約6メートル下のコンクリート床面へ墜落した。	80109	1	1～ 9
2017	5	14 ～ 15	平屋住宅に太陽光発電パネルを設置する工事で、最終チェックのため現場に訪れた被災者がなんらかの原因で高さ3mの屋上から墜落し負傷した。入院治療を続けていたが、死亡した。	30301	1	10 ～ 29
		16	2階建て木造建築住宅の建築工事において、被災者が東面は壁材、床面は根太材しか無い状態であった2階のバルコニーを通り、東面笠木の下			

2017	5	～	17	を潜って外部足場に移動しようとしたところ、誤って笠木に頭をぶつけ、床面の根太材同士の間隙から1階床面（高さ290cm）に墜落した。	30202	1	1～9
2017	5	～	9	8 資材置場の小屋の屋根の上で樹木の枝払い作業を行っていたところ、当該屋根から地上へと約3m墜落した。	30209	1	10～29
2017	5	～	13	12 工場内第3製缶工場において、被災者が電源盤の増設工事を行っていた際、電源線を建屋高さ約3.3mに這わそうとして、建屋の梁に登り作業を行っていたところ、バランスを崩し約3.3m下に墜落した。	11502	1	100～299
2017	7	～	15	14 会社敷地内において、プレハブ倉庫の屋根（高さ2.8m）上に保管してあったコンパネを荷下ろしするために、被災者が同場所に上がり、地上の同僚に手渡しして行い、作業が終了した。この時点で同僚がトイレに行き戻ってきたところ、作業場所に真下で地面に横たわっている被災者を発見した。墜落の瞬間を目撃した者はいないが、被災者は屋根から墜落したものと推定される。	30202	1	1～9
2017	7	～	17	16 屋根改修工事のため、1F屋根折版上へ外部足場を組立てるため、同場所へ上り歩行中に網入りガラス（厚さ6.8mm）を踏み抜き、7.1m下のコンクリート地面へ墜落した。	30209	1	10～29
2017	7	～	11	10 被災者は、工場内にある電気炉の修繕工事を行っていたところ、約16m上方の天井梁に付着した固着ダスト（大きさ約15cm×15cm、厚さ約6cm、重量約1.2kg、酸化鉄30～50%、酸化亜鉛20～50%）の一部が剥がれ落ち、被災者の頭部付近に激突した。	30309	4	10～29
2017	7	～	11	10 被災者は鉄骨建屋の高力ボルトの本締め作業中、鉄骨梁下に張られた水平ネット上に工具を落とし、他の作業者に拾ってもらい、受け取った直後、高さ13.5mの所で鉄骨梁をまたいだ状態から体勢を崩し、反対側のみ固定されていたブレース材を掴んだがブレース材が下がりネットを破り、その隙間から墜落した。	30201	1	1～9

2017	7	10 ～ 11	3階建ての建物建設工事で、鉄骨建方作業中に、鉄骨の梁で下から2段目の端から地上に墜落（約8m）し、意識不明の状態での病院へ搬送され、その後死亡した。	30201	1	10 ～ 29
2017	7	8 ～ 9	一般住宅の棟瓦の積直し工事において、資材の屋根への持ち込み等準備作業中、屋根から墜落した。軒の高さ約6m。	30209	1	1～ 9
2017	7	16 ～ 17	雨水調整池の水槽内で、電気設備取付けのための足場の組立て作業を行っていた被災者が、中間梁（高さ6.4m）から墜落した。	30110	1	1～ 9
2017	7	10 ～ 11	工場のスレート屋根を補修する作業を行っていた労働者が、休憩を終えて作業箇所へ移動していたところ、スレートを踏み抜いて約4メートル下のコンクリート上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2017	8	8 ～ 9	2階建て民家の屋根（勾配33°）の上で、被災者が塗装作業に先立ち高圧洗浄機を用いて屋根の洗浄を行おうとしたところ、足を滑らせて約6.6メートルの高さから当民家に面する道路に墜落した。頭を強く打ち、死亡した。	30202	1	1～ 9
2017	8	14 ～ 15	薬局の倉庫のスレートぶき屋根の上において、スレート板を母屋材に留めるフックボルトの交換作業中、被災者が屋根の棟付近のフックボルトをサンダーで切断していたところ、スレートを踏み抜き、約7.7メートルの高さから倉庫内床に墜落した。頭を強く打ち、死亡した。	30201	1	1～ 9
2017	8	14 ～ 15	自社敷地内に鉄骨造平屋建ての倉庫を、事業主と社員1名で建てていた。作業の区切りを機に休憩に入り、事業主はその場から離れ、同じ敷地内にある事務所へ行った。30分後、作業場に戻ったところ、一緒に作業していた社員が地面に倒れているのを発見した。	40301	1	10 ～ 29
2017	9	14 ～ 15	躯体1階床から高さ274.3cmに位置する幅10.5cmの木製梁上で、柱に別の梁を取り付ける作業を行っていた被災者が、脚立の天板に乗り移ろうとした際に、躯体1階床まで墜落し死亡した。	30202	1	1～ 9

2017	9	10 ～ 11	一部2階建て一般木造住宅の解体工事において、釘で打ち付けられた垂木と鼻隠しを切り離すため、高さ約5mの2階桁及び火打梁に足をかけバールを使用して軒先側にあおったところバランスを崩し、隣地の庭木の土の上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2017	10	8 ～ 9	塗装工事現場において、店舗屋上の明り取り（トップライト）の施工方法について打ち合わせに来た元請事業場の営業職である被災者が、同明り取りのガラス部を踏み抜き、7m下の床に墜落した。	80101	1	1～ 9
2017	10	10 ～ 11	木造家屋の解体工事現場において、平屋部分の屋根上で瓦の撤去作業を行っていたところ、軒先から約2.5m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2017	10	16 ～ 17	S造1階建て牛舎新築工事において、被災者は屋根材を梁の上に仮置きしようとした。設置済みの屋根材の端に足をかけたところ、折れ曲がり、墜落防止用の網のすき間から約6.5m下の地面に墜落した。梁等組み立てのため親綱が設置されていたが、屋根材設置にあたり、全て外されていた。被災者は安全帯を装着していたが、使用していなかった。	30201	1	1～ 9
2017	10	10 ～ 11	木造建築物の建築工事現場において、建て方作業等を行っていた。被災者は、2階の梁上で床下地材を敷いていたが、作業中にバランスを崩し、約3.6m下の1階基礎コンクリート部分に墜落した。	30202	1	1～ 9
2017	11	14 ～ 15	木造二階建ての切妻屋根の板金張替え作業中、労働者2名が別々の場所で行っていたところ、「ドン」という音がしたので見に行くと、被災者が約6メートル下の地面に倒れていたため救急搬送したが死亡が確認された。	30209	1	1～ 9
2017	11	14 ～ 15	賃借している倉庫の雨樋修理を1人作業で行っていた被災者は、はしごを使用してあがったスレート屋根上を移動中に、歩み板を踏み外してスレート屋根を踏み抜き約5m下の倉庫内コンクリート床まで墜落し、頭部を打撲し頭蓋骨骨折により死亡した。	11209	1	10 ～ 29
		10	トタン屋根の張替作業中、被災者はトタン上に釘を打つ位置の墨出しを行うため、仮止めしたトタン屋根の上で事業主が持つ墨つぼから糸を引			1～

2017	11	～ 11	き出して屋根端部を移動していたところ、足を踏み外し、約2.7m下の地面に墜落した。	30209	1	9
2017	11	8 ～ 9	工場の雨漏り箇所の補修に使用する波板を補修場所まで運ぶため、被災者が同僚と屋根に登り、スレート屋根の上を移動していたところ、明かり取りの波板を踏み抜き、高さ約4.4mの位置からコンクリート床に墜落した。	11509	1	50 ～ 99
2017	12	12 ～ 13	鉄骨造工場増築工事現場において、組み立て中の鉄骨柱が傾き、柱間を渡していた梁の上にいる被災者が約7mの高さから墜落した。被災者は安全帯を着用していたものの、親綱等の設備が設置されていなかったため使用していなかった。	30201	1	1～ 9
2017	12	12 ～ 13	被災者を含め4名の労働者がダクトの修繕及び清掃作業に従事していたところ、被災者がスレート葺き屋根を踏み抜いて、約5メートル下のコンクリート地面に墜落し、死亡した。歩み板の設置等の踏み抜き防止措置は講じられておらず、被災者は保護帽を着用していなかった。	10401	1	10 ～ 29
2017	12	10 ～ 11	工場の屋根に設置されている太陽光パネルを労働者6名で清掃していたところ、被災者が屋根に設けられた天窓のガラスを踏み抜いて高さ約13.8メートルの箇所から墜落し、死亡した。なお、墜落防止措置は講じられていなかった。	150109	1	1～ 9
2017	12	14 ～ 15	納屋の解体工事において、防水シートを剥がす作業をしていたところ、高さ2メートル77センチメートルの屋根から墜落した。	30309	1	1～ 9
2016	1	16 ～ 17	木造平屋建ての倉庫新築工事現場において建方作業中、被災者が約4メートルの梁上から基礎コンクリートに墜落した。病院に救急搬送されたが、間もなく死亡した。	30202	1	1～ 9
2016	1	10 ～ 11	木造2階建て民家の解体工事現場において、2階の屋根上で、瓦を外す作業を行っていた被災者が、軒先から約6メートル下の地面に墜落し、4日後に死亡した。	30202	1	1～ 9

2016	1	11 ～ 12	個人住宅の壁の補修工事において、被災者が地上にいる同僚から材料を受け取るために1階屋根上を移動していたところ、屋根から墜落し、被災した。	30202	1	1～ 9
2016	1	8 ～ 9	所内に設置された焼却炉の解体撤去工事において、養生に使用する防災シートを張る作業を行っていた被災者が、作業場所の屋根の端部に仮置きされた防災シートを取りにいくために屋根に上り、置き場に向かう途中、屋根の採光部分（FRP製）を通過してしまい、踏み抜き、10メートル下に墜落した。	30309	1	1～ 9
2016	1	9 ～ 10	木造2階部分の屋根瓦葺き替え工事において、古い瓦を撤去後に屋根をブルーシートで覆ったが、降雨で工事箇所から雨漏りがするため、災害当日、もう一枚ブルーシートを上には掛け固定する作業を小雨の中3で行った。その際、南面で一人作業を行っていた被災者が、軒先から4.97m下の地上に落ちていたところを事業主に発見され、病院に搬送されたが、3日後に死亡した。	30209	1	1～ 9
2016	2	9 ～ 10	被災者は、同僚と2名でD型倉庫屋根に上り除雪作業をしていたところ、プラスチック製の屋根板を踏み抜き、倉庫内に約5.7メートル墜落した。	60101	1	1～ 9
2016	2	13 ～ 14	被災者2名を含め、総勢12名で学校校舎の屋根の除雪作業を行っていた。12名は屋根上で横一列に並び、軒先の雪を屋根下に落とすところ、屋根上の雪が全て屋根を滑り落ち、12名全員が落雪に巻き込まれ、2名が生き埋めとなった。	30309	1	1～ 9
2016	2	13 ～ 14	被災者2名を含め、総勢12名で学校校舎の屋根の除雪作業を行っていた。12名は屋根上で横一列に並び、軒先の雪を屋根下に落とすところ、屋根上の雪が全て屋根を滑り落ち、12名全員が落雪に巻き込まれ、2名が生き埋めとなった。	30309	1	10 ～ 29
2016	3	16 ～ 17	被災者が、S造の解体工事現場で解体作業中、スレートを踏み抜き約4m下に墜落した。	30209	1	1～ 9

2016	3	8 ～ 9	被災者は、同僚労働者と共に、木造新築現場の2階底部分の母屋上において、垂木の釘固定作業をしていたところ、6 m下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2016	3	9 ～ 10	当該事業場が所有する高さ7. 1 mのテント倉庫の屋根を補修するにあたりビニール製の屋根上を移動していた被災者が屋根を踏み抜いて約7 m下のコンクリート地面に落下した。	30209	1	30 ～ 49
2016	3	14 ～ 15	当該事業場において、スレート製の屋根の張替作業を行っていたところ、スレートを踏み抜き、高さ約5. 5メートル下のコンクリート製の床に墜落した。	10801	1	1～ 9
2016	3	17 ～ 18	木造建築工事（保育園園舎新築工事）において、母屋上で垂木取り付け作業中、被災者は木材等を運搬していたところ、母屋材と母屋材との間から墜落した。（墜落高さ約4. 3 m）	30202	1	10 ～ 29
2016	3	11 ～ 12	作業場の庇（鉄骨造・スレート張、縦1. 63 m、横5. 08 m、地上からの高さ4. 67 m）の上で、同僚2名と共に作業場外壁の塗装作業を行っていた被災者が庇のスレート部分を踏み抜き、地面（コンクリート舗装）に墜落した。災害発生時、被災者他2名は、庇に「歩み板」2枚（幅24 cm、長さ2 m、厚さ4 cm、木製）を敷いて作業を行っていたが、被災者は、板が敷かれていない箇所のスレートを踏み抜き墜落した。	11209	1	1～ 9
2016	3	11 ～ 12	自社工場のスレート屋根の修繕作業を行っていたところ、被災者がスレート屋根を歩行中に屋根を踏み抜き、高さ約5メートル下のコンクリート床に墜落し、死亡した。	11209	9	1～ 9
2016	4	11 ～ 12	被災者は、工場の屋根上で柱の塗装作業を行っていたところ、3. 79メートル下のアスファルト舗装した地面に墜落した。その後、救急車で病院に搬送され急性硬膜下血腫による死亡が確認された。	10103	1	30 ～ 49
2016	4	13 ～	木造2階建ての住宅改築工事において、被災者が同僚とともに1階屋根の瓦棧の固定作業中、被災者が屋根上に瓦棧を並べて置きながら移動し	30202	1	1～ 9

		14	ていたところ、軒先から足を踏み外し330cm下の地面に墜落した。			
2016	4	9 ～ 10	個人宅の倉庫解体作業において、社長を含む3人で朝の打ち合わせ後、被災者が一人でスレート屋根に登ったところ、踏み抜き、5.2m下のコンクリート製の床に墜落した。	30309	1	1～ 9
2016	4	11 ～ 12	立体駐車場の解体現場で、元請事業場雇用労働者が被災したものである。被災者は、解体中の建屋の梁（鋼製、幅約70cm、地上高21m）上にてアセチレンガス溶接機を用いて、駐車場設備の溶断作業を行っていたところ、誤って地上まで落下して死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2016	4	11 ～ 12	2階鉄骨造りの車庫兼倉庫の解体工事にて、2階の床材、垂木の撤去作業を終え、被災者は根太を取り除くために根太とH鋼を固定しているアングル部の釘をハンマー、バールを使用し抜き終わったところ、被災者は根太及びH鋼の開口部から約2.8m下の1階のコンクリート床面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2016	5	15 ～ 16	被災者は、木造2階建ての倉庫の2階屋根上（高さ約3.9メートル）で高圧洗浄機を使用し、洗浄作業を行っていたが、休憩時間になり地上に降りるため、2階屋根上から1階屋根上へ脚立を使って降りようとしたところ、脚立と一緒に1階屋根上から地上へ墜落し、19日後に死亡した。	30202	1	1～ 9
2016	5	10 ～ 11	被災者は瓦の補修工事のため、屋根に上り瓦の状況を確認していたところ、頭部から出血し、コンクリート土間に倒れているところを発見される。墜落したのを目撃した者はいないが、一緒に屋根上にいた別の労働者が何か落ちる音を聞いており、音がした方を見ると、被災者がコンクリート土間で倒れていた。	30209	1	10 ～ 29
2016	5	9 ～ 10	石油ストーブの撤去作業において、1階屋根上で2階壁面から出ている給排気筒の取り外し作業を行っていたところ、立ち上がろうとした際にバランスを崩して約3.5mの軒先から地面に墜落し、2日後に死亡した。	80204	1	1～ 9
		14	木造2階建ての集合住宅の建築工事現場において、被災者は高さ6.8			

2016	6	15	～	mの屋根上で野地板を張る作業を終えて、屋根から足場に移動中に墜落した。	30202	1		1～ 9
2016	6	15	～	被災者が鉄骨造の倉庫平家建て解体工事現場で、屋根材裏の板材を地上約4.5mの高さの木製の梁にのって撤去していたところ、同梁が折れて、墜落した。	30201	1		10 ～ 29
2016	6	17	～	被災者は、プレハブ小屋のひさしを設置するため、塩化ビニル製の波板を敷設していたところ、高さ約2.8メートルの位置から墜落した。	30202	1		0
2016	7	10	～	9 10 廃倉庫（軽量鉄骨造平屋建て、最高高さ4.96m）の解体工事において、被災者は屋根（鋼板と木材を組み合わせた構造）上にて親綱を張ろうとしたところ、足下が破損して約4.6m下の床面（土間コンクリート）に墜落、頭部を強打して負傷から約4時間後に死亡した。	30309	1		10 ～ 29
2016	7	11	～	10 木造2階建住宅のテレビアンテナ取り換え工事において、高さ約6メートルの屋根上から墜落した。	30203	1		1～ 9
2016	7	11	～	10 木造2階建て事務所解体工事において、被災者は2階床のほりに上がって根太の取り外し作業をおこなっていたところ、約3m下のコンクリート基礎に墜落した。	30209	1		1～ 9
2016	7	14	～	13 被災者は、スレート屋根上でビス止め部分にコーティング剤を施す作業を行っていたところ、当該スレート屋根（高さ約8メートル）を踏み抜き墜落した。	30209	1		1～ 9
2016	8	15	～	14 木造平屋倉庫の解体工事において、屋根上で屋根瓦の撤去作業中、野地板を踏み抜き約6m下のコンクリート床に墜落し脳挫傷により死亡した。	30209	9		1～ 9
2016	8	10	～	9 高さ約7メートルの事業場第2工場の屋根のスレート部分を被災者が渡っている際、被災者の乗っている位置のスレートが破れ、コンクリート地面に墜落した。	10899	1		1～ 9

2016	8	9 ～ 10	木造2階建て家屋の解体工事において、屋根の瓦撤去作業中、誤って地上約6メートルの地点から墜落し、病院に搬送されたが、まもなく死亡した。	30309	1	1～ 9
2016	8	12 ～ 13	車庫に併設されている物品庫の屋根の一部が剥がれていたため、被災者と同僚の2名で屋根の状況を確認するため、午後0時30分、屋根上へ上がり開口している箇所に向けて被災者が歩いていたところ、スレートを踏み抜き3.7メートル下の物品庫の床に墜落し、頭部を強く打ちつけ、意識不明となっていたが死亡した。	120101	1	10 ～ 29
2016	9	8 ～ 9	鉄骨組立作業において、高さ16メートルの位置に梁（長さ約6.6メートル、重量3.7トン）を移動式クレーン（つり上げ荷重90トン）を使用して設置後、同僚とともに梁の両端でバールを使用して梁位置の微調整を行う作業中、墜落した。	30201	1	1～ 9
2016	9	14 ～ 15	自社の工場建屋の雨樋の交換作業を被災者は他の2名の労働者と行っていたが、その作業が終了し、後片付けを行っている時に、被災者がコーキングガンを持って屋根に上って行き、工場建屋の天井を踏み抜いて天井から工場の床（高さ8.75メートル）まで墜落し、死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2016	9	18 ～ 19	鉄塔の避雷針取替工事において、地上から31m50cmの高さにある梁上で、被災者が避雷針取替作業を行っていたところ、梁間の開口部から4m18cm下のグレーチング製のステージ上に墜落し、死亡した。	30301	1	1～ 9
2016	10	17 ～ 18	スレート屋根の補修等の作業を行うため、同屋根上で作業を行っていた被災者が、スレートを踏み抜き、約5メートル下のコンクリート製床面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2016	10	15 ～ 16	2階建て木造住宅の屋根板金葺き替え工事において、トタンの仮設置を終えたところで雨が降り出したため、当日の作業を中止しようと、道具を片付けていたところ、屋根上で足を滑らせ2階屋根軒先から墜落。一旦玄関屋根に墜落し、アスファルト地面に墜落し、頭部を強打して死亡した。	30202	1	1～ 9
		15				

2016	10	～ 16	工場新築棟の屋根上で防水シートの敷設作業を行っていた被災者が、 ルーフファン取付予定箇所に係る開口部から地上に墜落し、死亡した。	30201	1	1～ 9
2016	10	～ 16	被災者は、2階建て木造新築工事現場の2階梁上で梁を固定する作業を行っていたが、別の場所で2階の梁を固定する作業を行っていた作業者に梁固定用のボルトを持っていくため、2階の火打ち材に足を掛けた。その際に火打ち材が外れたため、バランスを崩して火打ち材とともに約6メートル下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2016	10	～ 12	木造2階建住宅の1階屋根上（幅118cm、勾配5.0度）において、被災者が2階外壁へ下地材の取付作業を行っていたところ、誤って屋根端部から約4m下方のコンクリート地面へ墜落した。	30202	1	1～ 9
2016	10	～ 14	木造2階建て住宅の新築工事現場において、2階の屋根葺き（野地板釘打ち）作業を行っていた被災者が、足を滑らせ同屋根の端から6.21m下のアスファルト地面に墜落した。	30202	1	30 ～ 49
2016	10	～ 15	被災者は、太陽光パネルの設置工事において、二階建て建物の屋根に上がって作業を行っていたところ、屋根から約7メートル下のアスファルト舗装された駐車場に墜落した。	30302	1	10 ～ 29
2016	11	～ 16	工場の屋根修理工事で、被災者と所属会社の社長の2名が、オペレーターが操作する高所作業車にて屋根に登り、歩み板や防網等の危害防止措置を取らずに作業を行ったところ、被災者はスレート屋根を踏み抜き、約9.6メートル下のコンクリート床へ墜落し、死亡した。	30209	1	1～ 9
2016	11	～ 12	屋根の塗装工事を行うため、高圧洗浄機にて屋根の洗浄作業を行っていたところ、誤って屋根から墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2016	11	～ 11	最近休憩室に設置されたTVの受信状態が悪かったため、午前の休憩時間中にトラクター車庫の屋根に登り、TVアンテナの設置・調整をしようとしたところ、スレート屋根を踏み抜き約4m下の土間に墜落し、頭部等を強く打ち死亡した。	70101	1	1～ 9

2016	12	14 ～ 15	2階建て住宅の屋根上（高さ約6メートル）において、被災者が塗装作業を行っていたところ、外部足場（一側足場）に設けられた中さんの設置位置が高すぎたため、屋根上からその間を通り、さらに落下防止用シートの間をも通過して地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2016	12	14 ～ 15	木造2階建て住宅のリフォーム工事現場において、資材を取りに行くため、作業箇所から移動はしごが取り付けられた位置まで1階の屋根の上を移動していた被災者が、足を滑らせ同屋根の端から3.4m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2015	12	8 ～ 9	屋根置き式雪止め設置工事で、一般住宅の屋根（2階建て、地上からの高さ5.75m）に梯子を立てかけ登ったところ屋根又は梯子から墜落し、勝手口前の歩道に頭部を打ち付け脳挫傷により死亡した。	30202	1	10 ～ 29
2015	9	12 ～ 13	S産業は産業用機械を製造する事業場で約30年前にN産業に砂洗浄機を納入し、メンテナンス等も行っていた。台風でスレート屋根に穴が開き、その補修作業をN産業からS産業へ依頼した。第1日目は殆ど剥がれた屋根へ波鉄板を設置する作業が行われ、第2か3日目にスレート屋根の補修作業を行っている際、被災者が踏み抜き、約5mの地上まで墜落し死亡したものの。	30209	1	1～ 9
2015	5	8 ～ 9	宿直用の布団を干すため、管理棟3階の明かり取り用のトップライトに上ったところ、厚さ6.8ミリメートルのガラスを踏み抜き、約8.4メートル下のプラットホームに墜落し死亡した。	150103	1	30 ～ 49
2015	8	15 ～ 16	被災者は、木造平屋建ての公営住宅新築工事現場において、高さ約3メートルの梁上で、携帯電動ドリルを使用し、梁に接続金具を取付けるためのボルト穴を開ける作業を行っていたところ、コンクリート土間に墜落したものである。意識不明の状態での病院に搬送されたが、8月20日に脳挫傷により死亡したものの。安全帯は着用していたが使用せず、安全帯を取付けるための設備も設けられていなかった。	30202	1	1～ 9
			在来工法による木造建築工事の建て方作業中、2階の床（91cm四方、厚さ24mmの合板）を敷いていたところ、幅12cmの梁（高さ			

2015	12	14 ～ 15	3. 8 m) から足を踏み外し、ベタ基礎に後頭部を強打した。保護帽、安全帯は着用していたが安全帯を取り付ける設備は無かった。墜落防止用のネットが用意されていたが取り付けられてなかった。病院へ収容され、翌早朝死亡した。	30202	1	1～ 9
2015	9	8 ～ 9	被災者は、屋根のペンキ塗り作業に際し、屋根の端から約6メートル下の地面まで墜落し、全身を打って死亡したものの。災害発生日の朝、現場に来た社長が、隣地内に倒れている被災者を発見したものの。	30202	1	1～ 9
2015	5	9 ～ 10	木造家屋建屋解体現場において、労働者2名が建屋の屋根（高さ2. 99メートル）に上がり、屋根の瓦を外す作業をしていたところ、被災者が墜落し、死亡したものの。被災者は、被災時に保護帽を着用していたものの、安全帯を着用していなかった。	30309	1	1～ 9
2015	3	8 ～ 9	既存のスレート屋根部分の改修工事のため、2名でスレート屋根上に上り、墜落防止用のネットをスレート上にかぶせる作業を行っていたところ、スレート屋根を踏み抜き、高さ約5メートル下のコンクリート床面に墜落し、当日13時頃死亡した。	30209	1	1～ 9
2015	3	13 ～ 14	被災者は、木造建築工事現場において棟上げ作業中、梁に載せられていた木材の上に乗ったため、それが揺動して約3メートル下の床面に墜落し負傷した。それにより翌日に病院において死亡した。被災者は、棟上げ作業について当日のみ手伝いに来た特別加入者であり、労働者性について調査を実施中。	30202	1	1～ 9
2015	11	10 ～ 11	スレート壁及びスレート屋根の解体工事において、取り外したスレート壁を運ぶ作業中、通路としていたスレート屋根を踏み抜き、高さ5. 55 m下の地面に墜落し死亡したものの。墜落時保護用の保護帽の着用はあったが、安全帯の着用、使用はなかった。	30209	1	1～ 9
2015	10	10 ～ 11	牧場の駐車場の屋根の改修工事を行うに際し、屋根板を剥がそうと屋根上を移動したところ、屋根板が曲り屋根板間の隙間から高さ7. 3メートル下のコンクリート面に墜落したものである。	30201	1	1～ 9

2015	4	14 ～ 15	農場屋根壁かぶせ工事において、会社から派遣され、業務に従事していた被災者ら2名の労働者は、鶏舎の屋根上に荷揚げされた屋根材の運搬作業を行うため、当該鶏舎の屋根上に登り二人で屋根材を持ち、はり付け作業を行っていた場所へ運搬していたところ、被災者が足を滑らせ転倒し、そのまま傾斜17度の屋根を端の方へ滑り、屋根の端から7m下の地面に墜落したものの。	30209	1	1～ 9
2015	7	15 ～ 16	天井クレーンのトロリとトロリ線の接触不良のため、修繕しようと建屋梁及び筋かいをよじ上って作業しようとしたところ高さ約4メートル墜落したものの。（推定）	11209	1	1～ 9
2015	2	13 ～ 14	生物園の大温室（ガラス張り）の屋上において、被災者が高圧洗浄機を用いて屋根ガラスの清掃作業中、ガラス上に乗った際に割れ、約9.5メートル下の通路（コンクリート構造）に墜落し、死亡したものの。	150101	1	1～ 9
2015	9	13 ～ 14	地上9階建て建築物の新築工事現場において、6階梁型枠上（地上からの高さ19.2m）でコンクリート打設作業中、流し込んだコンクリートが型枠から溢れ出たため、それを手で拾い上げようとして腰を下ろし、立ち上がろうとしたところ、バランスを崩して14.5m下にある外部足場の頭つなぎ単管上（地上からの高さ4.7m）に墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2015	9	14 ～ 15	公民館の屋根改修工事において、被災者は屋根の軒付近にある縦樋のゴミ除け用網かごに番線をかけ、コーキング樹脂で固定する作業を行っていた際、屋根の軒から吹き抜け廊下の屋根端のパラペットに移ろうとしたところ、約3メートル下の玄関ホールの屋根へ墜落した。被災者は第一日赤へ搬送され治療を受けていたが、容体が悪化して9月23日に死亡した。	30201	1	1～ 9
2015	6	18 ～ 19	5階建て共同住宅の屋上において、雨漏り箇所の目視確認作業中、屋上から墜落したものの。	30209	1	1～ 9
		13	被災者は一人で、鉄骨スレートぶきの平屋倉庫の屋根に上がって、木つつる等を撤去しようとしていたところ、スレートを踏み抜き4.2m下			10

2015	12	～ 14	の倉庫の床まで墜落した。（近所の住民が被災者の姿が見えなくなったので探したところ倉庫内で倒れている被災者を発見したもの）	10806	1	～ 29
2015	7	～ 17	木造平屋建ての作業小屋増築工事において事業主と労働者2名で作業していた。被災者は、屋根上で垂木に野地板を取り付ける作業中、屋根上（高さ約3m）から土の地面に墜落し死亡した。	30202	1	1～ 9
2015	4	～ 13 ～ 14	平屋木造家屋新築工事現場において、被災者は屋根部分の垂木を設置する作業のため、高さ5.37mの棟木（屋根の最上部に設置された垂木を取り付ける為の材）に上り作業を行っていたところ、バランスを崩し土間コンクリート上に墜落したもの。なお、災害発生時において、作業床の設置、ヘルメットの着用及び安全帯の着用（取付設備設置なし）等の墜落防止措置は講じられていなかったもの。	30202	1	1～ 9
2015	6	8 ～ 9	事業場所有の資材倉庫のトタン屋根張り替え作業において、労働者4名によりトタン屋根の撤去作業中、被災者はトタン屋根を踏み抜き約5m下のコンクリート床に墜落した。頭蓋骨骨折で意識不明の重体であったが、平成27年6月9日夜に亡くなったもの。	30202	1	10 ～ 29
2015	3	～ 14 ～ 15	商店街アーケードの点検用通路等の試し塗り作業に従事していた際、本通路の外側にある梁上において何らかの作業をしていたとき、バランスを崩し、約7メートル下に墜落したもの。	30209	1	1～ 9
2015	12	～ 11 ～ 12	2階建て一般住宅の塗装工事現場において、被災者は2階屋根上で塗装作業を行っていたが、自らが塗った塗料を踏んで足を滑らせて転倒、屋根を滑り落ちて軒先の雪止めに引っ掛かり一度は止まった。しかし、被災者はその場で立ち上がり、躯体外部に設置してあった単管に飛び移ろうとしたが、単管を掴み損ない、養生シートを突き破って敷地外に飛び出し、約7m下のアスファルト路面に墜落したもの。	30209	1	1～ 9
2015	1	～ 15	被災者が、高さ約6メートルの屋根の端部から墜落し、災害発生現場に設置されていた灯油タンクに激突した後、地面に転落し、死亡したものの。災害発生時、被災者は2階建ての建物の屋根（勾配約20度）上に	30199	1	10 ～

		16	において、長さ約1メートルのスコップを用い、雪庇を除去する作業を行っていた。作業位置及び隣接部に、足場等は設けられておらず、安全帯及びヘルメット等の保護具は未着用であった。			29
2015	6	14 ～ 15	被災者は、木造2階建て商業施設建設工事現場において、木造2階床組の根太固定作業中、足を掛けた根太がずれ、高さ3.2mから1階土間コンクリート上に落下、後頭部を強打した。救急車にて病院に搬送され、当日、頭部の血腫除去手術を受けた後、入院療養中であったが、7月26日に急性呼吸不全により、死亡した。災害当日、ヘルメットは着用していたが、安全帯を使用していなかった。	30202	1	30 ～ 49
2015	1	11 ～ 12	鉄骨平屋建て牛舎資材置場の解体工事において、波板スレート屋根の取り外し作業をしていた被災者が屋根上を移動中に波板スレートを踏み抜いて約3.7m下に墜落した。被災者は入院先の病院で平成27年4月27日に脳挫傷で死亡した。	30201	1	1～ 9
2015	9	14 ～ 15	個人住宅の屋根塗装の前処理として、ゴムホースを用いて屋根上を水洗浄作業中、1階屋根上から約4m墜落し、頭部を石に強打した。	30202	1	1～ 9
2015	10	11 ～ 12	事業場敷地内にある足場に屋根を取り付けるため、隣接する建物の屋根上において作業中、高さ約4メートルの同屋根上から地上に墜落した。	170209	1	10 ～ 29
2015	1	8 ～ 9	二階建住宅の増改築工事において、一階屋根の上で配線を取り外す作業を行っていたところ、約4m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2015	1	8 ～ 9	被災者は、社会福祉施設の新築工事現場において、午前7時30分頃から、一人で高さ約12メートルの3階屋根（庇）上で、屋根の付け根に「水切り」を取り付ける作業を行っていた。その付近に安全帯を取り付ける設備はなかった。午前8時10分、当該屋根の下を通りかかった別の作業者が、地面に倒れている被災者を発見した。被災者は、頭から血を流しており救急車で搬送されたが、午前9時20分頃に死亡が確認さ	30201	1	1～ 9

			れた。			
2015	9	13	菓子製造会社の工場の増築工事のため、木造建築を行っていた大工である被災者が、屋根上にて垂木にまたがり、下地となる木製板（野地板）を垂木にはり付ける作業を行っていたところ、垂木（3.9cm×8.9cm）が折れ、4.4m下のコンクリート地面に墜落し、全身を打撲し肺血腫により死亡した。被災者は保護帽をしていなかった。墜落防止措置は講じられていなかった。その後の調査により労働者であるとの判断に至った。	30209	1	1～9
2015	7	11	農作業小屋のトタン屋根張替工事において、トタンを取り外すために被災者がトタンの上にあがり、トタンを固定しているボルトを外していたところ、トタンが被災者を乗せたまま屋根（勾配32度）から落下し、約4.5mのコンクリート面に激突した。その後病院に搬送され治療を行っていたが、7月18日に多発外傷により死亡した。	30209	1	1～9
2015	3	9	個人住宅の屋根瓦葺き替え工事現場において、被災者は作業員4名とともに屋根上で瓦を剥がし、地上に停めたトラックの荷台に降ろす作業をしていたところ、約2.14m下の地面に墜落したものの。	30209	1	1～9
2015	5	8	民家駐車場の屋根改修作業（塩ビの屋根材を張り替える等）にて、作業手順等を決定するため屋根梁上にしゃがんでいた被災者が、バランスを崩してしりもちをつき、手で屋根材を破損し、3.1m下のコンクリート上に墜落したものの。治療を受けていたが5月27日早朝に肺炎を直接原因として死亡した。保護帽は着用していた模様。	30209	1	1～9
2015	1	13	個人住宅の解体工事現場において、2階の屋根の上で瓦おろし作業を行っていたところ、被災者の姿が見えなくなったため、同僚が被災者を探したところ、地面に墜落した被災者を発見した。被災者は、発見時に口と鼻から出血があり、病院に搬送された後、死亡した。被災者はヘルメットを着用していたが、飛来・落下物用兼電気用のものであり、墜落時保護用のものではなかった。墜落時の衝撃により、ヘルメットには割れが生じた。	30209	1	1～9

2015	12	9 ～ 10	10階建集合住宅改修工事現場において、不要となった仮設電線を撤去するため屋根上で作業を行っていた被災者が、1階床から屋根上まで約30mの吹き抜けとなっている箇所の1階床に倒れているところを発見された。吹き抜けの屋根上開口部から墜落したものと推定する。	30203	1	1～ 9
2015	4	9 ～ 10	木造2階建て一般家屋の屋根塗装中に発生した災害。被災者が、ローラーを用いて塗装作業を行っていた時に、高さ6.2メートルの屋根から滑り落ち、2階ベランダ手すりに当たった後に、地面に墜落したものの。療養していたが、平成27年11月22日に死亡した。	30202	1	1～ 9
2015	5	8 ～ 9	会社事務所兼工場建屋のスレート屋根の屋根材取替作業の準備作業のため上を移動中、明かり取りのためにふかれたFRP製の屋根材（厚さ約1mm）を踏み抜き、墜落（高さ6.6m）した。（5月23日病院で死亡）	30203	1	1～ 9
2015	4	16 ～ 17	幼稚園建替え工事において、防音パネルの設置を行う作業に従事していた被災者が、1F屋根上で防音パネルの受け渡しをしていたところ、足を滑らせ、屋根妻側端部より墜落、頭がい骨骨折及び第7胸骨骨折により病院に運ばれるが、4月21日午前11時に死亡が確認された。	30209	1	1～ 9
2015	10	14 ～ 15	木造2階建て住宅屋根修理工事において、被災者がはしごに乗ったまま南側1階屋根の古いしっくい除去作業を終えた後、一旦地面に下り、しっくいの入ったバケツを持ってはしごを昇り屋根上に上がって移動していたところ、足を滑らせ2.95m下の砂利敷きの地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2015	10	15 ～ 16	庫裡建築工事において、梁の上で被災者と同僚の2名で、他の梁を取り付け、その後、クレーンの運転手が梁を吊っていたクランプを上げたところ、クランプの一つが取り外されていなかったため、梁が持ち上がった。持ち上がった梁に足を掛けていた被災者はバランスを崩し、高さ3.86m下のコンクリート面に墜落した。その後、病院に搬送されたが、脳挫傷等により同日午後11時49分に死亡した。	30202	1	1～ 9
2015	9	13 ～	高さ約6メートルの箇所で垂木の取付け作業を行っていた時、垂木の端から地上に墜落したものの。被災者は、平成27年9月3日、搬送先の病	30202	1	10 ～

		14	院で死亡した。			29
2015	9	9 ～ 10	太陽光発電設備設置工事の準備のため、屋根上で材料の運搬をしていたところ、被災者が明かり取り用の窓を踏み抜き、8メートル下のコンクリート地面に墜落し、死亡したものの。	30302	1	1～ 9
2015	7	15 ～ 16	4階建のショッピングセンターの屋上にある高架水槽の配管の保温工事において、作業者が高架水槽の建屋の屋上から、4.15メートル下のショッピングセンター屋上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2015	4	8 ～ 9	屋根の張り替え工事現場において、被災者が下地材に固定されていない屋根材の上に乗った結果、当該屋根材（スチール製）とともに、約5.2メートルの高さからコンクリートの床に墜落した。ドクターヘリにて病院に搬送され、入院し治療を受けていたが、11日後（5月3日）に死亡した。	30209	1	1～ 9
2015	8	0 ～ 1	SRC造り6階建のパチンコ店舗解体工事現場において、鉄筋切断機（解体用機械）を用いて1階天井の大梁（H鋼）と小梁（H鋼）を解体作業中、まず大梁を解体するため、鉄骨切断機で当該大梁をつかみ回転させたところ、その反動で当該大梁に取り付けられていた小梁（長さ6.77m、高さ44cm、幅20cm、重さ約500kg）の一つが一緒に動き落下し、下方にいた被災者に当たったもの。	30201	4	1～ 9
2015	2	11 ～ 12	中学校の体育館の屋根周囲の雨水配水管の排水口（ドレン）に堆積した落葉等の清掃作業を2名で行っていたところ、被災者が西側の屋根から約11メートル下の公道上に墜落し死亡したものである。なお、同作業は同日のみで終了する予定であった。	150101	1	1～ 9
2014	5	9 ～ 10	外壁等改修工事にて、被災者は、鉄骨造の躯体から約1メートル外に張り出している、高さ約7.8メートルの屋根の強度を調査するため（屋根に）登ったところ、崩壊し、当該屋根と共に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
		9	鉄骨スレート屋根の倉庫解体工事にて、被災者は、80cm間隔で設けられた母屋材に足を乗せスレート材（181cm×71cm）を外す作			

2014	1	~ 10	業を行っていたところ、スレートを踏み抜き、約7 m下のコンクリート床に墜落した。尚、被災者が直前にいた場所には足場板（幅24 cm、長さ400 cm）が1枚あり、墜落によってできた開口部は縦約80 cm、幅約130 cmであった。	30209	1	1~ 9
2014	1	9 ~ 10	リフォーム工事にて、工事現場の隣家敷地内で労働者が倒れているところを発見された。目撃者なし。	30209	1	1~ 9
2014	1	10 ~ 11	外壁の防水、屋根及び壁の塗装工事の一環として、足場3層目の高さに位置するスレートひさし上でシーリングの打設を行っていた被災者は、バリ取りに用いるハンドカッターを1階に置き忘れたため取りに戻り、再度スレートひさし上の作業場所に戻ろうとした際、スレートひさしを踏み抜き、コンクリート地面まで5.5メートル墜落して死亡した。	30209	1	1~ 9
2014	2	11 ~ 12	被災者は、他3名の作業員とともに、同寺院会館の片流れ形状の屋根（幅22.5 m、奥行16.15 m、高さ最高約9.4 m、最低は軒の約4.4 m）の端（軒付近）で雪庇を降ろしていたところ、突然、滑り落ちた屋根雪とともに軒下に落下し、他1名とともに埋もれ、窒息により死亡した。	30209	1	1~ 9
2014	2	14 ~ 15	木造平屋建て事務所の新築工事現場にて、被災者は同僚と6名で、幅11 cmの梁及び梁と梁の間に架け渡した幅24 cmの足場板の上で、雲筋と呼ばれる柱や梁の歪みを防止するための筋かいを取り付ける作業を行っていたが、バランスを崩し、3.05 m下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	10 ~ 29
2014	2	16 ~ 17	スレート屋根葺き建物の漏水調査のため、屋根に上がり、スレート板上を歩行していたところ、スレート板を踏み抜き、約6 m下へ墜落した。	30209	1	50 ~ 99
2014	2	16 ~	防水改修工事にて、屋上で防水シートの下地（糊）の剥ぎ取り作業を行っていた被災者は、サンダーを接続した延長コードを持ち屋上を後ろ向きに移動していたところ、屋上の立ち上がり部（高さ23センチ）を	30209	1	1~ 9

		17	超え、7メートル下のタイル貼り面に墜落した。			
2014	3	16 ～ 17	2階の資材置場の窓から工場の屋根に上がっていたところ、スレート屋根を踏み抜き、約5.7mの高さから墜落した。	10401	1	10 ～ 29
2014	3	17 ～ 18	工場（鉄骨造）の屋根（面積約1000平方メートル）に太陽光発電パネルを設置する工事を、被災者他2名にて行っていたところ、被災者は、屋根の明り取り用天窗（ガラス葺）を踏み抜き、9メートル下の床に墜落し死亡した。	30309	1	1～ 9
2014	3	11 ～ 12	スレート屋根の解体作業を行っていた際、被災者はスレート板を踏み抜き、約4.5m下の土間に墜落した。	30209	1	1～ 9
2014	3	10 ～ 11	単管で組まれた車庫の屋根波板貼り下地木材設置作業中、体勢を崩し、梁部からコンクリート地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2014	4	14 ～ 15	屋根の塗装工事中、瓦屋根の端（高さ3m48cm）から墜落した。	30203	1	1～ 9
2014	4	9 ～ 10	スレート葺の屋根に上り、設備の設置位置の確認のため、墨出し作業を行っていたところ、被災者は、屋根頂部付近よりスレート屋根を踏み抜き、約6.9m下に墜落した。	30301	1	1～ 9
2014	5	13 ～ 14	自動車整備工場の塗装ブース設置工事にて、被災者は、屋根の端に立ち、ダクトの部品を屋根に上げ、ダクトの取付場所に向かい歩み、板及びトタンの上を通行していたところ、転倒し、トタンの横のスレートを踏み抜き、墜落した。	30302	1	1～ 9
2014	5	11 ～ 12	2階建て木造家屋改築工事にて、1階屋根部分の瓦を葺く作業のため、屋根上を歩行中、屋根から3.61m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9

2014	5	16 ～ 17	一時的に垂木に設置していた部材を取り外していたところ、バランスを崩し、梁の上からコンクリート製基礎まで墜落した。	30202	1	1～ 9
2014	5	9 ～ 10	スレート屋根上の隙間を発泡ウレタンで埋める作業を行っていた際、スレート屋根を踏み抜き、約6メートル下の地面に墜落し、死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2014	6	16 ～ 17	被災者は、スレート屋根上に上り作業をしていたところ、スレート屋根を踏み抜き、高さ約4.9mコンクリートの床面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2014	6	10 ～ 11	高さ6.3mの屋根瓦の端にて、コーキング打ち作業を行っていたところ、足を滑らせ墜落し、死亡した。	30202	1	10 ～ 29
2014	6	18 ～ 19	マンション外壁改修工事現場のマンション屋上にて、被災者がゴンドラをつりワイヤーロープ、垂直親綱及び電源コードの引き揚げ作業を行っていた際、マンション屋上から転落し、死亡した。	30201	1	50 ～ 99
2014	6	15 ～ 16	屋根に登り、屋根材であるスレートの取り外し作業を行っていたところ、被災者がスレートを踏み抜き、約4.6メートル下のコンクリート地面に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2014	7	13 ～ 14	スレート屋根材を取り外し中、被災者は、スレート屋根に上り屋根を移動中、明かり取り部分を踏み抜き、約6.5m下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2014	7	11 ～ 12	体育館解体工事にて、屋根の鉄板を移動式クレーンで剥ぎ取っていたところ、鉄板を剥ぎ取り、木毛セメント板のみになっていた箇所から、被災者が木毛セメント板を踏み抜き、9.3m下のコンクリート土間に墜落した。	30309	1	1～ 9
2014	7	14	スレート葺き鉄骨造倉庫の屋根塗装作業中、屋根頂部付近でスレートを留めるボルトに錆止め塗装を行っていた被災者は、スレートを踏み抜	30209	9	1～ 9

		15	き、約8.7m下のアスファルト床面に墜落した。			
2014	8	9 ～ 10	小屋の屋根に上がり、剪定をしていた被災者は、4.5m下に墜落し、死亡した。	60101	1	1～ 9
2014	8	16 ～ 17	木造2階建の建屋の解体工事にて、屋根のスレート瓦を撤去する作業中、建物の周囲に設置された足場の手すりや屋根の間から下の停められていたダンプの荷台の中に墜落した。	30201	1	50 ～ 99
2014	8	14 ～ 15	バス用車庫にて、車庫屋根の明り取り部分の波板を張り替える作業を行っていたところ、スレート波板の屋根を踏み抜き、3.6メートル下のコンクリート床に転落した。	140101	1	1～ 9
2014	8	8 ～ 9	屋根雨漏り補修工事にて、梯子から屋根に移ろうとした際、バランスを崩し、3m下の地面へ墜落した。	30202	1	1～ 9
2014	9	14 ～ 15	建物のスレート屋根解体作業中、スレート屋根上を移動していたところ、スレート屋根を踏み抜き、コンクリート床面まで約8メートル墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2014	10	11 ～ 12	スレート葺きの屋根上にて、スレートの破損部分の補修作業を行っていたところ、スレートを踏み抜き、コンクリート床に墜落し、死亡した。	30201	1	1～ 9
2014	10	16 ～ 17	調理部屋にて、明かり取り用の窓に日差しよけビニールを付けようと脚立を使い、梁に上がったところ、転落。頭部を強打し、死亡した。	150101	1	50 ～ 99
2014	10	13 ～ 14	工場建屋屋根張替え工事現場にて、屋根上で屋根材の張替え作業中、屋根の下地材である木毛板を踏み抜き、建屋内床に墜落し、死亡した。尚、被災者は安全帯を着用していたものの、使用しておらず、親綱の設置、歩板の設置も無かった。	30209	1	1～ 9
		13	梁又は梁の上に敷いたコンパネ上で屋根工事中、開口部（梁とコンパネ			

2014	11	～ 14	の間) から墜落した。尚、被災者はヘルメットを着用していたが、安全帯は使用していなかった。また、作業現場には防網は持ち込まれていたが、使用していなかった。	30202	1	1～ 9
2014	11	～ 11	10 鉄骨造平屋のスレート屋根の上にて、屋根の補修作業中、スレート屋根を踏み抜き、コンクリート床に墜落し、死亡した。	11709	9	1～ 9
2014	11	～ 18	17 2階建木造住宅新築工事現場にて、2階梁上で根太を並べる作業中、下のコンクリート床へ墜落した。	30202	1	1～ 9
2014	12	～ 16	15 鉄骨組立作業中、桁の上を移動していたところ、バランスを崩し、約8メートル墜落した。	30201	1	1～ 9
2014	12	～ 14	13 住宅屋根雪下ろし作業中、蔵屋根から誤って墜落し、死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2014	12	～ 16	15 1階の屋根上にて、2階屋根の軒先付近に張り出した雪をスコップで突き落とそうとした際、雪止めが外れていた2階屋根上の雪が大きな塊となって落下し、落下した雪とともに1階屋根上から滑落。頭部を下にした状態で雪中に埋もれ、低酸素脳症により死亡した。	80209	4	1～ 9
2013	6	～ 17	16 住宅新築工事現場において、2階リビングの内装作業中（はりの下塗り作業）、約3メートルの高さのはりから墜落した。	30201	1	1～ 9
2013	10	～ 14	13 倉庫の屋根（スレート葺）に設けられている27か所の採光箇所のうち13箇所について、波板の葺き替え作業を行っている際、当該波板を踏み抜いて墜落した。尚、墜落した箇所の高さは約10mであった。	30209	1	1～ 9
2013	5	～ 19	19 工場の屋根の張替え工事において、被災者は、屋根に上り既存の屋根材（折板鋼板1枚：幅0.66m、長さ12.5m）を解体する作業を	30209	1	1～

		20	行っていた。解体のため屋根材を切断した箇所に乗ったところ、屋根を踏み抜き、10m下の地上（アスファルト）に墜落した。			9
2013	9	15 ～ 16	新築工事現場において、屋根上で作業員4名が瓦葺き作業を行っていたところ、被災者が足を滑らせ、屋根の端部から約2.5メートル下の地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	10	11 ～ 12	被災者は、スレート屋根の上で作業を行っていたが、スレートを踏み抜き、3メートル墜落した。尚、被災者は、保護帽は着用していたものの、安全帯は着用しておらず、歩み板も使用していなかった。	30209	1	10 ～ 29
2013	11	9 ～ 10	太陽光パネル設置工事において、屋根上で作業を行っていた被災者は、明り取り用のガラス窓を踏み抜き、約9m下の倉庫内コンクリート路面に墜落した。	30302	1	1～ 9
2013	4	16 ～ 17	木造2階建家屋の屋根瓦葺き替え工事において、1階屋根軒先部分の野地板を取り替えるため、古い板を取り外し、垂木に載りホウキで清掃していたところ、足を載せた垂木が取り付け部から曲がり、バランスを崩し転落した。被災者が足を載せた垂木は、隅木近くで軒桁に支えられておらず、作業者の体重で曲がった。尚、作業場所に作業床は設けられておらず、転落を防止する安全帯は使用していなかった。また、保護帽も着用されていなかった。	30202	1	1～ 9
2013	6	16 ～ 17	ショールームの天井から雨漏れの連絡があり、被災者が屋外展示場の屋根で、雨漏れ箇所の確認や補修作業を行っていたところ、ガラスを踏み抜き、約6.3m下のアスファルトに墜落した。尚、屋外展示場の採光のため、屋根の一部がガラスとなっていた。	80202	1	50 ～ 99
2013	7	11 ～ 12	建物等の状況の確認に訪れた際、車庫に雨漏りがあることを聞き、車庫の屋根の雨漏り箇所の状態を3名の労働者で確認していた際、被災者は、一人で当該車庫の西面のスレートでふかれた屋根に上った。その後、屋根上の被災者が、足元のスレートを踏み抜き、約6メートル下の車庫のコンクリート床面に墜落、頭部を強打した。	90103	1	1～ 9
			被災者は、S造平屋倉庫（最高高さ12メートル）のスレート屋根の雨			

2013	6	15 ～ 16	漏り補修工事に従事していた。スレート屋根の雨漏り箇所（約50箇所、穴直径1センチメートル程）を補修材（コーキング剤）で埋める作業を行っていたところ、スレート屋根（厚さ：5mm）を踏み抜き、7メートル下の倉庫内プレハブ事務所上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	11	10 ～ 11	工場屋根上において、太陽光パネルの設置工事のため、ケーブル配線を持って移動していた被災者は、屋根上の一部に設けられた明り取り用のプラスチック製波板箇所を踏み抜き、約8.7m墜落した。尚、被災者は、床面から約3.8メートルの高さまでパレット積みされた飼料上に1度当たってから、床面まで墜落したものと推測される。	30301	1	1～ 9
2013	12	16 ～ 17	木造家屋新築工事現場において、棟上げ中の建屋内部、高さ3.4mの梁の上で、ヘルメットを着用し、安全帯未使用で釘打ち墨出し作業を行っていたところ、梁の上から地上の基礎コンクリート上に転落した。	30202	1	1～ 9
2013	8	13 ～ 14	鉄骨2階建ての民家の解体現場において、高さ約5.8メートルの屋上部分の壁にまたがり、2階の天井の梁部分の鉄骨をガスバーナーで切断していたところ、2階の天井が崩れ落ち、崩れ落ちた天井とともに民家1階部分の瓦礫の上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	10	9 ～ 10	倉庫解体撤去工事現場において、飛散防止用のための養生シートを建物外周の単管足場に取り付ける作業を、被災者は上部、同僚は下部に分かれて行っていた。被災者は、上部のシートを取り付け終了後、スレート屋根上で使用しなかったシートを片付けていたところ、明かり採り用のアクリル製の波板を踏み抜き、約4.3m下のコンクリート土間に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	11	16 ～ 17	納屋屋根葺替工事において、被災者は、高さ5m以上の屋根上で瓦屋根の葺き替え作業を行っていた際、屋根から墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	10	8 ～	アーケード改修工事現場にて、老朽化した屋根を撤去する作業に取りかかるにあたり、設置していた親綱に安全帯を取り付けようとした際、バランスを崩し老朽化した屋根の上に倒れ込み、屋根材であるポリカーボ	30209	1	1～ 9

		9	ネット波板が割れて、約8.2m下に墜落した。			
2013	2	9 ～ 10	工場の屋根上において、雨漏り補修工事で被災者が天窓の取り替え作業中、古い天窓を引き抜こうとしたところ、足元付近の母屋が折れて約20m下の床面へ墜落し、死亡した。尚、災害発生時、被災者は保護帽及び安全帯を着用しており、親綱も設置していたが、安全帯は使用しておらず、防綱も設置していなかった。また、歩み板については一部にのみ設置していた。	30209	1	1～ 9
2013	7	10 ～ 11	高さ約4.2メートルの庇の端に設置されている冷蔵庫の室外機について、冷媒の充填作業を行っていたところ、誤って墜落した。	30302	1	1～ 9
2013	11	13 ～ 14	工場解体工事現場において、スレート屋根上でスレートを外す作業を行っていたところ、グラスファイバー製の明かり取りを踏み抜き、約6メートル下に墜落した。	30209	1	50 ～ 99
2013	10	10 ～ 11	個人宅の塗装工事において、1階屋根（1階床面から約2.6メートル、玄関階段下から約6メートル）で作業をしていた被災者は、屋根から玄関階段まで墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	6	11 ～ 12	被災者（工場長）を含めて数名で、工場外壁と周辺にある草、蔓を除去していた。作業後、被災者は、工場のスレート屋根を踏み抜いて墜落した。尚、被災者が、スレート屋根に上った理由は不明であるが、以前からスレート屋根からは雨漏りが発生していた。また、工場の外側には、移動式のはしごが立て掛けられていた。	11209	1	10 ～ 29
2013	3	7 ～ 8	2階建て個人住宅の屋根瓦の塗装作業のため、外部足場から2階屋根に登ったところ、当該屋根から約2.7メートル下のベランダに墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	7	13 ～ 14	被災者は、木造平屋建て新築工事の屋根工事において、屋根上にて垂木を取付ける作業中、誤って高さ約5メートルの位置からコンクリート製の土間に墜落した。	30202	1	10 ～ 29

2013	1	13 ~ 14	3階建住宅のソーラーパネル設置工事において、カラーベストを葺いた屋根（傾斜25度）の上を、架台への取付金具の入った手提げかばんを持って歩いていた被災者（元請現場責任者）が、自身がコーキング材で修復したカラーベストを踏み、カラーベストがずれて態勢を崩し、ブラケット足場に滑り落ち、そのまま仰向けの状態で地上に墜落した。	30209	1	1~ 9
2013	3	9 ~ 10	2階建て民家の太陽光パネル設置工事現場において、被災者が太陽光パネル取付用の金属製支持瓦を設置するため、ひさし付近の屋根瓦を取り外していたところ、何らかの理由で約6m墜落した。	30302	1	1~ 9
2013	1	11 ~ 12	被災者は、木造平屋建て公民館の新築工事現場において、大工・クレーンオペレーターなど7名と共に、建前を行っていた。柱・桁・梁を組立てた後、幅12cmの梁上で小屋梁を支えるための束を設置していたところ、約3.5m下に墜落し頭を強打した。尚、ヘルメットは着用していたが、安全帯は使用していなかった。	30202	1	1~ 9
2013	6	16 ~ 17	被災者は、勾配32度の屋根面上で屋根葺き作業を行っていた際、雨で濡れた屋根面で足を滑らせ、高さ3.7mの屋根面から高さ3.5mの足場板上に滑り落ち、更にそのまま足場板上から地面に墜落した。	30202	1	1~ 9
2013	6	16 ~ 17	マンション屋上において、被災者は他2名と共に、防水下地シートを取り付けたパラペット部分及び塔屋部分へのL型鋼板を取り付けていた。一通り作業を終え最終確認のため、被災者が、塔屋付近で固定し忘れたL型鋼板をビス（ネジ）止めしていた際、誤って同マンション屋上東側のパラペット部分から、約15m下の敷地駐車場に墜落した。	30209	1	10 ~ 29
2013	5	13 ~ 14	鉄骨造の工場解体工事において、屋根の解体作業を行うため、被災者は母屋のガス溶断作業を行っていた。被災者は、母屋の不切断箇所を発見したため、頂部付近（高さ10.7メートル）に上がって母屋のガス溶断作業中、コンクリート床面に墜落した。	30201	1	1~ 9
2013	12	9 ~ 10	木造2階建建築現場において、大梁と大梁の繋ぎ材の取り付け作業中、高さ約3.2メートルの大梁の上から墜落し、コンクリートの床に頭を強打した。	30202	1	1~ 9

2013	11	14 ～ 15	4階建アパート屋上の防水工事を行っていたところ、被災者が屋上のパラペットを越え12m墜落し、死亡した。尚、屋上には高さ32cmのパラペットがあるだけで、足場、手すり、親綱等はなかった。また、被災者は工具を入れるため安全帯を着用していたが、保護帽は被っていなかった。	30209	1	1～ 9
2013	9	13 ～ 14	被災者は、民家の屋根の塗装作業をしていたところ、屋根の移動中に6メートルの高さから墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	9	14 ～ 15	被災者は、屋根の上での防水工事において、雨漏りする箇所を探していたところ、足下の明かり取り（建物内に日光を取り入れるために屋根に取り付けられた透明な板）を踏み抜き、約5メートルの高さから墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	1	11 ～ 12	被災者は、木造家屋のじょうご取り付け等の作業の際、2階屋根の端（高さ5.5メートル）から隣接する民家の敷地内に墜落した。	30202	1	1～ 9
2013	2	9 ～ 10	被災者は、事務所の増築工事において、2階分の組み上がった鉄骨上にデッキプレートを移動式クレーンを用いて搬入していた。2階屋根部分の鉄骨梁上で交差筋交いを付け外ししていたところ、約8m下の地上まで墜落した。	30201	1	1～ 9
2013	12	16 ～ 17	被災者は、豚舎の壁の隙間をビニールカーテンで貼り付けるため屋根に上り作業中、屋根の端でビニールカーテンの余った部分をカッターを使用してカットしようとしていたところ、高さ2.5mからコンクリート地面に墜落した。	70101	1	1～ 9
2013	3	10 ～ 11	民家の太陽光パネルを4名で屋根に上り設置中、高さ約6mの屋根から墜落した。墜落時の状況を見ている者はおらず、被災者は、墜落位置真上の屋根上でパネルの金具の取り付け作業を行っていた。	30309	1	10 ～ 29
		8	被災者は、網入り塩化ビニル製波板の屋根の取り外し作業を行うため、			1～

2013	10	9	～	屋根の上に上り作業を行おうとしたところ、踏み抜いてしまい、高さ2.7メートルからコンクリート製の床に墜落した。	30202	1		9
2013	12	13	～	14	被災者は、地上約25mの屋上で屋根折板を高圧洗浄機を使用して洗浄作業中、屋根端部から墜落した。屋根端部パラペットは20cm～90cm程の高さしかなく、手すりや親綱などの墜落防止措置はなされていなかった。尚、工事関係者の目撃者はいない。	30209	1	1～ 9
2013	6	11	～	12	木造2階建て一般家屋の解体工事を作業員3名で行っていた。2名が2階の屋根上に上がり、野地板の撤去作業を行っていたところ、1名が約5.8m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2013	10	10	～	11	工場の屋根改修等の工事において、被災者が作業場所に移動中、スレート屋根を踏み抜き、約13m下の配管に激突後、更に3.5m下の倉庫屋根に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	10	11	～	12	被災者は、台風の後で冠水していた図書館の屋上から水を抜きに上った後、同様に図書館玄関の庇にも水が溜まっていたに気づき、庇から約1.5m離れた軒天に2階休憩室の窓から降りた際、足を滑らせ転倒し、高さ3.6mの軒から地上へ転落した。	120109	1	300 ～ 499
2013	8	9	～	10	事業場の屋根を塗装するため、2名でスレート屋根上に上り、ワイヤー付のデッキブラシと箒でスレート上面の汚れ落とし作業をしていたところ、被災者はスレート屋根を踏み抜き、高さ5.3mの位置から鉄板敷きの床面に墜落した。	30309	1	1～ 9
2013	8	14	～	15	事業場（店舗）のひさしの上で、壁面に広告用横断幕（7m）を取り付けるため、後退りしながら同横断幕を広げていたところ、誤ってひさしの端部から足を踏み外し、4m下の地面（アスファルト舗装）に墜落し、頭部を強打する等により死亡した。尚、被災者は安全帯を使用していなかったほか、保護帽を被っていなかった。	80202	1	30 ～ 49
2013	12	9	～	10	堆肥舎の屋根（塩化ビニル製波板）の葺き替え作業中、休憩のため屋根から降りようとした際、歩み板を踏み外したため、当該屋根を踏み抜き、約6mの高さから墜落した。	30209	1	1～ 9

2013	2	13 ～ 14	工場の折板（鋼板）屋根の明りとり窓部の修繕工事現場において、被災者は現場責任者の指示を受けて、材料を取りに行くため折板屋根上を移動し、屋根上の材料荷揚げ箇所まで来た際、1 m（折板2枚分）後ろにあった明りとり窓部から約9.4 m下の工場内床面に墜落した。尚、明り窓の材質はポリカーボネートで、折板とは異なり、人が上がる強度は有していない。	30202	1	1～ 9
2013	2	9 ～ 10	工場屋根の除雪作業において、被災者は高所作業車のかごから屋根の雪庇部に乗り移り雪庇上を歩行中、突然雪庇が崩れ、雪とともに約8.5メートルの高さから墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2013	7	11 ～ 12	2階建住宅の屋根塗装作業現場で、作業員2人により塗装作業を行っていたところ、手塗により塗装作業を行っていた被災者が、誤って高さ6.2メートルの軒先から墜落した。	30202	1	1～ 9
2013	12	16 ～ 17	倉庫一部増築工事現場において、被災者等計5名で現場作業中、被災者は高さ約7.8 mの鉄骨からコンクリート床上に墜落した。被災者が墜落する状況を目撃した者はいない。墜落後、同僚がコンクリート床に倒れていた被災者を発見した。	30201	1	10 ～ 29
2013	7	9 ～ 10	物置（平屋建）新築工事現場において、梁と桁に足を掛けて火打梁を固定する作業に従事していた被災者は、3.3メートル下方のコンクリート基礎まで墜落した。	30202	1	1～ 9
2013	11	9 ～ 10	一般住宅の屋根塗装の下準備として、2階屋根上において屋根についた水滴を拭く作業を行っていた際、高さ5.8 mの屋根の端から地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	6	9 ～ 10	被災者は、工場の屋根の補修工事において、補修部材を持って、厚さ5 mmのスレート波板の屋根の上を補修箇所に向かって移動中、スレート波板を踏み抜き約8.4 m下のコンクリートの床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	10	9 ～	被災者は、スキー場のロッジ（3F建て）の屋根の改修工事において、ルーフィング作業を行っていたところ、屋根の端から1F屋根に墜落し	30209	1	1～ 9

		10	た（高さ約8メートル）。			
2013	10	9 ~ 10	被災者は、個人住宅の屋根改修工事現場において、嵩上げた屋根部にトタン板を取付ける作業に従事していたところ、屋根の端から約7.3m下の地面へ墜落した。目撃者はいないが、被災者は、下屋又は張出し足場へ墜落し、さらに地面（隣の敷地）まで墜落したものと推測される。尚、保護帽、安全帯は着用していた。	30209	1	1~ 9
2013	7	15 ~ 16	被災者は、一般住宅の屋根（傾斜角度45度）の張り替え作業を行っており、屋根上に設置したはしご（木製）を降りていたところ、「雪止めストッパー」1個で屋根に固定していたはしごが、雪止めストッパーとともに屋根から外れたことにより地面に墜落した。尚、被災者は安全帯を使用せず、保護帽も着用していなかった。	30209	1	1~ 9
2013	8	11 ~ 12	被災者は、個人住宅改築工事現場において、アスファルトルーフィング（以下、「ルーフィング」という。）を敷く作業後に屋根上を移動していたところ、ルーフィングによって隠れていた（印はつけられていた）天窓設置予定の開口部（80センチ×80センチ）からルーフィングを突き破って屋内床へ約4メートル墜落した。	30202	1	1~ 9
2013	3	11 ~ 12	被災者は、ガソリンスタンドの給油場所の上に架かっている屋根の上で、雪下ろし作業中、天窓のガラス（幅94cm、長さ1m69cm、厚さ6.8mm）を突き破り、7.5m下の地面に墜落した。	80204	1	10 ~ 29
2012	8	13 ~ 14	平屋建て堆肥2次発酵施設屋根の雨漏りを防ぐための工事中、スレート屋根の上で作業を行っていたところ、スレートを踏み抜き、約6.5mの高さから墜落しコンクリート床に頭部を強打し死亡した。	11709	1	1~ 9
2012	10	11 ~ 12	牛舎のスレート屋根の補修工事を行うため、被災者その他の労働者がスレート屋根の上に乗る、補修方法を話し合っていたところ、被災者がスレート屋根を踏み抜き、約5.6m下のコンクリート床に墜落した。	30201	1	1~ 9
2012	5	14 ~	店舗敷地の隣接地に生えている雑木が建物に干渉するほどに生い茂ったため、被災者がチェーンソーで伐倒したところ、当該伐倒木が建物に寄り掛かって止まった。被災者が建物の屋根に上り、寄り掛かった伐倒木	10901	1	30 ~

		15	を両手で揺すっていたところ、誤って約5mの高さから墜落した。				49
2012	9	10 ～ 11	木造2階建て新築工事において、被災者は2階の梁を取り付ける作業で梁の上を掛矢を持って移動していたところ、バランスを崩し、高さ約4mの梁から墜落した。	30202	1		1～ 9
2012	7	9 ～ 10	工場のスレート葺き屋根上で、歩み板を設ける等の危険防止措置を講じることなく、傷んだスレート板の取替作業を行っていたところ、被災者はスレートを踏み抜いて約5m下のコンクリート床に墜落した。	30209	1		1～ 9
2012	2	16 ～ 17	木造平屋建ての廃工場の解体作業中、被災者が梁上を移動していたところ、約5mの高さから地面へ墜落した。	30209	1		10 ～ 29
2012	1	9 ～ 10	木造3階建て個人住宅新築工事現場において、3階床はり上を移動中、約7m下に墜落し、頭を強打し死亡した。	30202	1		1～ 9
2012	8	10 ～ 11	住宅改修工事において、壁の塗り替え作業の手伝いとして屋根上で壁材等の受け渡しを行っていた被災者は、軒の高さ2.5mの屋根上から墜落した。作業は事業主と2人で行われ、壁を塗る作業をしていた事業主の後方で大きな音がしたため（事業主が）振り返ると、被災者が地面に墜落していた。被災者は材料の受け渡し後、屋根上で待機していたが何らかの原因で墜落した。	30209	1		1～ 9
2012	2	9 ～ 10	焼却場として使用していた既存建物の2階部分を解体撤去する工事において、1階のスレート屋根の上を移動していた被災者は、スレート屋根を踏み抜き、約7mの高さからコンクリートの地面に墜落し死亡した。	30201	1		1～ 9
2012	3	11 ～ 12	民家の外壁塗装工事現場の高さ約3.63mの銅板葺きの軒屋根上で、塗装作業において付着したペンキ等の汚れを取る作業を行っていた被災者は、足場の脚部で外壁にもたれるような姿勢で、この家の住人によって発見され、病院へ救急搬送されたが、延髄損傷で死亡した。	30202	1		1～ 9
			集じんダクト補修作業に、被災者と同僚2名の計3名が従事していた。工				

2012	11	13	場屋根上にある集じんダクトのフランジを外す作業に必要なガムテープとナイロン袋を取りに被災者が一旦地上に下りて、再びスレート屋根に上がり補修現場へ向かおうとしたところ、スレート屋根を踏み抜き、約8m下の工場床面に墜落し、死亡した。	10409	1	1～9
2012	4	14	被災者は倉庫の屋根点検作業中に、高さ約6mの位置から墜落した。	30209	1	1～9
2012	12	14	2階建て木造家屋建築工事現場において、移動式クレーンを使用して2階の外壁材（木材）を搬入中、つり上げていた外壁材が風の影響で揺れ、2階壁部の上枠の上に立っていた被災者がそれを回避しようとしたところ、約2.5m下の2階床面に墜落したものの。	30202	1	1～9
2012	8	8	暑さ対策のため、工場屋根に散水機及びホースを設置するために事務所2階の窓から登って作業をしていたところ、スレート屋根の明り取り部分の波板を踏み抜き、約7m下の工場土間コンクリートに墜落して死亡した。	11301	1	1～9
2012	8	7	工作所の工場のスレート屋根上で、雨漏り補修のため、波鉄板を敷き込む作業中、スレートを踏み抜き高さ約5mから墜落し、死亡した。	30209	1	1～9
2012	10	16	工場解体工事現場において、足場の組立作業を行っていた被災者は、解体予定の工場のスレート屋根上を移動中、明り取りの塩化ビニル波板を踏み抜き、約8mの高さから工場床に墜落した。	30209	1	10～29
2012	11	14	被災者は、住宅のウッドデッキの屋根部分に鋼板を貼付ける作業のため、現場に単独で入場した。午後に応援の労働者が、ウッドデッキ前の地面に頭部から血を流し倒れている被災者を発見した。周囲は血まみれで、はしごが倒れており、ヘルメット、靴、道具が散乱していた。病院へ救急搬送されるも意識不明が続き、死亡した。	30203	1	1～9
		11	倉庫新築工事現場において、被災者は屋根の据え付け工事を行っていたところ、全体の半分くらいまで屋根の据え付けが終了した状況で当該屋			1～

2012	11	～ 12	根の端の細かな補正作業中、約5m下のコンクリート製の床に転落し、死亡した。	30209	1	9
2012	2	～ 9	8 クラブハウス（2階建て）の屋根から、約6m下の駐車場に墜落した。屋根の端部に手すり等はなく、被災者が着用していたのはヘルメットのみであった。	140301	1	1～ 9
2012	1	～ 17	16 雨樋等補修工事において、片付け作業をしていた被災者は、スレート屋根を踏み抜き、墜落死した。	30209	1	1～ 9
2012	4	～ 9	8 テント倉庫の屋根修繕工事現場において、被災者がテントシート上で作業していたところ、誤ってシートを踏み抜き、約5m下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2012	4	～ 12	11 工場屋根葺替え工事に伴うルーフファン取替え工事において、スレート葺屋根上で資材作業をしていた被災者は、スレート屋根を踏み抜き、約6m下のコンクリート床に墜落し、全身打撲で死亡した。	30302	1	1～ 9
2012	5	～ 11	10 鋼板葺き工場屋根上に太陽電池パネル（モジュール）を設置する工事において、屋根上に荷揚げしたモジュールを二人一組で運搬作業中、被災者は、誤って屋根上のアクリル製明り取り窓に乗ったため、明り取り窓が同人の体重により破損して約7m下の工場床に墜落し、全身打撲により死亡した。	30302	1	30 ～ 49
2012	5	～ 12	11 営業所の建屋の折板屋根上において、屋根の塗装作業前の高圧水洗浄作業に従事していた被災者は、樹脂製の明り取りの天窓を踏み抜き、約10m下の倉庫内アスファルト床面に墜落し、死亡した。	30309	1	1～ 9
2012	5	～ 12	11 スレート葺き屋根の修繕工事において、被災者は屋根上に登り雨漏りをする箇所の補修を行っていたところ、スレート屋根を踏み抜いて約8m下の床面に落下した。	30209	1	10 ～ 29
			被災者は2階屋根上に設置されているテレビアンテナのブースター交換作業を開始した。その約30分後、道路に倒れ頭から出血した被災者が通			

2012	1	16	行人により発見された。被災者の近くには、交換後のブースター器、1 階屋根上から2階屋根上に昇降するためのアルミ製のはしご等が落ちて いた。なお、屋根の端からの墜落防止措置（安全帽、安全带等）はな かった。また、当該はしごを固定していた番線が2階屋根上の樋に残っ ていた。	80209	1	1 ～ 9
2012	6	10 ～ 11	被災者は解体工事現場で屋根のスレートをはがす作業中、スレートをは がした後、その下地の木工板にのってしまいこれを踏み抜き、約5mの 高さから建屋外側のコンクリート土間に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2012	7	8 ～ 9	台風により損傷を受けた工場屋根の修繕工事において、取り替えた屋根 部材を固定するボルトを本締めする作業を予定していた。被災者並びに 同僚の2名で作業を開始したが、その直後に被災者が明り取りとして設 置されていたFRP板を踏み抜き、高さ約13mから工場建屋内のコンク リート面へ落下した。なお、親綱は設置、安全带の装着はあったが、使 用されていなかった。	30209	1	10 ～ 29
2012	6	15 ～ 16	倉庫の棟部に設けられた排煙用の開口部の木製ガラリ（羽板）を取り除 き、FRP製の波板を取り付ける鉄骨の下地を既存の鉄骨に溶接するた め、被災者は当該倉庫のスレート葺き屋根に上って作業していたとこ ろ、スレートを踏み抜き、約7m下へ墜落した。	30201	1	1 ～ 9
2012	2	15 ～ 16	住宅2階屋根において作業員複数名で屋根の雪下ろし作業中、被災者は スノーダンプを使用して軒先部分の除雪をしていた際、スノーダンプも ろとも約8m下の歩道上に墜落した。	30202	1	1 ～ 9
2012	4	15 ～ 16	被災者は共同住宅新築工事現場にて屋根部の施工作业中、屋根で足を滑 らせて高さ約8mから墜落し、全身を強打した。	30209	1	10 ～ 29
2012	4	11 ～ 12	被災者はスレート屋根の葺替え作業中、採光のために屋根に設けられた 高さ約10mの強化プラスチック部から墜落した。	30201	1	1 ～ 9
		14	被災者は上棟式準備作業中に、高さ約4mの梁から墜落した。 ネットな			

2012	11	～	15	どの墜落防止措置は施されておらず、被災者はヘルメット、安全帯を着用していなかった。	30202	1	1～ 9
2012	11	～	16 17	車寄せの屋根に取り付けられたトップライト（格子状にガラスがはめられた明かり取り）のガラスを交換した箇所に、ガラスの枠（幅約6cm）に沿って雨漏り防止のためのコーキング（目地を埋める）を施した。その後、マスキングテープをはがすために被災者がガラスの枠上に登った際、誤ってガラス上に乗ったことによりガラスが割れ、高さ約6m下の地面に墜落した。	30309	1	1～ 9
2012	7	～	11 12	被災者は、工場屋根のスレートを交換中、スレートを踏みぬき、高さ約7mからコンクリートの床に墜落し、死亡した。なお、歩み板等は設けていなかった。	30201	1	10 ～ 29
2012	5	～	11 12	テント倉庫（最頂部の高さは約8m）のテントの張り替え作業を行っていた被災者は、足をかけていた梁もしくは骨組の上から墜落した。なお、保護帽、安全帯は装着していた。	30209	1	1～ 9
2012	6	～	9 10	体育センターの管理運営業務の委託を受けたJVを構成する事業場の所属労働者が、複数名で体育館の照明器具の取り換え作業を行っていたところ、うち1名が作業を行うために乗っていた鉄骨製の梁上からバランスを崩し、天井として張られてた防音板を突き抜け、高さ約20mの体育館床上に落下し死亡した。	150101	1	300 ～
2012	10	～	9 10	被災者は木造建築の2階（高さ約3m）での棟上げ作業中、梁上より落下した。	30202	1	1～ 9
2012	11	～	10 11	屋根塗装工事において、ローラーを使って1階トタン屋根の塗装作業を行っていたところ、何らかの原因で高さ約3mの屋根から隣家の駐車場（アスファルト舗装）に転落し、脳挫傷により死亡した。なお、本件住宅の周囲及び屋根上に足場、手すり、親綱等は設けられておらず、被災者は保護帽、安全帯を着用していなかった。	30202	1	1～ 9

2012	5	9 ～ 10	被災者は鉄骨造の建屋の解体作業において、トタン製の屋根部分の上に乗って、自分の乗っているトタン屋根をサンダーで切断していた。トタン屋根の切断を終えた際、トタン屋根が梁を支点に天秤のように傾き、高さ約10mの屋根から墜落した。	30309	1	1～ 9
2012	7	8 ～ 9	木造家屋屋根瓦補修工事のため、被災者がバケツを持ち屋根に登ったところ、バランスを崩して屋根（高さ約4m）から墜落した。	30202	1	1～ 9
2012	10	16 ～ 17	被災者は鶏舎の屋根上で屋根の修理を行っている際、プラスチック製の波板を踏み抜き、約3mの高さから墜落し、コンクリートの床に頭部を強打し死亡した。	70101	1	1～ 9
2012	2	10 ～ 11	木造納屋新築工事において、被災者は高さ約6mの位置にある雲筋交いの取付作業を行っていたところ、墜落して地上に激突した。	30202	1	1～ 9
2012	3	15 ～ 16	木造平屋の屋根葺き替え工事において、既存の瓦を撤去し、野地板にアスファルトルーフィングを敷いている作業中に屋根の端から約4m下の道路に墜落した。なお、足場等の墜落防止措置はなく、災害発生日は強風警報が発令されていた。	30202	1	1～ 9
2012	11	11 ～ 12	木造家屋新築工事現場において、建て方作業中に高さ約4mの梁から墜落した。	30202	1	1～ 9
2012	12	9 ～ 10	倉庫の屋根補修作業において、屋根の葺替えを行うため、複数の労働者で損傷部分を仮固定していた防水材をはがす作業を行っていたところ、そのうち1人が高さ約5mの軒先から墜落した。	30202	1	1～ 9
2012	2	7 ～ 8	被災者は同僚と自社倉庫がある敷地内で地主所有の倉庫（D型ハウス）の除雪作業を行っていた。ハシゴを使用し、倉庫の屋根に上がり、約20cm積もった雪の除雪作業を行っていた時、屋根の一部に透明の塩化ビニル波板を張った天窓を踏み抜き、約5m下の倉庫内に墜落。頭等、全身を強く地面に打ちつけ、死亡した。なお、保護具は着用していなかつ	40301	1	10 ～ 29

			た。			
2012	2	11 ～ 12	農作物保管倉庫の屋根の上にて、被災者を含め複数で除雪作業を行っていたところ、突然屋根に積もっていた雪が滑り落ち、その雪とともに屋根の上で作業を行っていた被災者が墜落し、雪に埋もれた。なお、被災者は安全帯等の墜落防止措置を行っていなかった。	170209	1	100 ～ 299
2012	2	8 ～ 9	学校敷地内にあるトレーニングセンター（2階建）の屋根に積もった雪の除雪業務を行うため、被災者が1階の窓をコンパネで覆う作業中、屋根からの落雪が発生し、被災者が落下した雪に埋まった。	30199	4	10 ～ 29
2012	5	13 ～ 14	被災者は梁の上で梁と母屋を固定している釘抜き作業をしていたところ、バランスを崩して高さ約5mから墜落し死亡した。なお、被災者は保護帽、安全帯は着用していなかった。	11301	1	1～ 9
2012	5	15 ～ 16	個人住宅の新築工事において、被災者は2階部分の仮筋交いの取付け準備のため、道具を取りに2階の梁の上を歩行中、梁に渡されたコンパネで作った型枠材に乗ったところ、同コンパネの一部が抜け落ち、約4m下の土間コンクリートに墜落し、後頭部を強打し死亡した。	30202	1	1～ 9
2012	9	15 ～ 16	被災者は個人住宅の屋根改修工事現場において、屋根からはみ出ている野地板の切断作業を開始し、はみ出ている野地板に上がったところ、野地板が折れ、約10m下の地面に墜落した。なお、被災者は、ヘルメットを被っていたが、安全帯は未着用であった。	30203	1	1～ 9
2012	10	10 ～ 11	被災者は屋上において、防水設備工事の施工管理の一環として写真撮影をしていたところ、作業床の端（パラペット）を越えて地上に墜落した。なお、地上からパラペットの上端まで約30m。パラペットは、高さ50cm×幅20cmであった。また、被災者は保護帽を着用し、安全帯は着用していたが使用していなかった。	30209	1	1～ 9
2011	11	15 ～	被災者は、建設現場ヤード敷地内に設置されたプレハブ造の平屋建て仮設事務所の屋根に上って点検作業を行っていた際、何らかの理由により高さ約3メートル下の地面に転落し被災した。被災後、被災者は、	30109	1	10 ～

		16	救急車にて病院に搬送されたが、3日後の11月12日に頸椎骨折のため死亡したものの。			29
2011	1	9 ～ 10	施設新築工事（鉄骨平屋建）現場において、屋根の造作工事のため、建屋の屋根上で屋根材である波板鋼板の取付け作業を行っていた1次下請の労働者が、強風により飛ばされた波板鋼板の影響で9.5メートル下のコンクリート構造物に墜落、胸部大動脈破裂により同日死亡したものの。	30209	1	10 ～ 29
2011	6	17 ～ 18	バイク展示場（平屋）の屋根（テント生地）の補修を行う為、屋根上に登ったところ、テント生地が破れ4.15m下のコンクリート床に墜落し被災した。被災者は、翌7日に死亡。	80209	1	1～ 9
2011	6	14 ～ 15	地上デジタル対応テレビ及びアンテナの設置工事のため、被災者及び設置業者が2階にある事務室の窓から車庫のスレート屋根に出て、さらに事務所の屋上に上がってアンテナの設置作業を行っていた。設置業者が事務所内にあるテレビの映り具合を確認していたとき、被災者が車庫のスレート屋根の一部である厚さ1.75mmのプラスチック材（明かり窓）を踏み抜き、約5.5メートルの高さからコンクリート床に墜落した。	40201	1	30 ～ 49
2011	6	9 ～ 10	鳥獣対策機器メーカーの営業マンである被災者が、糞害による鳩の駆除対策工事の見積り作業中、当該施工場所である運送会社の倉庫の屋根を歩行中、採光用樹脂製の板を踏抜き、約9.5メートル転落し死亡した。当該倉庫は鉄骨平屋で屋根、壁共にスレート製である。	80409	1	1～ 9
2011	11	10 ～ 11	建屋のスレート屋根の修理中に、被災者がスレート屋根を踏み抜いて約1.5m下の鉄板上に墜落した。搬送先の病院にて死亡となった。	30209	1	1～ 9
2011	10	11 ～	工場の屋根上に穴の開いた壁の改修作業に使用する丸太足場を組立てる作業を4名で行っていた。この丸太足場の昇降設備（タラップ）を取り付ける作業をしている時、被災者が屋根上（勾配15.8度）に置いていたタラップが滑り出したので、親綱から安全帯を外して追いかけた	30201	1	1～ 9

		12	が、止まることが出来ず、高さ12.2mの当屋根の端からアスファルト地面に墜落した。			
2011	11	14 ～ 15	2階ベランダ手すり下の外壁の塗装作業中、ベランダ手すりの外側から、ベランダの鉄骨梁のフランジ部分（高さ約2m40cm、幅5.5cm）にのり、ベランダ手すりの格子（65cm×2cm×1.5cm）を片手でつかんで、手を伸ばして作業を行っていたところ、つかまっていた格子が外れて墜落したものと推定される。	30209	1	1～ 9
2011	7	9 ～ 10	被災者は、高さ6.27mの住宅の屋根の上で、太陽光発電パネルに取り付ける銘板を取り付ける作業中墜落した。	30302	1	1～ 9
2011	6	14 ～ 15	木造2階建住宅増改築工事において、被災者が1階屋根の改修を行うために、垂木を設置した後、軒先から野地板（長さ：3m10cm、幅：11.6cm、厚さ：1.6cm）を設置しようとしたところ、高さが3m33cmある垂木の軒先から道路上に墜落したものの。	30202	1	1～ 9
2011	10	11 ～ 12	鉄骨、スレート屋根の駐車場を解体するため、手ばらしでスレート屋根の解体を行っていた。被災者は地上で片付け等の雑作業を行う作業員であったが、休憩時間中に屋根の上に登っていたので、地上で休憩していた職長が降りるように指示をした後、スレートを踏み抜き約4.5m下に墜落したものの。スレートに歩み板はなく、3本親綱が張られているのみで、被災者は安全帯を所持していなかった。屋根の鉄骨梁の幅12.5cm。	30201	1	1～ 9
2011	3	11 ～ 12	鉄骨平屋建て貸し工場の解体工事現場で、スレート屋根を解体作業中に当該スレートを踏み抜き、約4メートル下の地面に墜落したものの。	30309	1	10 ～ 29
2011	6	13 ～ 14	既設建物解体工事において、スレート屋根取り外し作業の指示を受けていない被災者が、安全帯を着用・使用せずスレート屋根取り外しのためスレート屋根上に上ったところ、スレート屋根を踏み抜き、約8m下の	30209	1	1～ 9

			地面まで墜落したもの。			
2011	9	13 ~ 14	同僚作業員1名とS造テント製倉庫の屋根に上がり、破損している開閉テントのワイヤークリップを交換する補修工事を行っていた被災者が、作業中に誤って鉄骨梁と屋根テントの継ぎ目から約6m下の倉庫内に墜落。頸椎を損傷し、一ヶ月後の10月3日に死亡した。軽量鉄骨の軸組躯体にシート貼りした構造のテントの屋根上作業であるが、奥まった作業箇所のため高所作業車等も寄り付けず、また、安全な作業床も設けられていなかった。	30309	1	1~ 9
2011	9	12 ~ 13	工場の屋根の修理のために屋根に登っていた被災者が、スレートを踏み抜いて4.7メートルの高さから工場のコンクリート床に転落した。	10502	1	10 ~ 29
2011	11	11 ~ 12	屋根瓦滑落防止工事現場において、屋根上で瓦滑落防止のためのネットを取付中、約5m下の地上へ墜落したもの。	30309	1	1~ 9
2011	11	11 ~ 12	貸し倉庫上部屋根のスレート部に鋼製の波板を貼り付ける工事中、約3m先行で貼り付けた後、2束の波板(約1枚40kg)20枚(約800kg)を移動式クレーンで吊り上げ、屋根に仮置きし、3束目の波板を降ろされるのを待っていたところ、強風のため積み重ねていた波板の1枚が跳ね上がりそれと共に約8m下へ墜落したもの。	30209	1	10 ~ 29
2011	6	10 ~ 11	飲食店店舗の改装工事における災害。被災者は、電気配線工事を請け負う1次下請事業場所属の労働者として入場していた。床面から3m57cmの高さにある梁の上に乗る、スピーカーに係る電気配線を接続する作業を行っていたところ、梁上から墜落し、頭部を打ち、死亡したものの。	30202	1	1~ 9
2011	9	8 ~ 9	上記発生場所に所在する建設会社事務所屋外階段に設置されている屋根(塩化ビニール製)の張り替え作業を行うにあたり、老朽化した屋根を取り外す作業を行っていたところ、屋根を踏み抜き、約3メートル下のコンクリート製の階段部分へ墜落したもの。なお、当該作業は1人作業	30209	1	1~ 9

			であったため、災害概要は推定である。			
2011	12	9 ～ 10	既設2階建木造家屋の外壁塗装（塗り替え）作業終了後の清掃作業をすべて終え、駐車場に止めてあった車に乗り込もうとした被災者が、1階の屋根上に軍手を置き忘れたことに気づき、当該屋根上まで戻ったところ、足を滑らせて屋根の端から墜落したものの。	30209	1	1～ 9
2011	4	14 ～ 15	工場のスレート葺き屋根上にある7台のルーフファンのモーターの交換作業において、3台目のルーフファンのモーター交換作業が終了し、当該ルーフファンのカバーを閉じるため被災者を含め5名で作業にあたり、同作業が終了したため被災者は移動しようとしたところ、アルミ製足場板を敷いていない箇所のスレートを踏み抜き8m下の工場内の床面に墜落したものの。	30309	1	30 ～ 49
2011	6	8 ～ 9	被災者は、天窓の位置決めをするために1階建屋の屋根上のもやの上を移動していた。野地板が張ってある箇所に足を置いたところ、2階の大屋根の垂木に頭を激突し、その反動で後方にたおれ、開口部から4.5メートル下のコンクリート基礎に墜落したものの。被災者は、現場監督であり、木建作業主任者の資格を有していた。	30202	1	1～ 9
2011	10	10 ～ 11	住宅減改築工事現場で、被災者が8時30分から1階の玄関前で解体作業の準備等を始め、9時から10時までの間、施主の兄と二人で同作業を行っていた。施主の兄が10時に一旦現場を離れた後、被災者は一人で作業を続け、施主の兄が11時頃に同現場に戻ってきた際、被災者が躯体東側の通路で血を流して倒れているのを発見した。その後、被災者は平成23年10月13日（木）に死亡した。	30202	1	10 ～ 29
2011	12	13 ～ 14	平屋の工場（鉄骨造）の解体工事現場において、被災者は屋根の上で屋根材（スレート及び明かり取り用のFRP製の屋根材）を固定しているフックとナットを取り外す作業を行っていたところ、明かり取り用のFRP製の屋根材を踏み抜き、高さ約10m下のコンクリート床面に墜落し、頭部を強打して死亡したものの。当該作業を行うにあたり、歩み板、防網などの踏み抜きによる墜落防止措置は一切講じられていなかった。	30209	1	10 ～ 29

2011	1	9 ～ 10	同僚と二人でスノーダンプを使用し工場屋根の雪下ろし作業を行っていた。被災者が、軒先にある雪を下ろしたと同時にスノーダンプが落下し、その後被災者も4. 0 1 5 m下のコンクリート面に墜落した。雪下ろし作業は前日から引き続き二人で実施していたもので安全帯の着用はなく、墜落用保護帽の着用はあったが顔面から墜落し被災した。	11009	1	10 ～ 29
2011	11	15 ～ 16	工場屋根の瓦葺き替え作業中、約6. 3 m下のコンクリート上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2011	1	14 ～ 15	木造2階建家屋屋根塗替工事において、被災者が軒先高さ5. 8 8メートルのトタン屋根上で塗装作業を行っていたところ、公道のアスファルト上に墜落した。被災者は緊急搬送され治療を受けていたが、平成23年2月5日午後7時30分ごろ急性硬膜外血腫及びクモ膜下血腫により死亡したものの。	30209	1	30 ～ 49
2011	5	9 ～ 10	木造2階建て新築工事現場の建方作業中、2階梁上にてかがんで金具の締め付け作業を行っていたところ、1階の基礎スラブ（コンクリート床）へ墜落（高さ3. 4 3 m）し、頭部および胸部を強打し負傷したものの。救急車で小田原市立病院へ搬送し入院したが、2日後死亡したものの。	30202	1	1～ 9
2011	7	17 ～ 18	木造2階建住宅の解体工事を行っていた。被災者は1階屋根上（高さ3. 7 5 m）に乗り、防水シートを下に投げ降ろしていた。その作業中、バランスを崩し、地面（コンクリート）上に墜落した。被災者は、安全帯、安全帽を使用していなかった。	30202	1	1～ 9
2011	7	11 ～ 12	屋根上で足場の部材を人力で運搬していたところ、屋根上にある天窓を踏み抜き高さ約1 1 mを墜落した。	30201	1	1～ 9
2011	4	15 ～	鉄骨平屋建て倉庫の解体作業中、屋根上でスレート板を外す作業をしていた鳶工がスレートを踏み抜き、母屋の間（7 5センチメートル間隔）から約5. 2メートル下のコンクリート床の上に置かれたトタン板上に	30209	1	100 ～

		16	墜落した。			299
2011	5	8 ～ 9	2階建ての民家の外装塗装工事において、被災者が2階屋根の雨樋を塗装する業務を1階屋根の上（約4メートル）で行っていたところ、何らかの理由で足を滑らせ滑り落ち、そのまま門扉から玄関に通じるコンクリート舗装された階段上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2011	10	13 ～ 14	台風15号により屋根の損傷が生じ、その復旧工事作業中の災害。損傷した屋根材を撤去し、撤去後の梁上での作業中に墜落。地上から梁上までの高さは約5.5m。	30201	1	1～ 9
2011	2	10 ～ 11	倉庫スレート屋根塗装工事において、被災者が休憩のために作業場所から昇降設備（はしご）まで屋根上を移動中、スレート屋根を踏み抜き、約7メートル下の地面まで墜落したものの。	30201	1	1～ 9
2011	4	9 ～ 10	資材置場のテント製倉庫の屋根に穴があいていたため、被災者が単独で修理を行おうとテント製の屋根（高さ3.66メートル）の上に上がったところ、屋根を破って床（コンクリート製）に落ち、災害発生日の翌日に死亡したものの。	40301	1	10 ～ 29
2011	2	11 ～ 12	倉庫改修工事において、スレート屋根の撤去作業中、作業床として使用していたアルミ製道板（幅：25cm・長さ：2m）を盛り替えようとしたところ、誤ってスレート屋根に足を着いたため、踏み抜き、高さ3.92mからコンクリート床に墜落し、直ちに病院に搬送されたが、平成23年2月26日午後0時52分に死亡した。	30201	1	1～ 9
2011	9	18 ～ 19	被災者は3階建てフェノール樹脂製造棟の屋根にある天窗（たて1m×横1m）のガラス（厚さ10mm）を踏み抜き、約10m下の3階床に墜落し、脳挫傷により、9月23日14時20分に収容先の病院で死亡した。	10801	1	100 ～ 299
2011	5	13 ～ 14	被災者は、鉄骨造の建築物のはりの塗装作業中に、はりの上から墜落（高さ約7m／目撃者なし）したものと推定され、死亡したものの。	30209	1	1～ 9

2011	5	10 ～ 11	被災者は、工場の屋根の樋の清掃作業中に、屋根のスレート板及びガラ ス板を踏み抜き、約14m下のコンクリート床面に墜落し死亡したも の。	11204	1	50 ～ 99
2011	9	8 ～ 9	平屋民家のテラスのビニル製波板屋根の張り替えの為、被災者は屋根上 で古い波板を取り外していたところ、波板を踏み抜いて2.51m下の コンクリート土間に墜落し、頭部を強打したものの。その後、病院に搬送 されICUで経過を観察していたものの、10月3日午前7時47分に 脳挫傷、外傷性くも膜下出血により死亡した。	30209	1	1～ 9
2011	10	13 ～ 14	東日本大震災により損傷した瓦にブルーシートをかけて養生してあった が、直前に降った雨などの影響でブルーシートの一部が外れてしまっ た。このためブルーシート養生の手直しを依頼され、被災者一人で現場 へ出張、屋根に登って作業を行っていたところ、足を滑らせ高さ3.9 m下の地面に落下、頭部等を強打し翌日死亡したものの。なお、当現場は 11月に屋根の修繕工事も当該事業場が行う予定であった。	30209	1	1～ 9
2011	4	13 ～ 14	木造2階建て民家兼店舗の屋根瓦撤去工事において、瓦撤去後、被災者 を含む3名がブルーシートで屋根を覆う作業を行っていたところ、高さ 約6メートルの屋根端部から被災者は墜落した。外部足場の設置、屋根 端部の手すりの設置や、墜落時の作業場所で安全帯を使用するための親 綱の設置等墜落防止措置が為されていなかった。また、被災者はヘル メットを着用していなかった。	30209	1	1～ 9
2011	11	8 ～ 9	酒の仕込蔵の屋根修繕工事（震災復旧工事）において、屋根瓦及び屋根 瓦下の土葺（20センチメートルから30センチメートルの土の層）の 撤去作業を行っていたところ、土葺下の杉皮及び野地板を踏み抜き、約 6.7メートル下の地面に落下し、出血性ショックにより死亡したも の。	30209	9	1～ 9
2011	12	15 ～	木造住宅新築工事現場において、被災者は1階の梁の上（高さ4.3 メートル）で、すみ木の取り付け作業を行っていた。15時50分頃に 材木が落ちる音がしたので同僚が見に行ったところ、被災者が右側頭部	30202	1	1～ 9

		16	から血を流しながら、1階の床に倒れていた。			
2011	2	15 ～ 16	本件は、発電所の屋外に設置されたテルハクレーンに付属するクラブハウスの屋根の雨漏りを修繕する工事における災害である。被災者が、そのクラブハウスの屋根上で、単管パイプとクランプによって工事のための仮設の雪除けを作っている途中、屋根から約16m下の川に墜落した。	30202	1	300 ～
2011	3	11 ～ 12	震災で破損した瓦屋根の修復作業中、屋根の軒先から約4メートル下に墜落したもの。頸椎損傷・意識不明の状態 で病院に搬送され、治療を受けていたが、3日後に死亡したもの。	30202	1	300 ～
2011	5	13 ～ 14	2階屋根上で、震災で破損した隅棟部にシートを掛ける作業中、強風にあおられてシートと共に約6.6m下のコンクリート床に転落した。	30203	1	1～ 9
2011	11	8 ～ 9	木造家屋建築で軸組作業中、梁の上を移動していて足を滑らせ約4mの高さから墜落し、床組材（大引き）に腹部を強打して入院加療中であったが、容体が急変し45日後に死亡したもの。現場には親綱が設置され、被災者は安全帯を携帯していたものの、これを親綱に取り付けていなかったもの。	30202	1	1～ 9
2011	8	10 ～ 11	災害発生日、被災者を含めた2名の作業員で一般住宅の屋根にアンテナの取り付け作業を行っていた。同僚の作業員が古いアンテナを取り外して、被災者がそのアンテナを屋根の上から地面に投げようとしたところ、アンテナのベースの一部が被災者の胸ポケットに引っ掛かっており、アンテナを投げたときに胸ポケットが破れ、その勢いで体勢を崩して4.18メートル下の地面に墜落した。その後、療養していたが8月26日に死亡した。	80209	1	1～ 9
2011	1	10 ～ 11	3階建ての建物屋上で雨量計の点検作業中、点検のために取り外した雨量計の外筒が突風で飛ばされたため、その外筒を慌てて取ろうとしたところ、屋上の端から転落したもの。（高さ約10m）	170209	1	10 ～ 29

2011	10	14 ～ 15	屋根瓦の葺き替え工事において、被災者が屋根上で瓦を配置していたところ、屋根の端で、足を踏み外し、4m22cm下方のアスファルト床面に墜落、同日、死亡したものの。	30202	1	1～ 9
2011	2	10 ～ 11	被災者は同僚6名と新築鶏舎（平屋建）内にてブロイラー用給餌設備などの設置作業に従事。午前11時頃、一瞬にして屋根が鶏舎東側から崩壊し始め鶏舎中央付近で大きく倒壊し、被災者は救出後脳死状態で病院に搬送されたが翌日死亡した。	30302	5	1～ 9
2011	2	11 ～ 12	工場のシャッター上部にある屋根部分（高さ約7m）の除雪作業中、工場建屋の屋根から落雪の危険があり、安全帯を外し梯子を使用して地上に降りようとしたところ、落雪に押されて地上へ墜落したものの。	30209	1	10 ～ 29
2011	10	8 ～ 9	4階建ての一般共同住宅の屋上防水改修工事現場において、被災者が屋上南東側端部で、仕上げ用防水シートを屋上面に貼り付ける前作業として、屋上面に残っていた雨水を雑巾で拭いていたところ、誤って10.5m下に墜落したものである。	30209	1	30 ～ 49
2010	12	8 ～ 9	工場建屋の屋根補修工事現場において、被災者は屋根上に足場板が設置されていたにもかかわらず、スレート板の部分に乗って棟の部分に留めてあったビスを手で抜こうとした際に、スレート板が割れ、約5m下の工場建屋内の床に墜落した。墜落直後及び病院への搬送後も被災者の意識はあったが、災害発生日から3日後に容体が急変し死亡した。	30209	1	1～ 9
2010	12	14 ～ 15	新築工事に伴う既存の鉄骨平屋建て倉庫の解体作業において、屋根に親綱ロープの取り付け作業中、当該屋根の波板スレートを踏み抜き、高さ約5.6mから倉庫内コンクリート床面に墜落した。歩み板等を設けていなかった。	30201	1	10 ～ 29
2010	11	15 ～ 16	倉庫の増築工事現場において、鉄骨建方中に被災者が梁の上に乗る、取り付けた振れ止め（小梁）の寸法が合わなかったことからハンマーで叩いて取り外していたところ、振れ止めが外れた拍子にバランスを崩し、振れ止めと一緒に約6.6mの地上に膝から墜落し、死亡したものの。被災者は安全帯は着用していたが、使用はしていなかった。親綱の持ち込	30201	1	1～ 9

			みを待たずに作業を始めていたもの。			
2010	11	13 ~ 14	木造2階建て新築工事現場で、2階の内壁材（耐火材）貼り作業のため、2階へ上がり貼付け準備を行っていた。2階床の根太材（長さ1.75m、幅4.5cm、高さ6cm）に足を乗せたところ、根太が割れて踏み抜き、高さ3.57mから墜落し、1階のコンクリート土間に激突して頭部を打ち、10日後に死亡した。	30202	9	1~ 9
2010	11	16 ~ 17	山門の新築工事現場において、屋根上で釘打ち機を使用して、野地板取り付け作業を行っていたところ、3.5m下へ墜落し、2日後に死亡したもの。	30202	1	1~ 9
2010	11	16 ~ 17	民家（木造2階建）の解体現場において、屋根の瓦を取り除き、その後、屋根（軒先高さ6.9m）から防音シートを張っている単管の壁つなぎと水平材をつたって、2階の部屋（窓枠下部までの高さ、地上から4.7m）へ降りようとした時、下にあるコンクリート溝部分に墜落し、頭を強打し死亡したもの。墜落防止用ロリップ、安全带、保護帽有り。靴は運動靴。	30209	1	10 ~ 29
2010	11	13 ~ 14	被災者は、工場屋根の雨漏り修理のため、工場の屋根を歩行していたところ、スレート屋根を踏み抜き、高さ約9m下のコンクリート土間に墜落し、死亡した。道板等の防護措置はなかった。	30203	9	1~ 9
2010	10	10 ~ 11	工場の波板トタン屋根をふき替える作業中、屋根上で作業していた労働者が明かり取り部に設けられていたFRP波板を踏み抜き、約10m下のコンクリート床に墜落したもの。救急搬送された病院で死亡した。歩み板等を設置していなかった。	30203	1	1~ 9
2010	10	11 ~ 12	作業員5名で一般家屋の瓦葺き替え作業中、雨が降ってきたことから、屋根（勾配約30度）にビニールシートを張る作業をしていたところ、足を滑らせて、屋根上を滑り落ち、高さ約4.2mの屋根軒先から地上に墜落したもの。足場や手すり、親綱等の設備がなかった。	30202	1	1~ 9
		8	被災者を含む2名で屋根の仕上げ塗装の準備を行うこととなり、被災者は屋根にはしごを掛けて昇り、屋根の塗装面についての朝露等をウエスで			1~

2010	10	9	～	ふき取り作業を行っていたところ、軒高6.7mの箇所よりコンクリート地面に墜落した。安全帯などの防護措置が取られていなかった。	30202	1	9
2010	10	11	～	個人住宅の新築工事において、棟上げ後に4名の大工で2階の床板を貼っていたところ、次に貼る床板とともに約3.1m下のコンクリート土間に墜落した。事故後から意識不明であり、9日後に死亡した。なお、他の3名は各々2階で床板貼りをしており、墜落時の状況を目撃していない。	30202	1	1～9
2010	10	11	～	屋根葺き替え作業工事現場においてトタン屋根葺き替え作業中、屋根上（地上から高さ2.7m）を移動している時に深さ1.8mの用水へ転落した。	30202	1	1～9
2010	9	11	～	戸建て住宅新築工事現場において、被災者が建屋2階桁上で建材の仕分け作業をしていたところバランスを崩し、1階の土間に墜落したものの。作業床を設置せず、かつ、防網や安全帯を使用していなかった。	30202	1	1～9
2010	9	13	～	当該事業場の倉庫の屋根上の物置場の片付け作業中、被災者が屋根上の泥、雨水をスコップでかき落としていたところ、同屋根上で他の者が運転するフォークリフトが木材を運搬しようとフォークですくい上げようとした時、被災者が乗っていた屋根材の鉄板の端をフォークの先が押し、強固に固定されていなかった鉄板がずれて梁から外れ、倉庫内へ被災者とともに落下した。その際、倉庫内の棚が倒れ、被災者は、鉄板と棚の下敷きになった。	30209	1	1～9
2010	9	14	～	被災者は、鉄骨造平屋建の工場棟の解体工事現場において、作業員数5名（被災者含む）がスレート屋根の上で作業中、被災者（安全帯未着用、保護帽着用）がスレート及び木毛板の撤去作業を行っていたところ、屋根の母屋の間から約5.2m下のコンクリート床に墜落したものの。墜落防止措置を講じていなかった	30209	1	10～29
		8		木造家屋新築（一部2階建）工事現場で、被災者が玄関上部の梁間に床補強の為のたる木（幅4.5cm、高さ6cm、長さ1.29m）を取			1～

2010	9	9	～	付けるため、1階梁上で作業していたところ、3.18m下のコンクリート床に転落した。防網の設置や安全帯を使用等の措置を講じていなかった。	30202	1		9
2010	9	8	～	9	被災者は住宅解体工事現場において、屋根に屋根ブロック（親綱を張り、安全帯をかける設備）を取り付けるために、屋根瓦及び屋根瓦の下のベニア板を外し、当該ベニア板を持って屋根上に立っていたときにベニア板が被災者の側に倒れてきた。このため、被災者はその反動で屋根から約5.3m下の地上に墜落した。墜落防止措置を講じていなかった。	30209	1	1～ 9
2010	8	10	～	11	工場のスレート屋根に設置されていた換気用ファン用のモーター取替作業を行っていた被災者が、地上から7.8m上のスレート屋根を踏み抜き、地上に墜落したため、死亡した。歩み板や防網等の危険防止措置が講じられていなかった。	11209	1	30 ～ 49
2010	8	14	～	15	ビル解体工事（事務所棟）において、9階の梁付近にて作業または移動していたと思われる被災者が、何らかの原因で37.1m下の地上まで墜落した。目撃者はいない。	30209	1	10 ～ 29
2010	8	10	～	11	工場の屋根の棟部に設置してあった避雷針の撤去作業を2人で行っていたが、一旦休憩を取った後、作業を再開するため、先に1人で屋根に上がった被災者が、当該屋根の棟部のスレートを踏み抜き、約11.19m下の地面に墜落し、死亡したものの。	30301	1	10 ～ 29
2010	8	10	～	11	平屋である長屋のリフォーム工事において、屋根の撤去を行うため、屋根上で瓦を取り外し、瓦の下に敷いていた板等を地面まで落としていたところ、屋根の端から地面まで高さ約2.8m墜落し、1週間後に死亡したものの。	30209	1	1～ 9
2010	8	13	～	14	S造1階建工場のスレート葺屋根上（棟高6.5m）において、スレート板と梁を結ぶフックを切断する作業を行っていたところ、被災者（安全帯・保護帽着用）がスレート板を踏み抜いて地面（コンクリート土間）に墜落したものの。歩み板や防網の設置等の踏み抜き防止措置が講じ	30201	1	30 ～ 49

			られていなかった。			
2010	7	17 ～ 18	瓦葺替え工事のため、2階建て家屋の屋根上において下地板の釘打ちをしていたところ、高さ約8.27mの軒先からコンクリート地面に墜落した。囲い、手すり及び親綱等の墜落防止措置が講じられていなかった。また、被災者は保護帽を着用していなかった。	30202	1	1～ 9
2010	7	9 ～ 10	地上から高さ約5.4mの位置において、作業員2名で三角屋根の下地張りのためコンパネのくぎ打ち作業を行っていたところ、屋根上で転倒し、軒先に設置されていた鋼管足場外側の手すりと幅木の隙間から墜落し死亡した。	30209	1	0
2010	7	8 ～ 9	被災者は、鉄骨造3階建て建築物の屋根板金工事現場において、屋根の張替え作業に従事中、木製下地の上に敷き並べた屋根材をつなぐべく、同屋根材への両面テープの貼り付けを、屋根上を後退しながら行っていたところ、屋根の端部を乗り越え、9.35m下の地上に墜落したものの。墜落防止措置を講じていなかった。	30209	1	1～ 9
2010	7	9 ～ 10	2階建て民間住宅の屋根の塗装工事現場において、高さ3m20cmの下屋根の塗装を指示された下請けの塗装工が、同作業終了後、指示されていない屋根上での塗装作業を行うために屋根に上がり、その端部が高さ6m25cmの墜落防止措置のない屋根から地上に墜落したものの。被災者は病院に搬送されたが当日死亡した。	30209	1	1～ 9
2010	7	9 ～ 10	同僚等3名で工場建屋のスレート屋根の雨漏り補修の事前点検のため屋根に上って確認作業を行っていた。点検箇所は数カ所あり、点検箇所の移動の際には母屋等の屋根の構造梁を伝って行っていたが、構造梁の間隔を見誤りスレート部に足をかけてスレートを踏み抜き、9.3m下の鉄筋部材等の上に墜落し被災したものの。歩み板を設けていなかった。	30209	1	1～ 9
2010	7	17 ～ 18	クーラー修繕の依頼を受け見積りのために2階部分の幅91cmのひしに設置されたクーラー室外機を点検作業中、足を踏み外し4m下の地面に落下し頭部を強打したものの。被災者は約1カ月後に死亡した。クーラー室外機の正面側において作業を行った為、十分な作業床が確保でき	80204	1	10 ～ 29

			なく、また、安全帯及びヘルメットを着用していなかった。			
2010	6	15	男性作業員が、解体中の建築物の幅の狭い鉄骨の梁の上に乗って作業を行っていたところ、約5.2m下のコンクリートに墜落したもの。足場等の作業床を設けていなかった。	30209	1	1～9
2010	6	8	体育館において、被災者は天井裏の雨漏りの点検等を行うため、作業通路下にある鉄骨梁（幅約4cm）をつたって、天井ボードに置いてあった水の入ったバケツを取ろうとしたところ、梁上でバランスを崩し足を滑らせて、鉄骨梁下の天井ボードを突き破り、約1.3m下まで墜落したものである。被災者はヘルメット、安全帯を着用していなかった。	170201	1	30～49
2010	5	10	圧延工場のスレート屋根の葺き替え作業を行っていたところ、墜落防止措置を講じておらず、被災者がスレート屋根を踏み抜いて高さ8.4mから墜落し、搬送先病院にて死亡したもの。	30201	1	1～9
2010	4	8	工場建屋の屋根補修工事現場において、被災者は屋根上に足場板が設置されていたにもかかわらず、スレート板の部分に乗って棟の部分に留め	30209	1	1～9
		9	てあったビスを手で抜こうとした際に、スレート板が割れ、約5m下の工場建屋内の床に墜落した。墜落直後及び病院への搬送後も被災者の意識はあったが、災害発生日から3日後に容体が急変し死亡した。			
2010	4	12	2階建て民家の大屋根上のアンテナ取換工事を2名で行い、1名が大屋根上の既設アンテナを撤去し、玄関屋根上の被災者に取り外したアンテナを渡し、引き続き大屋根で作業を行っていたところ、梯子の倒れるよ	30301	1	1～9
		13	うな音がしたため下を見ると、梯子が外れていて、被災者が仰向けに倒れていたもの。救急搬送後、頭部の負傷により8日後に死亡したもの。			
2010	3	17	鉄骨造工場の屋根の雨漏り部分を補修作業中、作業の最後に補修の	30209	1	1～9
		18	チェックを行っていた被災者が、歩み板を持って歩いていたところ、バランスを崩し、屋根のスレート材を踏み抜き、高さ約1.1mからコンクリート床面まで墜落したもの。歩み板はアルミ製、幅2.4cmで、屋根上へは3枚しか持ち込んでいなかったもので、架け渡しながら移動していた。			

2010	3	14 ～ 15	住宅兼店舗の裏山にある法面に立っていた木が住宅側に倒れかかってきた。この木を除去するため、被災者含め3名が屋根上で、玉切りする前段取として木の固定作業を行っていたところ、木が被災者側に動いてきたため、被災者は木に押され、屋根から5.57m下に転落した。被災者はヘルメットを着用していたものの、ヘルメットが割れ頭部を強く打ち付けたことから、頭部骨折により死亡したもの。	30309	1	1～ 9
2010	2	15 ～ 16	鉄骨造の工場を解体作業中、屋根のスレート材を取り外す作業を行っていた際、スレート材を踏み抜き、高さ約7mからコンクリート面へ墜落したものの。踏み板、防網及び親綱等の墜落防止のための設備は設置されていなかった。	30209	1	10 ～ 29
2010	2	16 ～ 17	倉庫（鉄骨造平屋建）の屋根の解体作業中、解体しようとしていた屋根（木毛板）を踏み抜き、約4m下のコンクリートの床に墜落した。被災直後は意識があり手足も動いたが起き上がれず、救急車等で病院に搬送され治療を受けていたが、3日後に死亡した。	30202	1	1～ 9
2010	1	15 ～ 16	工場建屋の雨漏り修理依頼があり、工事見積もりのために雨漏り箇所の状況を確認しようとスレート屋根の上を移動していたところ、スレートを踏み抜き、約7.7mの高さから墜落したものの。歩み板の使用や防網の設置等の対策が講じられていなかった。	80109	1	1～ 9
2010	1	16 ～ 17	オール電化工事現場にて太陽光発電システム2階部分の配線工事の準備作業のため、保護帽、安全帯未着用のまま屋根に登り1階屋根を移動中、小雨が降っており、足が滑って高さ2.7mの屋根から墜落し、コンクリート張りの犬走りに頭を強打し死亡した。	30302	1	1～ 9
2010	1	11 ～ 12	2階建てのアパートの解体工事において、屋根のスレートをはがす作業中、2階屋根より墜落したものの。本来足場は設置できたが、親綱で対応していた。被災者は、保護帽及び安全帯を着用していたが、安全帯は使用していなかった。	30202	1	10 ～ 29
		13	堆肥プラントにおいて、屋上にあるチップの集塵用ダクトに穴が生じた			

2010	1	～ 14	ため、修繕しようとスレート屋根上を移動中、道板や防網等の墜落防止措置を講じておらず、スレートを踏み抜き約6m下の地上に墜落したものの。	10909	1	1～ 9
2009	4	～ 11	10 鉄骨造倉庫の移設工事現場において、移設した倉庫の屋根部分にスレー ト板を設置する作業中、鉄骨梁の上で作業を行っていた被災者が4.8m下 11 の地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2009	10	～ 11	10 民家の屋根瓦葺き替え工事において、瓦の止めネジを取り付けるのに使 用していたコードレスインパクトドライバの電池が切れかかったため、 11 地上に降りて電池の取り替えを行おうと屋根上を移動していた時、屋根 上の瓦等につまずいて転倒し、軒先から高さ約2.9m墜落した。	30209	1	1～ 9
2009	4	～ 17	16 軒高約7mの木造2階建家屋建築工事現場において、被災者は梁の上で屋 根の垂木を取り付ける準備作業を行っていたところ、高さ7.1mから下の 17 地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2009	3	～ 12	11 木造2階建住宅の新築工事現場において、移動式クレーンを用いて、2階 軒桁上で梁を設置する作業を行っていた被災者がバランスを崩し高さ約 12 6.9mから墜落した。	30202	1	1～ 9
2009	11	～ 12	11 2階屋根瓦の仕上げ作業中に一旦1階の屋根に墜落、さらに高さ約3.3mの 12 屋根からコンクリート地面に墜落した。被災者は、作業時、保護帽、安 全帯は未着用であった。	30209	1	10 ～ 29
2009	8	～ 8	7 構内鋼原料ヤードモニター屋根の一部が崩落したため、復旧後に原因と なった堆積粉じん（厚さ約50cm、主に石灰粉じん）を残った屋根から 除去する作業を行っていたところ、再び屋根の一部が母屋ごと崩落し、 その上で作業していた5人のうち1人がたまたま下にいた鍋つりクレーン の鍋つりフック用ビーム上へ約24.4m転落した。他の4人は安全帯により 転落を免れた。	30209	1	1～ 9
2009	6	～ 13	13 木造平屋の倉庫兼トイレを建築するため、被災者は梁、桁に登り、小屋 つか、母屋の取り付け作業を始めた。小屋つかを取りに行くため桁（幅 21cm）を歩行中、バランスを崩し、約3.5m下のコンクリート土場に墜	30202	1	1～ 9

		14	落した。			
2009	3	10 ～ 11	スレート屋根上のダクト塗装作業において、歩み板を踏みはずし、明かりとり用の樹脂製波板を踏み抜き、約5m下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2009	9	17 ～ 18	被災者及び事業主の2人は、高さ5.5mのテント（□60角型鋼管を溶接及びボルト結合し組立）を解体するため、事業主が柱脚部をガス溶断し、被災者がフォークリフトのパレット上に乗り上昇させてテント頂部のボルト結合部分を外していたところ、テントが自立できずに被災者を巻き込み倒壊した。被災者はパレット上から墜落し、倒壊したテントと地面の間にはさまれた。	30209	5	1～ 9
2009	6	14 ～ 15	庄延工場屋根雨漏り補修工事において、屋根樋補修が終わり歩み板・親綱の撤去作業で歩み板を運搬していたところ、スレート屋根を踏み抜き高さ12mから墜落した。現場には幅40cmの歩み板が敷設されていた。	30209	1	10 ～ 29
2009	11	17 ～ 18	工場のスレート葺き替え工事において、被災者が屋根の養生シートの緊結作業をしていたところ、スレートを踏み抜いて約11.8m下の工場内床面へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2009	7	14 ～ 15	倉庫の雨漏りを修理するために、被災者がスレート葺きの倉庫屋根に上って作業をしていたところ、屋根を踏み抜いてスレート及び歩み板とともに約5.4m下の床面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2009	10	10 ～ 11	台風18号による建物損害の保険調査の目的で、損害のあったスレート屋根の状態確認をするため、同僚1人と共にスレート屋根上に上がっていた被災者がスレート屋根を踏み抜き約5.9mの高さから建物1階コンクリート床面に墜落した。	170209	1	10 ～ 29
2009	12	16 ～ 17	民家の平屋倉庫兼車庫のスレート屋根取替工事現場において、取替作業終了後に被災者は、屋根上で道具等の片付けをしていた。その際スレートを踏み抜き、約3.7m下の倉庫床（コンクリート床）に墜落した。	30201	1	1～ 9
			被災者は、施設管理業務に従事していたところ、施設利用者が体育館の			

2009	2	15 ～ 16	天井裏に上げてしまったソフトバレーのボールを取りに行くため天井裏に立ち入り、梁上を移動中、天井に張り巡らされているグラスウール製の天井材を踏み抜き、約11m下の床に墜落した。	140309	1	1～ 9
2009	10	13 ～ 14	台風の影響により50枚程の瓦が破損した1階建木造建築物の修繕を同僚と2人で実施（母屋の瓦全面葺き替えのため、母屋の損傷していない瓦を底部に差し替える作業）した。午前中からの作業を午後も継続し作業を再開した。同僚が1階屋根上で瓦の手直し作業をし、被災者は1階屋根底部で瓦差し替え作業をしていた際、「ドーン」と音がしたため同僚が被災者の方を見たところ、被災者が3.187m下の地面に墜落していた。	30202	1	1～ 9
2009	5	16 ～ 17	工場において、東工場と南工場のすき間（約1m）に屋根（高さ約4m）を設置する作業を被災者一人で行っていた。屋根の梁を組み立て中に墜落した。	11209	1	1～ 9
2009	12	13 ～ 14	木造二階建住宅新築工事現場で、二階屋根上に養生シートを取付ける作業をしていた作業者が、降り始めた雨で滑りやすくなっていた屋根面から、屋根面と仮設手すりの間をすり抜けて約6.3m下の地面に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2009	12	9 ～ 10	納屋棟瓦補修工事において、請負業者の作業員3人により棟瓦積み替え作業を行っていた。屋根の地板に引っ掛けてあった木製の滑り止めが外れ、作業員2人が屋根上で転倒し、内1人が墜落し死亡した。	30202	1	1～ 9
2009	8	13 ～ 14	農舎の新築工事において、施主の意向で出入口の下屋（軒高4.1m）が追加発注となったため、被災者は同僚作業員とともに下屋の建方作業に従事し、高さ3.8mの梁上（幅12cm、梁成33cm）でもやを取り付け、次の作業に移ろうとしたところ、バランスを崩して地面（砂利敷き）に墜落した。なお、被災者は保護帽を着用していたが安全帯の装着はなかった。	30202	1	1～ 9
2009	11	9 ～ 10	店舗兼住宅の屋根の補修を行うに当たり、下見に行き、屋根に上がったところ、突風にあおられて、高さ4.6mの屋根から墜落した。	30209	1	10 ～ 29

2009	9	13 ～ 14	現場内地下1階作業場において、配管ラックユニット上で保温作業中、被災者は配管の反対側へ移動しようとして配管をまたぎ、鉄骨フレーム上に足をかけようとしたところ、足を踏み外しフレーム下へ墜落（高さ約3.3m）した。	30201	1	1～ 9
2009	3	10 ～ 11	3人で民家の2階屋根（傾斜約23度）の端で塗装作業中、被災者が足を滑らせ約5m下の地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2009	11	13 ～ 14	木造平屋建て新築工事現場において上棟作業中、ラフターでつり上げた野地板を高さ3.5mの梁上で荷受け作業をしていた被災者が、ベタ基礎上に墜落した。現場には作業床となる足場や先行床、墜落防止ネットの設置はなく、被災者はヘルメットおよび安全帯を着用していなかった。	30202	1	1～ 9
2009	10	10 ～ 11	木造平屋建て新築工事現場において、高さ約4mの梁上で屋根下地取付作業の準備をしていた被災者が、コンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9
2009	2	10 ～ 11	製品に混入する異物（鉄錆等）を除去するための装置である磁選機のパイプの詰まりを解消するために当該パイプが設置されているスレート型の屋根に上ったところ、スレート屋根を踏み抜き、約5.7m下のコンクリート床面に墜落した。	10909	1	10 ～ 29
2009	5	16 ～ 17	木造2階建てアパート新築工事現場において、2階屋根の幅12cmの梁上で垂木取り付け作業を行っていたところ、6.42m下の1階コンクリート土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2009	1	13 ～ 14	8階建てマンション屋上の防水工事において、防水シートを切断する作業中、下敷きとして使用していたコンパネを後ずさりしながら運んでいたところ、屋上の端地上約24mの高さから墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2009	10	10 ～ 11	木造平屋建ての店舗新築工事現場において、作業員4人で梁、桁に上がり、鋼製の屋根材（長さ9.4m、幅0.65m、重さ約50kg）の取り付けをしていた。上に上げていた屋根材の12枚のうち、1枚が強風に飛ばされて被災者に激突し、その衝撃で高さ3.5mの桁から墜落した。他の3人は	30203	1	1～ 9

			墜落を免れた。			
2009	7	15	木造2階建住宅のリフォーム工事（外壁、屋根の塗装）において、被災者が屋根の塗装を行っていたところ、バランスを崩し5m80cm下の隣の家のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～9
2009	3	16	鉄骨造平屋建て倉庫の南側スレート屋根部分を約1.5mほど改修する工事中、新設した北側の側壁部分に波板の取付けを2人で行った後、工具等の片付けをしていた被災者がスレートを踏み抜き、約4.7m下のコンクリート床面に墜落した。	30209	1	1～9
2009	1	14	建物の解体工事中、天井面に敷いてあった木毛板を踏み抜いて3.42m下のコンクリート地面に墜落した。現場には、幅25cm×長さ4mの歩み板が設けられていた。	30209	1	10～29
2009	1	16	平屋建住宅の瓦葺き替え作業において、同僚2人とともに既存の瓦を撤去し、野地板上にルーフィングを敷設していた。作業を終えるため、雨漏り防止のブルーシートをルーフィングの上に敷き、ブルーシートの上を歩いていたところ、滑ってバランスを崩し、高さ3.9mの屋根上から地面に墜落し、死亡した。	30209	1	1～9
2009	8	8	民家外部塗装工事現場において、2階屋根上で散水用高圧ガンによる屋根の洗浄作業中、足を滑らせ6.7m下の地面に墜落した。なお、保護帽は着用していたが、墜落時に脱げ落ちていた。また、安全帯は着用していなかった。	30209	1	1～9
2009	11	8	住宅に隣接した作業小屋（木造2階建て）の屋根葺替え工事において、事業主と被災者の二人で東側及び西側の屋根にかけていたブルーシートを撤去するため、被災者が南側の屋根から西側の屋根に向けて屋根の上を歩いて移動していたところ、足を滑らせ約5.5m下の地面に墜落した。	30209	1	1～9
2009	7	10	納屋（木造）の建設工事において同納屋の庇の骨組みを取付ける作業を行っていた被災者は、小型移動式クレーンで水平につり上げた丸太を取付けるにあたり、同庇の骨組である水平に設置された角材（幅10cm、長	70101	1	1～

		11	さ1.7mで仮組されていたもの)を足場としていたところ、同水平材が外れた(釘やつり材等の水平材の支えが外れ)ために約5m下の地面へ墜落した。被災者は、保護帽及び安全帯は未着用だった。			9
2009	3	7 ~ 8	チップサイロからトラックにチップを積み込むにあたり、被災者は単独でサイロ及び配管の点検作業を行っていた。その後、サイロの屋根に上がっていたところ、当該屋根(勾配約16度)から約8m下の地面に墜落した。	10401	1	10 ~ 29
2008	2	11 ~ 12	木造2階建て住宅の新築工事現場において、建築躯体の建方(棟上げ)作業中、当該建築躯体の2階部分の梁の上で被災者が作業を行っていた。その際、当該梁から約6.3m下のコンクリート土台上に墜落して死亡した。	30202	1	1~ 9
2008	11	13 ~ 14	集じん機のダクトが詰まったため、同僚と2人で工場の屋根(スレート葺き)に上って整備をしていた際、スレートを踏み抜き高さ約7mから墜落した。	10401	1	10 ~ 29
2008	7	14 ~ 15	9階建てのビル建設現場で鉄骨の組立て作業を行っていた。7階部分の鉄骨を組み込むために6階床面(高さ15.7m)の鉄骨上でボルトを緩めていたところ、バランスを崩して墜落した。	30201	1	1~ 9
2008	11	13 ~ 14	1階屋根上で木造家屋の解体作業をするため、移動式クレーンで解体した木材をつって移動させていた。その際、木材をつっていたワイヤーが外れて木材が1階屋根上で天秤となった。そのはずみで木材の近くにいる被災者が高さ約3mの屋根の上から家屋南側の海に墜落して死亡した。	30209	1	1~ 9
2008	1	9 ~ 10	木造倉庫の新築工事において、屋根に登りトタンの釘打ち作業を行っていた被災者が、屋根(軒下)から約4m下の斜面に墜落した後、更に斜面を約4m転落して死亡した。	30202	1	1~ 9
2008	2	15 ~ 16	地上からの高さ6.6mの屋根上で、自動釘打ち機を用いて野地板の釘打ち作業に従事していたところ、屋根上から滑り落ちて土間(コンクリート基礎部)に墜落、死亡した。	30202	1	1~ 9

2008	5	14 ～ 15	倉庫の屋根改修工事において、午前中まで代表者と共に屋根工事を行っていた被災者が、午後、周辺民家への営業が終わり、現場へ戻って屋根工事を再開するため、屋根上に上がって作業していたところ、軒下5.3m下の地上に墜落して死亡した。	30209	1	1～ 9
2008	4	8 ～ 9	被災者は、管理通路を乗り越えて鉄骨梁上を移動して桁外面作業車に乗り込む際、管理通路から鉄骨梁上に降りる時、左足を踏み外して約60m下の海に墜落した。	30105	1	30 ～ 49
2008	12	14 ～ 15	住宅の屋根工事で、被災者が屋根に雪留め金具を取り付けていたところ、足を滑らせて約3m下に転落した。	30202	1	1～ 9
2008	7	15 ～ 16	建造物構造体の木製屋根枠部分の加工作業を行うにあたり、合掌部分（幅13m、高さ4.2m、重量約0.9t）の仮組みをしたところ、倒壊して下敷きとなった。	10409	5	10 ～ 29
2008	8	9 ～ 10	木造2階建て家屋の解体工事現場において、被災者が高さ約6mの梁上で、ひさし部の解体作業を行っていたところ、当該場所から隣家の土間コンクリート上に墜落して死亡した。	30202	1	1～ 9
2008	4	10 ～ 11	屋根の修理を行うために屋根に登っていた。作業終了後にスレート屋根を踏み抜いて墜落した。	40301	1	50 ～ 99
2008	3	11 ～ 12	S造平屋建て工場の解体工事において、屋根部の解体の段取りのために地上6mの位置にある水平ブレスの上を頭上の小梁（屋根の骨組み）をつかみ、体を支えながら水平ブレスの交点方向へ移動していた時、足を滑らせ墜落した。	30209	1	1～ 9
2008	3	13 ～ 14	倉庫の上屋新築工事において、屋根底上で照明器具配管工事をしていたところ約7mの高さから墜落した。	30301	1	1～ 9
		16	被災者は、4階建てマンションの勾配が付いた屋根部分の塗装工事中に			1～

2008	1	17	屋根から11.3m墜落した。被災者は安全帯を着用していなかった。	30209	1	9
2008	2	18 ～ 19	小麦焙炒機のガスバーナーを交換して小麦を入れて試運転の作業中、同機を排気する屋外の煙突から出火したため被災者ら数人が消火器を持って屋根に上り消火しようとした。その際、被災者が天窓のガラスを踏み抜き、約10m下の中2階床に墜落して死亡した。	10109	1	100 ～ 299
2008	5	8 ～ 9	木造2階建て（倉庫部分は1階）倉庫兼住居の解体工事の際、作業開始前に現場周囲の写真撮影をするために1階の屋根に上がった時、明かり取り用の透明波板を踏み抜いて墜落（高さ4.3m）して死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2008	5	9 ～ 10	被災者が解体工事現場にて建物屋根のスレート材を撤去中、スレート屋根を踏み抜いて約8m下の床に墜落した。	30209	1	50 ～ 99
2008	3	16 ～ 17	エレベーター棟の新設に伴い建築中であった5階部分の鉄骨上から足を踏み外して高さ約11m下に墜落した。	30201	1	1～ 9
2008	11	14 ～ 15	木造家屋の建方作業において、1階の作業者と2階の作業者（被災者）との間で屋根材の受け渡しをしていたところ、通路の代わりに敷いていたコンパネと共に約3.3m下の土間コンクリートへ墜落した。	30202	1	1～ 9
2008	6	10 ～ 11	工場棟の屋根の雨漏りの修繕のため、高さ約6mのスレート屋根に昇り作業に取り掛かろうとしたところ、スレートを踏み抜いて工場内のコンクリートの通路に墜落した。	30309	1	1～ 9
2008	12	17 ～ 18	木造2階建の個人住宅の新築工事において、2階屋根で防水のためのビニールシート張りを行っていた作業者が2階屋根から地上へ転落した。	30202	1	1～ 9
2008	8	10 ～ 11	鉄骨スレート葺建物解体工事中、被災者は足場をつたい屋根へ上り、スレート部分に乗って散水しようとしたところ、スレートを踏み抜き高さ約6mからコンクリート土間へ墜落した。	30209	1	1～ 9

2008	9	14 ～ 15	工場の解体工事現場において、被災者がスレートでふかれた屋根の上でスレートの撤去作業をしていたところ、スレートを踏み抜いて高さ6.3mの地点から墜落した。なお、スレート上に歩み板等は設けられていなかった。	30209	1	1～ 9
2008	11	8 ～ 9	木造住宅新築工事において、2階床（高さ3.3m）の梁の水平出し作業中に1階コンクリート土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2008	5	14 ～ 15	一般民家の屋根のリフォーム作業中、事業主が先行してコーキング剤を屋根材の外周部分に塗布を行った後、被災者が余った溶剤の拭取り作業を行っているとき、高さ5.2mから墜落した。なお、外部足場の設置などの墜落防止対策は実施していなかった。	30209	1	1～ 9
2008	4	8 ～ 9	工場建屋（平屋）改修工事において、被災者は下請業者との段取りを屋根上（頂部付近）で行った後、足場板を抱えて移動しようとしてスレート屋根を踏み抜いて高さ6.05mから床面に墜落した。建屋周囲に足場は設置されていたが、スレート屋根には歩み板、防網等は設置されていなかった。また、被災者の着用していたヘルメットは飛来落下用であった。	30209	1	10 ～ 29
2008	6	15 ～ 16	2階建てビルの屋上防水工事に使用する昇降設備（足場）の組立て作業中、工事対象の建屋へ渡るための仮設通路を設置するために、隣接する建屋の屋根の上で足場を組み立てていたところ足元が滑って転落した。	30201	1	10 ～ 29
2008	4	10 ～ 11	屋根瓦の葺替工事において、被災者が2階の屋根瓦の下地施工作業を行っていたところ、足を滑らせて2階屋根から約6m下の地面に墜落した。なお、屋根には手すり、親綱の設置等墜落を防止するための設備はなく、保護帽も着用していなかった。	30202	1	1～ 9
2008	11	13 ～ 14	木造家屋建築現場の1階屋根上において、ケーブルテレビの引込線設置作業を行っていたところ、高さ5.0mの屋根上から地面に墜落した。なお、被災者は安全帯を雨樋に掛けて使用していたが、当該雨樋ごとはずれて墜落した。	30301	1	1～ 9

2008	9	16	倉庫の屋根の張替工事において、屋根の軒先のトタン板を張る作業をしていたところ、上司が乗っていたトタン板が滑り出して被災者に当たり、上司とともに約2m下に墜落して死亡した。	30202	1	1～9
2008	10	12	急傾斜地崩壊対策工事現場において、伐木作業を行っていたところ、倒す途中の木が隣接する民家の屋根にぶつかり、軒先の一部を損壊した。	30108	1	10
		13	その屋根の応急措置のため、2連はしごを使用して高さ5.6mの屋根に上った。上がって間もなく屋根からすべり、コンクリート地面に墜落した。			～29
2008	3	10	木造2階建て新築工事現場において、被災者は、単独ではしごを用いて2階壁面のテレビアンテナの調整作業にあっていたところ、バランスを崩して5.8m下の地上アスファルト上に墜落した。	30202	1	1～9
2008	1	11	倉庫解体現場において、スレートぶきの屋根上に上り、はがしたスレー	30209	1	1～9
		12	トを5人で集積場所まで運ぶための受け渡し作業をしていたところ、スレー			
			トを踏み抜いて高さ9.3m下のコンクリート床に墜落した。			
2008	11	14	鉄骨造3階建て新築工事において、床が未設置の3階の梁上で移動式ク	30201	1	10
		15	レーンを使用してデッキプレートの仮置き作業中に5.8m下の1階スラブ			～29
			に墜落した。			
2008	10	14	木造2階建（在来・足場先行工法）の小屋で歪みの調整を目的として筋	30202	1	1～9
		15	かいブレスを取り付けるために、小屋梁上で同ブレスの釘止め作業をし			
			ていた。小屋梁上を移動中に2階床開口部（階段部分）から5.9m下の1階			
			床（合板）に転落し死亡した。なお墜落箇所には小屋梁・2階床開口部			
			ともいずれも防網は張られていなかった。			
2008	3	15	工場の改修工事中、不要な電線を撤去するためにスレート屋根に上が	30209	1	1～9
		16	り、電線を切断する箇所へ移動中、高さ5.95mからポリカーボネイト樹			
			脂を踏み抜いて墜落した。			
2008	4	17	研究棟の屋根の上の排水溝の点検作業のために、屋根の上に入った際に	10804	1	300
			高さ約10mの屋根の端部より墜落した。			～

		18				
2008	4	10 ～ 11	被災者は事業場資材倉庫の解体工事中に、バールを使用して屋根上の桟をはずす作業を行っていた。被災者は屋根上の作業場所からテント用シート製の屋根材を突き破り、約6m下の地上に墜落し、死亡した。	30202	1	1～ 9
2008	11	13 ～ 14	被災者は、はしごを用いて神社の屋根（軒高約3m）に上り、破損した屋根瓦の取替作業を行おうとしたところ、足を滑らせ地上（石畳）に墜落して死亡した。	120109	1	10 ～ 29
2008	7	13 ～ 14	自社構内の建築物（車庫：鉄骨造スレート葺）の屋根上（高さ3.6m）において、社員訓練教材用の高圧配電線の取り付け作業を作業員2名で行っていた。作業の途中で部品を取りに行こうと屋根の上を移動していた時にスレート屋根を踏み抜き、墜落した。	30301	1	10 ～ 29
2008	11	13 ～ 14	被災者は事業場内にある壁を支える高さ約6mの梁の塗装作業を行う前段階として、梁上にたまった水を抜くためにフォークリフトのバケットから梁上にまたがり、ガス溶断にて穴開けの作業を行っていた。その際、バランスを崩して高さ約6mの梁上からコンクリートの地面に墜落し死亡した。	80409	1	1～ 9
2008	8	10 ～ 11	屋根の塗装作業中に足を滑らせ2階の屋根から墜落して死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2008	9	16 ～ 17	住宅解体工事現場で車庫の解体作業を行うため、車庫の屋根に上り、トタン板（波板）をはがす作業を行っていたところ、最後の一枚を下ろす際、バランスを崩して高さ2.7mの梁からコンクリート床に墜落して死亡した。	30209	1	1～ 9
2008	3	15 ～ 16	厩舎新築工事現場の上棟作業中、梁を木槌で叩くために別の梁に移動したところ、足をかけた梁が抜け落ちて被災者が抜け落ちた梁と共に高さ2.96m下のコンクリート土間に転落した。	30202	1	1～ 9
		10	一般住宅の雨漏りの補修のために作業員2名で屋根に登り作業をしてい			1～

2008	6	～ 11	たところ、被災者が屋根（高さ約6m）から墜落した。	30202	1	9
2008	9	8 ～ 9	作業場建屋の屋根吹き替え工事において、被災者等が屋根（板金屋根）上で長尺板の撤去作業を行っていたところ、屋根板金の下（板金をはがした屋根の下地）の屋根材に使用されていた木毛板の上に被災者が乗った際に木毛板を踏み抜いて、6m下の地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2008	12	10 ～ 11	土蔵の庇にペンキを塗るため庇（高さ約2.6m、勾配19度）に上がって作業を行っていたところ、足を滑らせて地面に墜落した。	30203	1	1～ 9
2008	7	13 ～ 14	木造2階建て建物の萱葺き屋根（勾配が40度）の葺き替え作業中に同僚5名と屋根の上で休息していた際、屋根から転落し約9m下のコンクリート地面に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2008	4	13 ～ 14	工場貯鋳舎のスレート屋根補修工事が終了し、工事で使用した歩み板の撤去作業中に屋根上を移動しようとしてバランスを崩しスレートに乗ったため、踏み抜いて約24m下のコンクリート床面に墜落して死亡した。	30209	1	1～ 9
2008	2	17 ～ 18	一般住宅に隣接する車庫の屋根の雪下ろし作業を同僚3人と行い、作業終了後に屋根の点検作業をしている際に2.9mの高さの屋根（勾配約10度）から転落した。	30209	1	1～ 9
2008	5	15 ～ 16	キルンの補修工事において、キルン排気ダクト建物の屋根（波型スレート製）を歩行していた際、当該屋根を踏み抜き、約5.4m下のコンクリートの床に墜落した。	30302	1	30 ～ 49
2008	10	13 ～ 14	店舗併用住宅移転及び修理工事現場において、1階屋根上で解体により生じたゴミの片付け作業中に雨が降ってきたため、作業を中止しようとした時に足を滑らせて約2.8m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2008	2	11 ～	被災者は同僚1名と共に当該事業場で管理している4階建てアパートの雪庇落としに従事していたところ、高さ10.5mの屋上からアスファルト路面の駐車場に墜落した。駐車場はロードヒーティングによりアスファル	80409	1	10 ～

		12	トが露出していた。被災者は安全帯・保護帽未着用、安全帯取り付け設備も未設置であった。			29
2008	4	8 ～ 9	木造平屋建住宅の屋根（トタン葺き）の葺き替え工事において、被災者は屋根下地に使用する防水シート（円筒状に丸めたもの、重量23kg）を肩に担ぎ、屋根の上を移動する際、高さ3.5m下のアスファルト地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	1	10 ～ 11	倉庫のスレート屋根の破損箇所に、その補修工事を開始するまでの間、雨漏り防止のため、ブルーシートをかけて養生していたが、その養生シートがはがれたため、再度、屋根に上ってシートをかけ直していたとき、スレートを踏み抜き、7.5m下の床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2007	8	9 ～ 10	製材工場において、被災者は、集じん機のダクトのつまりを取り除くため、スレート製の屋根に上り、歩いていたところ、スレートを踏み抜き、4.5m下に墜落し、死亡した。歩み板や防網の設置はなかった。	10401	1	10 ～ 29
2007	1	10 ～ 11	モニター室東側の2層目屋根上を歩行している際、屋根板として使用されている折板構造の塩ビ鋼板を踏み抜き、約15.9m下のコンクリート床に墜落し、死亡した。	30201	1	1～ 9
2007	9	9 ～ 10	被災者を含む5名で2階建の木造家屋新築工事を行っていたところ、瓦揚機を使用して屋根瓦を2階屋根に運ぶ作業をしていた被災者が、2階屋根から約6.5m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	1	15 ～ 16	クレーンで足場材を地下の耐圧板上に下ろす作業をしていた。足場材を切梁の間を通すため、梁上で足場材の誘導をしていた被災者が誘導が終わり、仮設通路に戻ろうと、仮設通路の近くまで移動して来、親綱から安全帯をはずし、乗り移ろうとしたところ、バランスを崩し、7.8m下の耐圧板上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2007	11	11 ～ 12	波形スレート屋根の平屋倉庫の解体工事で、被災者を含む作業員4人で、屋根上にてスレート材を取り外す作業を行っていたところ、被災者が厚さ5mmのスレートを踏み抜き、墜落した。	30201	1	1～ 9

2007	7	11 ～ 12	工場内の建設工事現場において、鉄骨平屋建ての工場のスレート屋根と外壁の撤去工事中、スレート屋根の上を移動していた被災者がスレート屋根を踏み抜き、約7mの高さから地面（アスファルト舗装）に墜落した。	30201	1	1～ 9
2007	12	14 ～ 15	造船工場内建物の一部撤去工事現場において、つり足場上で鉄骨補強作業に従事していた被災者が、屋根の上を移動していたとき、採光用の波板ガラスを踏み抜いて、29.95m下の地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2007	4	14 ～ 15	木造家屋の解体工事において、解体対象物の家屋の屋根（高さ2.2m）の上で、瓦の撤去作業中、足を滑らせて地上に落下した。	30202	1	1～ 9
2007	9	16 ～ 17	2階の屋根の上で野地板を打っていた被災者が、足を踏み外し道路まで転落した。	30209	1	10 ～ 29
2007	9	9 ～ 10	木造建築アパートの解体現場において、高さ6mの屋根上でアンテナを取り外していたところ、地上へ墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	3	16 ～ 17	校舎屋根の防水改修工事現場において、校舎北側の屋根の防水シートを貼り替えるため、被災者が屋根の上にある基礎台の側面に防水シートを貼り付ける作業をしていた時、校舎の屋根から高さ約1.2m下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2007	6	15 ～ 16	平屋建木造家屋の新築工事現場において、屋根の垂木を設置し当該垂木の位置を調整していたところ、垂木上から墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	9	14 ～ 15	被災者は、木造2階建て建替工事において野地板設置作業を行っていたところ、約4m下のコンクリート基礎面に墜落した。	30202	1	1～ 9
		12	住宅増築工事において、2階の梁に乗り、サッシ窓枠用の欄干を取り付			10

2007	4	～ 13	け作業中、足を踏み間違え1階コンクリート土間に墜落した。	30202	1	～ 29
2007	2	～ 11	学校の用務員として常駐している被災者が、体育館の天井に設置されている照明の切れた電球の取替えのため天井裏に入っていたが、天井板を突き破り約8.6m下の体育館床まで墜落した。	170209	1	300 ～ 499
2007	8	～ 16	金型倉庫の屋根ふき替え作業中に、スレートでふかれた屋根を踏み抜き、約7.4mの高さから墜落した。	30309	1	1～ 9
2007	9	～ 12	工場の屋根塗装工事中に屋根スレートを踏み抜き、高さ約1.5mから墜落した。	30309	1	1～ 9
2007	8	～ 12	スレート張替工事において、張替前のスレート（高さ5.4m）を踏み抜き落下した。	30209	1	1～ 9
2007	12	～ 12	既存の建物の屋根の葺き替え作業中、墜落した。敷地が階段状になっており、一旦地面にバウンドした後、更にもう一段下の段に墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	10	～ 12	住宅改修工事現場において、鉄板屋根葺き替えのため、ジグソーを用いて鉄板切り作業中、屋根のハナ先から2m50cm下のベランダに墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	4	～ 11	被災者は、屋根の補修工事を行うため、スレートぶきの屋根に昇り、スレートの上に新しく張り付ける金属製の屋根材（65cm×750cm）を運ぶ作業を行っていたところ、スレートを踏み抜き高さ9.96m下の工場内に墜落した。	30209	1	1～ 9
2007	8	～ 19	スポットクーラーの室外機の点検作業のため、スレート葺きの屋根に上っていたところ、明かり窓の箇所を踏み抜き、約5m下のコンクリート上に墜落した。	10602	1	10 ～ 29

2007	11	8 ～ 9	工場のスレート屋根に設置された避雷針2本の撤去作業を行っていたところ、スレートを踏み抜き、約14m下の鉄板上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2007	12	13 ～ 14	倉庫解体工事現場において、鉄骨平屋建の屋根でスレート板を取り外していたところ、木毛板を踏み抜き、約5m下に墜落した。	30201	1	1～ 9
2007	2	11 ～ 12	木造2階建て新築工事現場における上棟工事の2階床張り作業中に、コンパネ板（縦91cm×横91cm×厚さ2.8cm；重さ約10kg）を敷く作業をしていたところ、吹き抜け開口部の位置より1階の土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	8	9 ～ 10	中学校南校舎耐震補強工事に伴う屋上階段室の解体工事において、被災者は朝のミーティングを終えた後、移動式クレーンの養生のために使用する敷き鉄板をレンタル会社に借りに行き、現場で敷き鉄板を設置した後、解体作業が行われている屋上の階段室へ向かい、ブレーカー等の工具の整理をしていた。その後、屋上8m下の1階倉庫の屋根に落ちているのを同僚が発見した。	30209	1	10 ～ 29
2007	11	8 ～ 9	スレート屋根（庇含む）等の塗装工事の準備作業として、洗浄水等の飛散防止用としての養生シートを庇軒先に設けるために丸太仮設物を3人で組み立てる作業中、被災者と同僚が軒先より40cm内側の庇に敷いた木製歩み板上（24cm×4m）で建地に水平材を番線で緊結しようとしたところ、被災者が軒先付近の庇を踏み抜き約4m下の地面に墜落した。	30209	9	1～ 9
2007	5	8 ～ 9	被災者が他の大工、とびとあわせて3人で高さ6.07mの2階梁上でくもすじ(建築部材)を取り付けていたところ、1階土間に墜落した。ヘルメットは着用していた。	30202	1	1～ 9
2007	5	11 ～ 12	鉄骨3階建の工場新築工事中、被災者が外部足場の近くの地面にうつ伏せで倒れているのが発見された。	30301	1	1～ 9

2007	4	8 ～ 9	民家の車庫の屋根葺替工事において、被災者は、車庫に隣接する物置の屋根から車庫の屋根に移ろうとしたところ、高さ3.3mの屋根上から墜落した。	30209	1	1～ 9
2007	11	14 ～ 15	建物解体工事において、被災者が倉庫の屋根に上がり切断した梁を取り外す作業をしていたところ、足が滑り約6m下の地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2007	11	8 ～ 9	住宅（3階建て）の屋根改修現場で、屋根の端で屋根（勾配20度）に安全金具（滑り止め）を取り付ける作業を行っていたところ、バランスを崩し軒先より足場板に一旦墜落し、その後枠組足場外側の筋交いの中から約16.8m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	8	14 ～ 15	雁木屋根消雪パイプ設置工事において、被災者は雁木屋根上にて、設置が終了した消雪パイプに電動ドリルを使用して穴を開ける作業中、雁木屋根の端から約3.6m下のコンクリート上に墜落した。災害当時、雁木の周囲には手すりを設置しておらず、被災者は安全帯を使用せず、保護帽も着用していなかった。	30309	1	1～ 9
2007	7	8 ～ 9	木造家屋2階建の内装及び屋根の改修工事において、現場代理人と被災者は、1階屋根上に仮置きしていた寝具（マットレス）を地上に降ろす作業中、マットレスに屋根にかけたはしごの一部が引っ掛かり、さらに、そのはしごが被災者の足に掛かっていていたため、マットレスと屋根はしごとともに約3.8m下の地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	6	14 ～ 15	木造2階建住宅の建築工事現場において、1階部の建方作業中、梁上（幅12cm）にしゃがみ込んだ状態で、梁と梁をつなぐ羽子板ボルトを取り付けていたところ、足を踏み外し約3.2m下の床組の大引きに墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	1	11 ～ 12	新築工事において、鉄骨造の支柱に折板で屋根を葺く作業を被災者と事業主の2名で行っていた際、被災者は前かがみの状態で屋根の端に雨どい取り付け箇所を電動工具で折板に穴をあけていたところ、バランスを崩して3.1m下の地面（アスファルト舗道）に墜落した。	30201	1	1～ 9

2007	7	16 ～ 17	原料サイロの屋根（トタン屋根）の雨漏りを補修するため、屋根の上で作業していたところ、誤って2.8m下のコンクリート面に墜落した。 なお、屋根に手すりは設置されておらず、安全帯、ヘルメットの着用もなく、当日は、雨により屋根が濡れていた。	10109	1	30 ～ 49
2007	6	9 ～ 10	木造軸組工法による2階建建売住宅の建築工事にて、大工7人で上棟の作業中、被災者が2階天井部の梁に金物を取り付けるため、幅10.5cmの桁の上を移動していたところ、転倒して右わき腹を梁に打ち付けた。その後、被災者は自力で地上に降りて休んでいたが、現場から約50m離れたパチンコ店の駐車場で倒れているのを発見され、病院に搬送したが死亡した。	30202	2	1～ 9
2007	1	16 ～ 17	化学設備機器の移設工事において、既設工場の化学設備機器を新工場へ移設するため、既設工場の屋根上に乗りスレート屋根を取り外す作業を行っている際、スレート屋根を踏み抜き、約6.5m下のコンクリート床に墜落した。	30302	1	10 ～ 29
2007	9	14 ～ 15	工場の屋根（鉄板）上で作業をしていたところ、屋根の明かり取りから墜落した。	30209	1	1～ 9
2007	3	10 ～ 11	工業屋根工事において、スレートの屋根を鉄板で覆う作業の際、屋根から降りようと屋根の上を移動していた被災者が高さ約5.4mの屋根の端から墜落した。	30209	1	1～ 9
2007	9	8 ～ 9	住宅の屋根の塗装工事において、伸展させた脚立を使って屋根へ上がるに際し、屋根又は脚立から墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	6	17 ～ 18	太陽光発電システム及びオール電化システムの工事を行う前に屋根の状況の確認等を行う現場調査において、被災者はハシゴを2階の屋根に立て掛け、同ハシゴを上って屋根の上に上り、作業中に屋根（高さ6m）から墜落した。	80209	1	100 ～ 299

2007	8	15 ～ 16	工場解体工事において、高さ4.4mの屋根で散水作業を行っていた被災者が、地上へ墜落した。	30309	1	30 ～ 49
2007	11	7 ～ 8	店舗1階入口天井部の電球取替えのための準備作業中、コンクリート梁から8m下の床に墜落した。	30309	1	30 ～ 49
2007	11	16 ～ 17	木造2階建住宅新築工事において、2階の梁上にて火打ちの設置作業を行っていたところ、バランスを崩し1階コンクリート基礎床に墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	8	12 ～ 13	客先の屋根の補修作業に係る事前の現地調査のため、被災者を含め計3名で屋根上で調査作業を実施していた。屋根の構造は折板であり、一部明り採りとして厚さ6mmの金網入りガラスが設けられており、被災者は当該明り採り部を踏み抜き、約1.1m下の建物内に設置された鉄筋加工用コンベヤー上に墜落した。	30209	1	30 ～ 49
2007	10	13 ～ 14	ビニールハウスのフィルムの張り替え作業中、フィルムを張り、スプリング（止め金具）でフィルムを固定していたところ、ビニールハウスの頂上（高さ約6m）より、墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2007	6	14 ～ 15	解体工事現場の高さ6m梁から3.2m下の2階桁に墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	7	8 ～ 9	木造2階建住宅新築工事において、はしごを使用して床材等を2階へ運びこむ作業を行っていた被災者が、はしごから降りるため梁上を歩いていたところ、3.5m下のコンクリート部分に転落した。	30202	1	1～ 9
2007	2	13 ～ 14	営業所内にあるテント倉庫の屋根シート交換修理工事において、被災者は他1名と共に屋根上でシートの交換取付作業を行っていた。作業中、屋根上を移動した際に、シート地を踏み抜き墜落し、約10m下のコンクリート床に打ちつけられた。	30209	1	1～ 9

2007	1	7 ~ 8	牛舎屋根の新設の単管に金属製の波板を張る作業において、屋根に3人の作業者が上がり、4枚の波板を移動式クレーンでつり上げ仮置きし、1枚ずつ穴明けして梁にフックボルトで取り付けていく作業中、突風が吹き作業者の後ろに仮置きしていた波板があおられ、作業者が後ろから押され、1人が高さ6.9mからコンクリート床に転落した。	30309	1	1~ 9
2007	9	8 ~ 9	被災者は変電室の屋根に設置されたファンを点検するため、スレート材屋根の上に足場とコンパネを敷き、点検作業を行っていたところ、ファンのカバーを取り除いた際、足を踏み外し、スレートを踏み抜いて高さ約4mのところから墜落した。	30302	1	1~ 9
2007	3	13 ~ 14	新しいアルミサッシに交換する工事の見積り作成のために、住宅の一階屋根に上がって寸法を測っていたところ、足を滑らせて地面に墜落した。	80209	1	10 ~ 29
2007	10	17 ~ 18	車庫新築工事現場において、高さ2.6mの梁に両足を掛け、梁から高さ1.3mの箇所にある母屋の端を揃えるため、のこぎりで切断していた。母屋材の端部を切断する際に、のこぎりで完全に切断することなく少し残した状態で止め、その後、手で押し折ろうと力を入れたところ、バランスを崩し端材と同時に落下、下方に駐車してあったトラックの左前部ミラーに当たった後、アスファルト地面に墜落した。	30202	1	1~ 9
2007	10	9 ~ 10	屋根塗装工事の屋根の高圧洗浄作業において、先輩大工の手元として洗浄機のホースを移動していた際、屋根上（高さ2.57m）で転倒し地面まで墜落した。	30209	1	1~ 9
2007	9	16 ~ 17	鶏舎の建築（木造建築）作業において、ラフタークレーン（35t）で木製トラスと呼ばれる木材で組まれた小屋組みを1.8mスパンで乗せ、母屋材で固定する作業を行っていたところ、被災者は高さ2.74mの小屋梁から墜落した。	30202	1	1~ 9
2007	12	13 ~	軽量鉄骨平屋建ての倉庫新築工事現場において、被災者は屋根鉄板の取り付け作業中にバランスを崩し乗っていた梁（幅約15cm）から約4.35m下へ墜落した。なお、被災者は安全帯は着用していたが使用	30201	1	10 ~

		14	していなかった。			29
2006	12	11 ～ 12	2階建て木造住宅屋根改装工事において、被災者は一人で高さ約6mの当該屋根（4寸勾配）の上でコンパネを運ぶ作業をしていたが、コンパネとともに地面に墜落し倒れているところを発見された。	30209	1	1～ 9
2006	11	11 ～ 12	一般家屋の増築工事で、事前に撤去する必要がある高さ2.7メートルの駐車場の屋根から墜落した。	30202	1	1～ 9
2006	12	8 ～ 9	木造2階建て家屋新築工事現場において、2階屋根北側中央部の破風板（切妻屋根の妻側に付けられる山形の隠し板）を取付けるため、南側の外部足場から屋根上を伝って、当該取り付け箇所へ破風板1枚及び工具を運んでいた被災者が、屋根上を滑って軒先（高さ6.13m）から地面に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2006	11	9 ～ 10	空家となっている貸工場（S造一部2階建スレート屋根）において、被災者がコーキングガンを持って屋根に上がって雨洩りの修理を行っていたとき、屋根を踏み抜き5.5m余り下のコンクリート床に墜落した。	30201	1	1～ 9
2006	12	14 ～ 15	被災者は工場の解体工事にて、解体した廃材を運搬のためトラックの運転等業務に従事していたが、鉄骨平屋根に葺かれていたFRP製波板を踏み抜き、約6メートルの高さからコンクリート土間に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2006	12	9 ～ 10	病院窓の清掃の段取中、被災者は窓にコの字型のプラスチック製ストッパーが内、外からねじ止めされていることを知り（窓が15cm位しか開かず窓からの転落等を防止するもの）、病室3階の底に降り、他の窓の状況を確認するため移動していた際に足を踏み外し約2.5m下の3階ベランダ部分に墜落した。	150101	1	1～ 9
2006	12	13 ～ 14	民家の庭木の剪定作業をしていた被災者が、木に登り剪定をしていたとき、バランスを崩し、木の側にあったガレージの屋根を突き破り、コンクリートの地面に墜落した。	60101	1	1～ 9
			工場建屋の屋根葺替工事において、被災者は、屋根材（鉄板：20m×			

2006	12	15 ～ 16	0.6m)を2分割で取外し撤去するため、中間部をサンダーで切断した。その後安全帯を外して屋根上を移動しようとした際、切断後の屋根材に乗ってしまったため、屋根材が梁部分で折れ曲がり、その開口部(2.3m×0.6m)から墜落した。	30309	1	30 ～ 49
2006	9	15 ～ 16	リフォーム工事現場において、玄関ひさし上で撤去した外壁コーキング材を清掃作業中、バランスを崩し約2.5m下のコンクリート土間に墜落した。	30209	1	1～ 9
2006	12	11 ～ 12	スレート屋根の谷部分にある樋上に鉄製樋を被せる工事において、被災者が屋根上に揚げてあった鉄製樋(コの字型の樋で長さ3m程度)を施工する位置まで運んでいたところ、スレート屋根を踏み抜き約1.1m墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2006	10	16 ～ 17	工場内の電源設備を覆うために大屋根から垂らしていたブルーシートを動かそうと通路上のスレート屋根に上り、作業用に掛け渡されていた足場板(幅42センチのもの2枚)に乗って作業中に、スレート屋根を踏み抜き高さ約4.3mの高さから通路に墜落した。	11002	1	10 ～ 29
2006	11	9 ～ 10	リフォーム工事の一部として屋根葺工事(既存スレート屋根上に金属屋根を敷設する工事)を行っていたところ、2階屋根から約1.2メートル下の道路上に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2006	8	16 ～ 17	軒高約6メートルの木造2階建家屋躯体工事において、2階床根太打ち前作業を行っていたところ、高さ3.47メートルの2階床梁上より1階床コンクリート土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2006	11	16 ～ 17	屋根の改修工事において、1階の屋根上でルーフィングシート張り作業を行っていた被災者が、高さ3.5Mの屋根の端から地面(コンクリート面)に墜落した。	30209	1	1～ 9
2006	11	9 ～ 10	分塊工場棟のスレート屋根の補修作業中にスレート屋根を踏み抜き約2.2メートル下の棟内に墜落した。スレート屋根上には歩み板(幅約60センチメートル)が設置されていたが、被災者は歩み板の脇のスレートを踏み抜いた。	30203	1	1～ 9

2006	10	8 ～ 9	別荘の下地補修工事中、屋根のトタンを外すため屋根に上がり、被災者は1枚目のトタンにかかるキャップや鋸を外し、自らこのトタンを地上へ投下し、次に被災者は2枚目のトタンにかかる鋸をバールで外していたとき、被災者が足をこのトタンにかけていたため、このトタン自体が屋根斜面をずり落ちるとともに被災者も屋根斜面をずり落ち、外部足場の手すりの下部をすり抜けて約3.9m下の地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2006	10	14 ～ 15	本社所属の被災者は災害発生当日、営業所に出向き車庫屋根上の樋の清掃を行うため、被災者が単独で屋根（高さ5.6m、スレート屋根）に上がり、清掃を終えて降りようとした時、スレート屋根を踏み抜き墜落した。	40201	1	30 ～ 49
2006	10	15 ～ 16	民家2階のコロニアル屋根（4分勾配）をローラー刷毛で塗装作業中に高さ5.75メートルの軒先から墜落し、隣家の外壁に一度当たった後、隣家の敷地内に墜落した。	30309	1	1～ 9
2006	9	10 ～ 11	木造住宅建方作業中に、被災者は他の作業者と2人で床材を持ちながら、2階梁上運搬をしていたところ、バランスを崩し1階の土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2006	10	14 ～ 15	民家の土蔵の屋根の葺き替えのため、屋根の下地作業を行っていた被災者が屋根（高さ約4m）、または足場（高さ347cm）より墜落した。	30202	1	1～ 9
2006	9	16 ～ 17	木造平屋建て新築工事現場で、高さ約3メートルの小屋根から1階のコンパネ上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2006	9	14 ～ 15	住宅兼作業場新築工事現場において、被災者は破風板及び軒天ボードの釘の点検を、事業主は1階外部のサイディングボードの釘の塗装補修を行っていた。建物外部には鋼製足場が設置されていた。事業主は地上から釘の補修を始め、建物を一周後、足場1層目に移り北側途中まで補修し、飲料水を飲むため東側に移動したところ、建物の南東付近に被災者	30202	1	1～ 9

			が倒れていたのを発見した。			
2006	9	9 ～ 10	既存の平屋建て資材倉庫の塗装工事現場において、被災者はスレート屋根に設置された歩み板上にて、屋根を塗装していたところ、スレートを踏み抜き約5メートル下の地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2006	8	11 ～ 12	スレート屋根の補修塗替工事において、被災者はフックボルトのタッチアップの作業のため屋根上に上っていたところ、スレート屋根を踏み抜いて約10m下のコンクリート製の倉庫床面に墜落した。	30309	1	1～ 9
2006	8	14 ～ 15	木造平屋建てレストラン新築工事の屋根下地作業において、垂木上（幅4CM、高さ4M）で、ドリルを使用しT型に加工した垂木を梁に取り付ける作業中、コンクリート基礎の上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2006	7	15 ～ 16	車庫のスレート屋根葺き替え作業中、スレートを踏み抜き約6メートル下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2006	8	9 ～ 10	集じん機の屋根（スレート）上ダクト撤去工事において、台風が接近していたため当日予定していた作業を中止し、前日の作業後に行ったダクト撤去跡の開口部の雨養生（防災シート等）を補強することとなった。現場代理人と被災者で屋根に上がり補強作業を行っていたが、被災者の姿が見えないことに気づき探したところ、約40m下の工場ピット内に倒れている被災者を発見した。	30302	1	10 ～ 29
2006	8	13 ～ 14	別荘として使用される木造家屋建築現場において、被災者が建屋2階床部分に設置された木製の梁（幅20センチメートル）に外部足場から足をかけたか、又は、同梁上を移動していたとき、4.9メートル下のコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9
2006	2	15 ～ 16	2階建ての店舗兼住宅の建物の屋根に衛星受信用アンテナを取り付けるために、建物玄関前から屋根にはしごを立て掛けて、地上から屋根に登ってアンテナを取り付ける途中で地上に墜落した。	30301	1	1～ 9
		9	木造2階建て住宅の屋根補修工事を1階屋根上にて作業中、代表者と被			1～

2006	8	～	10	被災者の2名で鼻隠し付近のトタンの長尺キャップを外す作業を行っていたところ、約3.2m下のコンクリートの地面に転落した。	30202	1		9
2006	7	～	16	被災者は、木造2階建家屋の解体工事において、2階屋根（軒高5.6m）上で手作業により瓦を除去する作業を行っていたとき墜落した。	30202	1		10～29
2006	7	～	15	鉄骨倉庫建築工事において、鉄骨柱に梁を取り付ける作業中、最上層の梁の取り合いが悪く取り付けられなかった為、既に取り付けてある中段の梁の固定ボルトを外し、更に柱を基礎部に固定しているナットを緩め、柱に立てかけたハシゴに再度登っていたところ、柱が傾き、中段の梁の一端が落下し、ハシゴ上の被災者がバランスを崩して転落した。	30199	1		1～9
2006	7	～	17	木造2階建アパートの解体工事現場において、カラベストと呼ばれる屋根の石材板を剥がし、地上に投下する作業を行っていたところ、高さ5.83mの軒先から地上へ墜落した。	30209	1		10～29
2006	7	～	11	圧雪車用の車庫の造作のため、鉄骨で組んだ梁（幅約10cm）の上に乗って梁に角材を取り付ける作業中、被災者がビスの入った段ボール箱をコンパネ上に引上げた後、自分の休憩位置に移動しようとして梁に足をかけたとき、4.9m下のコンクリート床に墜落した。	140309	1		10～29
2006	7	～	12	工場の増築工事において鉄骨の組立作業中、高さ10.6mの大梁の上でつり足場（重量約13kg）を被災者一人で設置しようとしたところ、つり足場ごと1階の床に墜落した。	30201	1		10～29
2006	7	～	14	工場解体現場において、スレート屋根上にてスレート屋根の取り外し及び集積、片付け作業を行っていたところ、当該スレート屋根が割れ、割れたスレートの破片とともに墜落した。	30209	1		1～9
2006	7	～	17	被災者は、新築の木造平屋住宅工事現場で北側風呂場の屋根での作業中に約5.13m下のコンクリートの土台に墜落した。	30202	1		1～9
			10	工場のスレート拭き屋根の工事中、スレートを踏み抜き、約10メートル				1～

2006	7	～ 11	ル下に墜落した。	30201	1	9
2006	6	～ 12	車庫（一階建て、切妻屋根、棟の高さ3.88m、軒の高2.6m）のスレート葺き屋根に付着した苔等をモップで取り除く清掃作業を行うにあたり、被災者がスレート葺き屋根に上り、屋根の棟伝いに移動していたところ、棟の北側の位置（高さ約3.5m）からスレート屋根を踏み抜いて一階のコンクリート床に墜落した。	140301	1	～ 299
2006	6	～ 14	鉄骨造3階建ての建築物新築工事において、3階フロア部のスラブデッキを配分及び仮置きする作業を行っていたところ、高さ8.5メートルの梁から地上に墜落した。	30201	1	～ 29
2006	5	～ 14	鉄骨造2階建ての建築現場で、建方作業当日に、同作業に従事していた労働者が、2階梁（地上高さ約5メートル）から、地上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2006	6	～ 9	鉄骨平屋建ての倉庫新築工事現場において、被災者は地上より高さ3.5m、巾17.5cmの鉄骨梁上でボルトの本締めを行っていたところ、バランスを崩して地上基礎部に墜落した。	30201	1	1～ 9
2006	5	～ 12	スレート屋根に屋根材の鉄板を敷くにあたり、墜落防止用ネットを先行して張っていたところ、被災者がスレートを踏み抜き、約8.5mの土間（鉄骨資材置き場）に墜落した。	30209	1	～ 29
2006	5	～ 10	鉄骨スレート敷駐車場の解体現場において、単管足場に防塵シートを敷設中、被災者が屋根スレート部分を踏み抜き4.2メートル転落した。	30209	1	～ 29
2006	2	～ 18	屋根のメンテナンス用安全バー支柱の根元部分のシーリング作業のため、屋根頂上付近に安全ブロックをセットして、一人で作業に行っていたところ転倒し、安全ブロックのワイヤが被災者に巻きつき、転落、屋根から懸垂状態になっているところを発見された。	30201	1	1～ 9
		14	屋根（スレート製）で雨漏り補修工事を行ない、工事終了後全体の状況			300

2006	4	15	～	を写真撮影するため隣接する別棟の屋根に上ったところ、スレートを踏み抜き約10メートル下の工場内床面（コンクリート製）に墜落した。	30309	1	～	
2006	5	16	～	17	木造2階建て住宅新築工事現場において、2階床梁（高さ3.78m）上に乗り、2人で屋根桁材の取り付け作業を行っていたところ、材料（ビス）がなくなったため、1人が材料を取りに地上へ降りた間に、被災者が建屋内側のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2006	4	14	～	15	一般住宅新築工事現場の建前作業中、下屋廻りの母屋上の端で、小屋組側面の破風板を取付けていたところ、高さ5.5m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2006	3	15	～	16	屋根修繕工事において、屋根の雨樋の掃除のため、被災者が下屋（木製の梁に塩化ビニール製波板が葺いてあるもの）の梁上を移動していたところ、梁が折れて波板を踏み抜き、地上2.8m下のコンクリート上に墜落した。	30202	9	1～ 9
2006	4	9	～	10	スレート屋根とスレート屋根の間に設けられたステンレス製の谷樋に溜まったゴミを除去するため、幅約64センチの谷樋上に上がっていたところ、谷樋に接するスレート屋根を踏み抜き約6.7メートル下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2006	4	11	～	12	木造一部2階建家屋の屋根瓦葺替工事現場において、被災者ほか2名で屋根瓦の葺替作業を行っていたところ、被災者が2階の屋根上から1階の屋根上に墜落し、さらに1階の屋根上からコンクリート製の地面上に墜落した。被災者が墜落した2階の屋根上から地面までの高さは3.9メートルであった。	30209	1	10 ～ 29
2006	4	13	～	14	瓦葺き替え工事現場において、瓦葺き作業を行っていた被災者が軒先瓦に足を乗せた時、滑って約3.3m下の地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2006	4	16	～	17	個人住宅の新築に際して旧家屋の木造平屋建ての建物の解体作業時に、屋根上で作業中、屋根の端から約3.5m下のコンクリート面に墜落した。	30209	1	1～ 9

2006	4	16 ～ 17	被災者は、民家の屋根上にソーラーパネルを設置する作業を行っていたが、当該パネル設置完了後、施工状況の確認のため、屋根上を移動していたところ、高さ約7.35メートル（傾斜角30度）の屋根から地面に墜落した。	80409	1	100 ～ 299
2006	3	13 ～ 14	スレート屋根の上に波板の鉄板を葺く作業中、屋根上に仮置きしていた鉄板が強風にあおられ、被災者に当たり、バランスを崩した被災者がスレートを踏み抜いて約9.3m下に墜落した。	30201	1	1～ 9
2006	2	14 ～ 15	スレート屋根の改修工事の見積を行っていた被災者が、スレート屋根上に上がり、写真撮影をしようとしたところ、当該スレートを踏み抜き、墜落した。	30209	1	50 ～ 99
2006	2	14 ～ 15	木造2階建て集合住宅の屋根の補修工事中、屋根から5メートル91センチメートル下の舗装道路上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2006	2	10 ～ 11	発電所において、取水ゲート巻上機室の屋根に積もった雪のせり出し部分（雪庇）を取り除く作業を4名で行っていた。作業員4名のうち被災者1人が屋根下のベランダ部分で作業を行い、他の3名が屋根の上で作業を行っていたところ、被災者が落下してきた雪庇の下敷きとなった。	30199	4	1～ 9
2006	2	16 ～ 17	木造平屋建の倉庫新築工事において、瓦葺作業を行っていた被災者が、高さ2.1メートルの屋根の端から墜落した。	30202	1	1～ 9
2006	1	8 ～ 9	卸売業者の資材倉庫の屋根の雪下ろし作業を行うに当たり、被災者は同僚1名と共に当該倉庫出入口の下屋にはしごで登り、雪べらを用いて雪庇（屋根からせり出している雪）を落とす作業を行っていたところ、下屋に雪庇が崩れ落ち、当該雪庇に押し出される状況となって高さ5.18mの下屋から地面に墜落した。被災者はヘルメット着用していたが、墜落時は脱げた状態。	30199	1	30 ～ 49
		14	養豚場の豚舎の屋根除雪作業（積雪量約30～50cm）において作業			10

2006	1	～ 15	実施後、屋根反対側の積雪量確認のため屋根上を移動中、硬質塩化ビニル（ガラス網入り）波板（豚舎内への採光用に設置したもの）を踏み抜き、高さ5.8mより豚舎内に墜落した。	70101	1	～ 29
2005	5	～ 16	民家の屋根瓦葺替え工事現場において、屋根に上げていた瓦を屋根上で移動させていたところ、バランスを崩し、高さ4mの屋根の軒先から下のアスファルト路面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	6	～ 16	鉄骨構造の2階建て社屋建設のため、移動式クレーンを使用して鉄骨の組立て作業中、2階の梁の上で作業していた被災者が玉外しをした後、3m下の地上に墜落した。	11209	1	10 ～ 29
2005	2	～ 15	木造家屋新築工事現場において、高さ3.5mの梁の上で屋根部のたる木の取付け作業を行っていた際、住宅基礎部のコンクリート面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2005	11	～ 12	木造建築の解体工事において、高さ4mの屋根の上で、瓦をトラックの荷台に投げ下ろす作業中、バランスを崩し、瓦とともに地上に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2005	2	9 ～ 10	牛舎建築工事現場において作業中、横桁を入れようとしていたところ、合掌部分から4m下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2005	12	～ 12	スレート屋根の補強作業中、スレートを踏み抜き、8m下の床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	10	8 ～ 9	鉄骨平屋建ての倉庫解体工事現場において、高さ6mの屋根のスレートを踏み抜き、倉庫の土間に墜落した。	30201	1	1～ 9
2005	2	～ 14	倉庫のスレート屋根上において、屋根補修作業をしていたところ、スレートを踏み抜き、5m下のコンクリート床上に墜落した。	30209	1	10 ～ 29

2005	3	15 ～ 16	屋根スレート補修作業後、屋根上を移動していたところ高さ17mの屋根を踏み抜き、倉庫内に墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	9	10 ～ 11	ケーブル配線工事を行う際に、建屋の屋根上を移動していたところ、スレート屋根を踏み抜いて、7m下のコンクリート床上に転落した。	30301	1	1～ 9
2005	5	7 ～ 8	角材足場の組立に用いる番線を取りに行くための移動中、道路に面した箇所から4m下の道路上へ墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	2	15 ～ 16	民家新築工事において、高さ6mの2階梁から墜落した。	30202	1	1～ 9
2005	4	9 ～ 10	鉄骨造倉庫新築作業現場において、瓦ふき作業中に高さ4mのひさし屋根上から墜落した。	30201	1	1～ 9
2005	3	16 ～ 17	スレート屋根上で作業床等の組立作業中、スレートを踏み抜き、16m墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	9	9 ～ 10	木造平屋建て倉庫の解体工事中、スレート屋根の上を移動していたところスレート屋根を踏み抜き、6m下のコンクリート床に墜落した。	30202	1	50 ～ 99
2005	1	9 ～ 10	屋根瓦の葺替え作業中、地上高さ9mの屋根上から墜落した。	30202	1	1～ 9
2005	3	14 ～ 15	倉庫のスレート製の屋根の雨漏り箇所の修理作業において、スレートを踏み抜き、13m下のコンクリート土間に墜落した。	30209	1	1～ 9

2005	2	14 ～ 15	屋根に太陽光システムを設置するに当たり、屋根寸法を測るため納屋の軒に木製のはしごをかけてスレート屋根に上がったところ、スレートを踏み抜き、3m下のコンクリート床に墜落した。	80109	1	～ 29	10
2005	9	11 ～ 12	屋根葺替工事において、屋根上で葺替え用の瓦を運んでいる時、軒先から4m下の地面に墜落した。	30202	1	～ 99	50
2005	8	11 ～ 12	屋上看板の塗装作業のために、作業箇所へ向かう途中で採光用のガラスファイバー製波板上に足を踏み込んだ際、その部分が抜け落ち、5m下のコンクリートへ転落した。	11301	1	～ 29	10
2005	11	11 ～ 12	外壁改修工事現場において、工場の屋根を通路として歩行中、屋根の明かり取りのFRP製の屋根を踏み抜き、9m墜落した。	30209	1	1～ 9	9
2005	12	14 ～ 15	増改築工事現場において、鉄骨組立て作業中にボルトの本締めを行っている際、5mの高さから墜落した。	30201	1	1～ 9	9
2005	9	9 ～ 10	商店街アーケード屋根上において、屋根の桁上に渡した歩み板の上で、屋根材である板ガラスの取付け金具を塗装中にガラスを踏み抜き、8m下に墜落した。	30309	1	～ 29	10
2005	2	13 ～ 14	鉄骨造2階建て建物の屋根板の下地づくりを完了した後、次の作業をするため地上に下りようとしたところ屋根から、墜落した。	30203	1	1～ 9	9
2005	7	9 ～ 10	木造2階建民間家屋の1階屋根に設置されたエアコンの室外機の撤去作業中、屋根（高さ4m）から墜落した。	80209	1	1～ 9	9
2005	11	15 ～ 16	住宅新築工事現場において、屋根瓦の運搬作業を行っていたところ、高さ3.9mの軒から地上に墜落した。	30201	1	1～ 9	9

2005	3	0 ～ 1	鉄骨2階建住宅工事現場において、梁の上で寸法を図る作業中に高さ3.2mの梁の上から転落した。	30201	1	1～ 9
2005	10	0 ～ 1	倉庫の屋根上（高さ6m）にて、屋根のペンキ塗りを行っていたところ墜落した。	80204	1	1～ 9
2005	6	11 ～ 12	平屋建て住宅新築工事において、屋根じまいの作業をしていたところ、高さ3.5mの桁上からコンクリート基礎部に墜落した。	30202	1	1～ 9
2005	12	10 ～ 11	木造新築工事現場において、屋根の上で作業中、足を踏み外して、6.4m下の基礎コンクリートに墜落した。	30202	1	1～ 9
2005	11	9 ～ 10	住宅の屋根、外壁塗替え工事において、屋根の上に立ち高圧水洗浄を行っていたところ、屋根の軒先から6.3m下の駐車場アスファルト上に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2005	3	13 ～ 14	自社所有の資材置き場内で自社の資材を利用した倉庫を建てる作業で、屋根の下地となる杉板を打ち付ける作業を高さ5.7mの鉄骨屋根梁上で行っていたところ、既に取り付け終えた下地板の端から地上においてあった塩ビ管の束の上に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2005	8	9 ～ 10	屋根改修工事において、屋根材のタキロンとスレートをはがす作業中、スレートの下の胴縁がないところに足をついたところ、スレートを踏み抜き、15.2m下のコンクリート床面に墜落した。	30209	9	1～ 9
2005	11	14 ～ 15	木造家屋新築工事現場において建方作業中、高さ3.8mの梁からコンクリート基礎上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2005	4	9 ～	高さ4.7mの屋根上にて瓦吹き替え作業で、しゃがみ込んだところ、バランスを崩し墜落した。	30209	1	1～ 9

		10				
2005	4	10 ～ 11	工場屋根を直す作業において、屋根の一部に葺かれていたスレート部分を踏み抜き、7m下の土間コンクリートに墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	8	8 ～ 9	化学工場のプラント解体工事において、プラントに隣接した配管上から9.5m下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	2	18 ～ 19	マンション新築工事現場で、鉄骨梁を移動中に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2005	3	8 ～ 9	工事記録の写真の撮影を行うため、高さ3.8mの2階鉄骨梁上を移動中、鉄骨梁から1階へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2005	6	14 ～ 15	個人住宅の建築工事において、高さ3.4mの梁上で作業していた被災者が足を踏み外し墜落した。	30202	1	1～ 9
2005	5	13 ～ 14	木造新築工事において、垂木の取付け作業のため、はしごを使用して屋根の梁に上り、移動中、3.4m下のコンクリート基礎に墜落した。	30202	1	1～ 9
2005	4	14 ～ 15	水道管の保温材取付け作業中、誤ってスレート屋根を踏み抜き、5.3m下に墜落した。	30309	1	1～ 9
2005	5	8 ～ 9	工場建物のスレート葺き屋根上において、一部スレート交換のため既存のスレートを取り外す作業を行っていたところ、既存のスレートを踏み抜き、10m下のコンクリート舗装された建屋内の地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	8	15 ～	解体作業で、スレート屋根に上って、スレートを剥がす作業を行っていたところ、開口部から4m下に墜落した。	30201	1	1～ 9

		16				
2005	12	10 ～ 11	木造2階建ての民家において、2階の窓枠を交換するため、屋根の上で脚立に乗り、戸袋を外す作業中、バランスを崩して地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2005	1	16 ～ 17	住宅増築現場の上棟式の準備で梁上に上って作業中、梁上から3.5m下のコンクリート土間に転落した。	80409	1	1～ 9
2005	2	17 ～ 18	建屋の破損したスレート屋根のふき替え工事において屋根上を移動中、棟を越えた場所でスレート屋根を踏み抜き、8m下のコンクリート床に転落した。	30302	1	10 ～ 29
2005	10	11 ～ 12	屋根の張替え作業で、プラスチック製の波板を屋根に設置中、古い波板を踏み抜き、5m下のコンクリート面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	5	9 ～ 10	スレート屋根の雨どいにたまった枯葉を取り除く作業中、スレート屋根を踏み抜き、8m下のコンクリート床に墜落した。	40301	1	10 ～ 29
2005	3	13 ～ 14	プール脇の更衣室の屋根（高さ3.5m）上において、下地材をはけにより塗布する作業中、コンクリート地面に落下した。	30309	1	1～ 9
2005	1	11 ～ 12	全面ガラス張りの建屋の屋根を清掃中、ガラス板を踏み抜き、5m墜落した。	30209	1	30 ～ 49
2005	11	10 ～ 11	木造住宅兼店舗の新築工事現場で組まれた天びん梁等の取付け作業を、梁上で行っていたところ、つり具を外すために梁上を移動した被災者が、梁を踏み外して4m下のコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9
2005	7	8 ～	2階屋根のもやの歪みを修正するために、もやを押し広げていたところ、墜落した。	30202	1	1～ 9

		9				
2005	1	11 ～ 12	トタン屋根の軒先にできた氷柱を除去するため、屋根に上り、頭上の氷柱を棒で落とそうとした時、屋根面で足を滑らせ、7m下の道路に墜落した。	140101	1	30 ～ 49
2005	1	10 ～ 11	木造2階建ての寮の解体工事において、屋根瓦撤去作業中、高さ7mの屋根から地面に転落した。	30202	1	10 ～ 29
2005	2	17 ～ 18	住宅の屋根に設置された融雪装置の点検作業をした後、雪下ろしを行っていて屋根から墜落した。	30309	1	1～ 9
2005	9	11 ～ 12	梁につなぎ材をはめ込む作業を高さ3mの梁の上で中腰で行っていたところ、つなぎ材が入らないことから両側をかけやで叩いて入れようとした際に、つなぎ材が外れて落下したため、バランスを崩した被災者が墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2004	1	15 ～ 16	お寺の納骨堂新築工事のため、本堂と渡り廊下でつながっている家屋を解体する作業において、渡り廊下の途中を切断するため、渡り廊下の屋根に上り軒げたをのこぎりで切っているとき約3m下の地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2004	11	15 ～ 16	台風でスレート葺き鉄骨造平屋の工場の棟のスレートが破損したため、応急措置として破損部分周辺に足場板を並べてブルーシートを乗せ、木材で挟み、釘止めする作業中、スレートを踏み割り、約8m下の地上に墜落した。	30199	1	30 ～ 49
2004	7	9 ～ 10	高さ約9mの工場屋根上で、火気養生用のシートをたたむ際、養生シート端を手に持ち後退したところ、明り取り用の波板を踏み抜き、工場内の床へ墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2004	11	13 ～	木造2階建建築工事において、1階の柱を立て、桁等を取り付けた状態で、墜落防止措置がないまま、桁上に置かれた火打ち（直交する水平部	30202	1	10 ～

		14	材を補強する斜め材) を配る作業を行っていた被災者が約3.6m下のコンクリート基礎部分に墜落した。			29
2004	9	10 ～ 11	屋根修繕工事において、瓦屋根の手前にある車庫のスレート屋根上にたまった砂の清掃作業をしていたところ、スレート屋根を踏み抜き、高さ約3m下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2004	6	11 ～ 12	工場の屋上に設置されている雨樋の清掃作業を行っている際に、約9m下の地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2004	3	9 ～ 10	民家の屋根の塗装工事において、2階屋根上にて一人で塗装作業をしていた被災者が、約6.5m下の地面に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2004	12	10 ～ 11	スレート屋根の台風による補修工事において、スレート屋根張替えを行っていたところ、スレート屋根を踏み抜き高さ、8.87m下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2004	10	14 ～ 15	台風被害による工場スレート屋根の補修作業のため、屋根上にて親綱張り作業中、ワイヤロープが不足したので、仮置きしていたワイヤロープを取りに行き、肩に担いで作業場所へ戻ろうとしたところ、スレート屋根を踏み抜き、12.5mの高さから工場床面に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2004	5	9 ～ 10	工場のスレート屋根上において、スレート屋根の補修個所の寸法取り作業中、スレート屋根を踏み抜き、工場内の精米機に激突し、約8.5m下のコンクリート床上に墜落した。	30209	9	1～ 9
2004	7	0 ～ 1	民家改修工事において、屋根上の換気口の掃除を行っていたところ、足を滑らせ約7m下の地上に転落した。	30202	1	1～ 9
2004	9	0 ～ 1	台風に備え、シートの掛け直し作業を行った後に屋根から地上に降りようと移動していた際に足を滑らせて、墜落した。	30209	1	10 ～ 29

2004	11	11 ～ 12	工場屋根葺き替え工事において、スレート屋根の撤去作業中、屋根の明り取りとして設けられていたガラス繊維製の板を踏み抜き、約7m下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2004	9	8 ～ 9	木造2階建ての店舗新築工事において、2階部分の作業床の組み立て作業の際、桁の上で足場板を並べる作業に取り掛かったとき、足が滑り下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2004	10	10 ～ 11	集荷場において、被災者は台風により破損したスレート屋根の補修見積りをするため、屋根上で、道板と単管を屋根に上げて安全通路を確保する作業をしていたところ、スレートを踏み抜いて墜落した。	30201	1	1～ 9
2004	7	14 ～ 15	2階建て木造家屋の新築現場において、2階天井部分のはりに登って棟上げの作業をしていたところ、被災者がはりを移動中に固定されていないもやに体重をかけ、バランスを崩して、いったん1階天井のはりに墜落してからさらに1階土台まで墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	8	14 ～ 15	修理した木工機械（チップパー）を設置した後、機械搬出入のため外していた屋根（スレート・鉄板）を元に戻そうと屋根の上に乗る、作業を行っていたところ、スレート製の屋根を踏み抜いて約6.1m下の地面に墜落した。	11301	1	1～ 9
2004	9	0 ～ 1	屋上防水補修工事において、3階建て建屋の屋上で、清掃、片付け等の雑役作業を行っていたところ、屋上の端から地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2004	8	15 ～ 16	鉄筋コンクリート造建築工事にかかる玄関ポーチひさしの鉄骨組立作業中において、ひさし鉄骨の水平出しのため、ホイールクレーン（10t）で鉄骨梁先の先端部をつり上げ、パイプサポートで支持作業中、番線で仮固定されていた溝形鋼（長さ10m、約350kg）が落下し、被災者に当たった。	30201	4	10 ～ 29
2004	9	10 ～ 11	工場のスレート屋根に天井換気扇を取り付ける工事において、歩み板の撤去を終え、屋根の頂上に向かって歩いていたところ、スレートが割れて高さ約13m下の工場内に墜落した。	30302	1	10 ～ 29

2004	9	9	台風により破損した工場屋根の補修工事において、スレート屋根上で、破損したスレートの破片を回収していたところ、スレートを踏み抜き、高さ約9mの屋根上より、工場床上（コンクリート上）に墜落した。	30209	1	1～9
2004	10	11～12	工場のスレート屋根の補修を行っていたところ、スレート屋根を踏み抜き4m下のコンクリート土間に墜落した。	10902	1	50～99
2004	7	13～14	工場のスレート屋根の雨漏り補修作業を行っていたところ、スレートを踏抜き、約6m墜落した。	30209	1	1～9
2004	9	8～9	台風により吹き飛んだ工場屋根の波形スレート（セメント製）および明り取りのための波形スレート（塩化ビニール製）を取り替える作業中、材料を取りに行くために屋根上を移動していた被災者が明り取りスレートを踏み抜き、約14.4m下の床面に墜落した。	30201	1	10～29
2004	11	11～12	台風被害による工場屋根の補修工事のため、高さ11.5mの屋根上で作業を行っていたところ、スレートを踏み抜き、工場内のコンクリート床に墜落した。	30209	1	10～29
2004	9	13～14	木造家屋解体工事現場において、駐車スペースの内部の鳥居状の鉄骨が倒れ、被災者を強打した。	170209	5	1～9
2004	9	9～10	台風被害による屋根の補修工事（小規模の穴や亀裂等を確認しながらコーキング材等を用いて補修を行っていく作業）を高さ約12mの屋根上で行っていたところ、コンクリート製スレート板を踏み抜き、工場内のコンクリート床に墜落した。	30209	1	10～29
2004	3	0～1	瓦のふき替えに際して、野地板等の点検のため軒高約3mの屋根に上がっていたところ、地面に墜落した。	30202	1	1～9
		16	屋根改修工事現場において、高さ3.3mの屋根上で野地板の貼り付け作業			1～

2004	8	～ 17	を行っていたところ、コンクリート地面に墜落した。	30202	1	9
2004	1	～ 12	11 屋根葺き替え工事現場のスレート屋根において、屋根葺き替え工事に 伴って出た土やゴミを清掃作業中、スレート屋根を踏み抜いて、墜落し た。	30209	1	1～ 9
2004	9	～ 16	15 屋根葺き替え工事中、コンクリートの土間に転落した。	30202	1	1～ 9
2004	8	～ 12	11 住宅の2階屋根塗装工事中、塗料で足が滑り高さ約8mの軒先から墜落、 隣家との境界に有るブロック塀頂部に激突した。	30202	1	1～ 9
2004	9	～ 15	14 台風による工場建屋の屋根等破損箇所復旧工事において、スレート屋根 補修材料を取りに行くため隣接建屋のトタン葺き屋根上を歩行中、樹脂 製波板の明り採り部に乗ったために当該波板が割れ、約8m下の工場床 に墜落した。	170209	1	1～ 9
2004	11	～ 14	13 鉄骨造平屋倉庫を解体作業中、解体中の屋根の状況を確認するために屋 根上に上がった被災者が、屋根断熱材として葺かれていた木毛板を踏み 抜き、高さ約4mの位置から墜落した。	30209	1	1～ 9
2004	9	～ 17	16 屋根の雨漏り防止用の養生措置作業において、高所作業車に戻ろうとし た途中、スレート屋根を踏み抜き、直下の工場床面へ約11m墜落した。	30209	1	1～ 9
2004	10	～ 11	10 台風で破損したサイロ棟屋根の改修工事中の屋根上へ立ち上がった際、硬 質木片セメント板を踏み抜き、約5m下のサイロ棟7階床上へ墜落した。	80401	1	10 ～ 29
2004	10	～ 10	9 工場屋根を補修するために屋根上に上がっていてスレート板を踏み抜 き、約11m下の工場床上に置いてあった金属くず入れの上に墜落した。	30209	1	1～ 9

2004	8	11 ～ 12	自動車販売会社の建屋改修工事において、足場組立業者の手元作業をしていたところ、バランスを崩して2階屋根から約8m墜落した。	30209	1	1～ 9
2004	4	10 ～ 11	老人ホーム新築工事で、塔屋部の鉄骨梁にまたがって梁の本締め作業を行っていたところ、バランスを崩して約11m下の地上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2004	4	11 ～ 12	鉄骨2階デッキプレート敷き込み作業において、デッキプレートを取りに行くため大梁から小梁へ移動する際バランスを崩し、5m下の地中梁に墜落した。	30201	1	1～ 9
2004	10	13 ～ 14	台風で破損した工場の屋根を修理するため、屋根の上で補修作業を行っていたところ、屋根（防水シート、防水ゴム、ベニヤ板の3層構造）を踏み抜き、約7.5m下のコンクリート床に墜落した。	11209	1	1～ 9
2004	2	14 ～ 15	太陽熱温水器（ソーラーパネル）の取替え工事で、屋根に設置してある古い温水器を取り外し、屋根の棟に乗せたところ、その弾みでソーラーパネルのガラスが割れ、そのまま前かがみの姿勢で屋根を滑り落ちアスファルトの地面に墜落した。	30302	1	1～ 9
2004	8	14 ～ 15	住宅の2階のひさしの裏地張替え作業中転落した。	30202	1	1～ 9
2004	7	9 ～ 10	住宅解体工事作業中、足場のテラスから約3m下の地面に転落し、クーラー室外機に激突した。	170209	1	1～ 9
2004	10	8 ～ 9	2階木造建築物の解体作業中、玄関屋根上において前日取り外したカラーベスト（屋根材）の断片をフレコンバックに入れて、重機を使用して1階屋根上から下ろす作業に従事していた被災者が、屋根の上でフレコンバックの紐を重機のフックに引っ掛け、地切りをするまでその荷を手で支えていたところ、バランスを崩して屋根上で転倒し、そのまま高さ約3.3m下に墜落した。	170209	1	10 ～ 29

2004	9	9 ～ 10	5階建てマンションの屋上で、防水シートの張り替えを行う工事を行っていたところ、約15m下の駐車場に墜落した。	30203	1	1～ 9
2004	3	16 ～ 17	木造住宅建築工事（2階建）現場において、建前作業後、コンパネ材を取付ける準備をしていた被災者が、高さ約6mの2階部分の軒桁の上から墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	9	16 ～ 17	鉄骨建て方現場において、高さ約8mの梁（幅10cm）の上で、長さ約4mのC型チャンネルを両手で持って運んでいる時、バランスを崩し、墜落した。	30201	1	1～ 9
2004	3	10 ～ 11	組立工場エレメント置場のスレート葺屋根で、雨漏りの修繕作業終了後、屋根を移動しているときに、明り取り用に設けた塩化ビニール製の板を踏み抜き、約5mの高さから墜落した。	11209	1	100 ～ 299
2004	8	19 ～ 20	倉庫の雨漏りの修理のため、倉庫の屋根に上り、波板鉄板の取替え作業終了後、屋根からはしごを使用し順番に降りているとき、屋根上でよろけ、屋根の端から5.4m墜落した。	140301	1	10 ～ 29
2004	9	9 ～ 10	木造2階建て住宅新築工事現場において、被災者は高さ6.85mの個所に取付けられた母屋（幅9cm）または梁（幅12cm）を足場にして2階天井部に仮置きされていた垂木を移動する作業を行っていたところ、コンクリートが打設された土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	5	15 ～ 16	建方作業で、つなぎを設置するための敷きばりのほぞ穴の位置が約25cmずれていたため、高さ3.6mの敷きばり（幅12cm）の上で、正しい位置にほぞ穴を掘る作業中にバランスを崩してベタ基礎（コンクリートの土間）に墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	7	10 ～ 11	工場の搬出口にある張り出し屋根の解体工事において、屋根の雨どいを手持ち式グラインダーで切断解体中、ローリングタワーから屋根の上に移り、2mほど切断したところで高さ5.5mの屋根の上から墜落した。	30201	1	10 ～ 29
		0	倉庫新築工事現場において、被災者が建物の柱に立てかけられていた合			

2004	11	～ 1	掌と呼ばれる屋根の部材に、玉掛け用のベルトスリングを取り付ける準備をしようと近づいたところ、突風により合掌が被災者側に倒れ、下敷きとなった。	30202	5	1～ 9
2004	11	～ 14	高床式2階の木造家屋の新築工事において、2階小屋組みの建方作業を行うために上がっていた小屋梁から、約6.5m下のコンクリート造基礎の階段部分に墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	5	9 ～ 10	木造家屋住宅の瓦吹き替え工事にて、瓦をはがしている際、高さ6.3mの屋根から墜落し、隣接した民家との境界基礎の上に落ちた。	30202	1	10 ～ 29
2004	11	～ 9	スレートでふかれた工場の屋根に同僚と2人で上がり、屋根上の苔等を除去する作業を行っていたところ、スレートを踏み抜き9.5m下のコンクリート床面に墜落した。	150102	1	10 ～ 29
2004	3	8 ～ 9	アパート塗装工事現場において、屋根面の塗装を開始するため頂上部に上がったところ、屋根上を滑落し、軒から道路上に約10m墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	10	11 ～ 12	平屋倉庫の屋根スレートの上に新しくトタン屋根を設置する工事中、スレートを踏み抜き、約5m下方の床に墜落した。	30201	1	1～ 9
2004	9	10 ～ 11	ごみ集積場の屋根の雨どいにたまった枯葉を取り除くため、トラックの荷台にはしごを設置して屋根に上り、屋根上を歩いていたところ、屋根材料（採光用に設置していたポリカーボネート材質）を踏み抜いて約6.4m下の床面に墜落した。	170209	1	100 ～ 299
2004	3	～ 18	個人住宅のリフォーム工事において、2階部分の内装工事を行っていたが、業務が終了し、地上へ下りようと2階の窓からひさしへ出たときバランスを崩し墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	1	15 ～	作業構台の下にある配管（仮設トイレ下水管）を撤去する作業を行うため、構台から階段を通り地面に降りる途中で階段の手すりを乗り越え	30110	1	30 ～

		16	1.26m離れた高さ4.32mの梁（H鋼）に飛び移った後、梁上を移動中にバランスを崩し墜落した。			49
2004	3	10 ～ 11	木造2階建住宅新築工事現場において、瓦工事を行っていた被災者が休憩するため、屋根から足場を通って地上に下りる際、屋根端から5m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	2	10 ～ 11	木造3階建住宅新築工事の建方作業において、高さ5.6mの3階床組の梁上で作業していて地上まで墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	6	14 ～ 15	墨出し等の作業のため、2階床部分に作業床として仮置きしてあったコンパネ、垂木等の片付け作業中に、高さ3.15m下のコンクリートべた基礎部に墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	8	14 ～ 15	工場内において、3名で2階屋根下のダクトのガイド取り付け作業中、1階屋根を歩行している時、スレート屋根を踏み抜いて約3m下へ墜落した。	11209	9	1～ 9
2004	8	11 ～ 12	住宅のエアコン取付工事において、下屋の屋根で室外機の配管に真空ポンプを接続するために接続部のボルトをスパナで緩めていたところ、下屋の屋根から地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2004	11	9 ～ 10	屋根の雨漏りの補修作業を行っていたところ、屋根から約5.5m下の地面に転落した。	30202	1	0
2004	7	13 ～ 14	倉庫兼住宅の解体工事中、1階倉庫の2階床梁を解体するため梁の東端をガス溶断により一部を残して切断後、ついで西端を切断したところ、突然東端の切り残してあった部分が自重により破断し、梁の東端が下方に落下、梁の下で廃材の整理をしていた被災者が梁の下敷きとなった。	30209	4	1～ 9
2004	10	9 ～ 10	強風の影響で破損したテント倉庫の修理に先立ち、破損状況調査および見積り等のために同倉庫の屋根上に上がり調査を行っていたところ、足元のシートが裂け、アスファルト敷きの床の上に墜落した。	10309	1	10 ～ 29

2004	10	9 ～ 10	工場内の部品倉庫で雨漏れ対策のビニールシートを撤去し、改めてブルーシートを張る作業において、スレート屋根の梁上（ボルトの出ている場所）を移動中、屋根の明かり取り部分から、約8m下の倉庫内（コンクリート床）に転落した。	30209	1	1～ 9
2004	3	11 ～ 12	木造家屋新築工事現場で、高さ3.5mの2階床下地作業中に土間コンクリート上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	10	13 ～ 14	木造住宅建築工事において、1階の梁の上で2階床の根太の墨出し作業中、バランスを崩しコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	4	16 ～ 17	母屋上でたる木の取付作業中、たる木の長さを調整するため携帯用丸のこ盤を取ろうとした際、バランスを崩して5.3m下の土間コンクリート部分に墜落、被災した。	30202	1	1～ 9
2004	10	9 ～ 10	製罐工場の屋根上に、地上から移動式クレーンを使用して資材を荷揚げ作業中、屋根（スレート製）を踏み抜いて10m下の床面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2004	1	10 ～ 11	桁の組み立て作業において、移動式クレーンにより桁材をロープにくくりつり上げ、移動させていた時、据え付け済みの桁上においてつり上げた桁を誘導し支えていた被災者に、つり上げていた桁が当たり、バランスをくずし墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	12	15 ～ 16	木造平屋建て新築工事現場において、玄関屋根の、防水用シート（1mのロール）を大型のステープラーで貼る作業中、約4m下のコンクリート土間へ墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	5	13 ～ 14	メッキ工場で、屋根上に設置された換気扇の取替え工事を行っていたところ、スレート屋根を踏み抜き、約9m墜落した。	30301	1	1～ 9
		15	工場新築工事現場の鉄骨組み立て作業中に、高所作業車に乗り、梁上の			1～

2004	7	～	親綱張り作業を行っていたところ、スタクションが外れ、梁上から約	30201	1	9
	16		9m下の地面に墜落した。			
2004	12	～	木造2階建アパートの屋根・外壁改修工事において、屋根ふき作業中、	30202	1	1～
	9		場所を移動しようとして立ち上がったところ足を滑らせ、約6m下に墜			9
			落した。			
2004	6	～	軽量鉄骨2階建ての建物の2階の床を張る作業を行っていたところ、高	130301	1	1～
	10		さ約4mの梁の上から墜落した。			9
2004	8	～	接近している台風の被害を防ぐため、事務所の屋根をロープで固定する	11209	1	1～
	7		作業を行っていたところ、高さ約3mの屋根上から地面の鉄板上に墜落			9
			した。			
2004	4	～	病院の改修工事において、袋詰めされた石膏ボードをトラックの荷台に	30201	1	1～
	9		積み込む作業中、屋上の端から袋ごと墜落した。			9
2004	9	～	強風ではがれた車庫の屋根を、吹き飛ばないように切断し固定する作業	30202	1	10
	15		を行っていたところ、強風でバランスを失い、約5m下の地面に墜落し			～
			た。			29
2003	12	～	木造住宅の新築工事において、1階屋根部分の母屋組みのため桁上で梁	30202	1	1～
	16		材（長さ3m）を回転させていたときに、バランスを崩して約4m下の1			9
			階土間コンクリートに墜落した。			
2003	12	～	木造2階建住宅建築工事で、2階天井の梁上で木槌を用いて梁材の打ち込	30202	1	1～
	18		み作業をしているときに、約6.6m下のコンクリート床に墜落した。			9
2003	12	～	塗装工場のスレート葺き屋根からの雨漏れ防止作業で、ビニールシート	11409	1	30
	14		を掛け終わってもどる途中、スレート葺きの屋根を踏み抜いて約8.8m下			～
			のコンクリート床面に激突した。			49
			11 倉庫解体作業で、同僚3名とともに屋根材（スレート材および木毛板の2			10

2003	11	～	重構造)の撤去作業を行っていたときに、木毛板を踏み抜いて高さ	30201	1	～
		12	5.33mのところから墜落した。			29
2003	11	～	煙道排気ガスの成分測定のため工場の屋根に登って煙突に向かうとき	170209	1	100
		10	に、あらかじめ設けられていた回廊を通らず近道をして採光窓を踏み抜			～
			き12m下に転落した。			299
2003	11	～	木造建築屋根の解体作業で、高さ4.73mの母屋上(幅150mm)にいた移	30202	1	10
		10	動式クレーンの合図者が高さ5.42mの梁上(幅150mm)に移動している			～
			ときに、梁からコンクリート床に墜落した。			29
2003	11	～	造船所の仮設作業場において、造船中の船(19t)の塗装作業が終了し	11501	1	10
		13	たので進水のために同作業場を解体することになり、2名で高さ5.1mの			～
		14	個所に掛け渡した梁上でコンパネを外す作業を行っていたときに、梁が			29
			外れ落ちて作業中の2名が地上に墜落し、1名が死亡した。			
2003	11	～	製材機から排出される切りくずをサイロに搬送する塩ビパイプが破損し	10401	1	1～
		11	たため、3名が工場屋根に上って交換作業を行い、2名で塩ビパイプを番			9
		12	線で固定作業を行い1名が工場屋根を北へ40m移動したときに、スレー			
			ト屋根を踏み抜いて約7m下のコンクリート床に墜落した。			
2003	11	～	木造軸組み工法2階建住宅の新築工事において、下屋の断熱材を敷き込	30202	9	1～
		16	んでいたときに、トップライト部分の開口部を踏み抜いて約4.4m下のベ			9
		17	タ基礎の上に墜落した。			
2003	10	～	堆肥舎(平屋)新築工事で、屋根の鉄骨部の組立を終えて屋根垂木(長	30201	1	1～
		10	さ2m11cm)を掛け渡していたときに、バランスを崩して約9m下のコ			9
		11	ンクリート床に墜落した。			
2003	10	～	通信ケーブルの申し込みに応じるため、依頼者のビルの通信設備の事前	30301	1	30
		15	調査として塩ビ製波板屋根に登って撮影をしていたときに、屋根を踏み			～
		16	抜いて2.8m下のコンクリート床に墜落した。			49
2003	10	～	木造2階建屋根の防水塗装工事で、2階屋根部分で仕上げ塗りを行って	30202	1	50
		15	たときに、中塗り後で乾いていない部分で足を滑らせ、約6m下に墜落			～

		16	した。			99
2003	10	11	民家の瓦の葺き替え工事において、午前の休憩後、屋根上の土を土のう袋に詰めて地上に投棄する作業を行っていたときに、屋根から7.75m下の畑に墜落した。	30202	1	1～9
2003	10	8	木造2階建新築工事において、瓦葺き工2名で2階屋根の瓦葺き作業を行っていて、1名がバランスを崩して高さ6.45mの軒先から墜落した。	30202	1	1～9
2003	10	16	鉄骨平屋建の店舗建設工事において、鉄骨組み立てのため親綱の一端をスタンプンに取り付け、他端を持って幅約14cmの鉄骨梁上を移動しているときに、約6m下のコンクリート土間に墜落した。	30201	1	10～29
2003	10	14	鋼製屋根の仮葺き作業で、鋼製屋根材（長さ52m、質量327kg）を作業員24名で運搬していたときに、1名が梁上で足を滑らせて転倒し、屋根材を固定するため梁上に設置してあったタイトフレームで腹部を強打した。	30201	2	1～9
2003	10	10	倉庫の大屋根採光用波板張替工事において、平屋倉庫（高さ約7m）の棟部分の採光用波板を取替えているときに、誤って母屋のないところに	30209	1	1～9
		11	乗ったため体重の重みで石綿スレートが破れ地上に落下した。			
2003	10	14	既設の2階建共同住宅において、1階の屋根の改修作業中に足を滑らせ約3m下に墜落し頭部を強打した。	30202	1	1～9
2003	10	11	工場の屋根の上で切粉の清掃作業中に、明り採りの波板を踏み抜いて高さ6.8mの個所から墜落した。	10402	1	30～49
2003	9	13	木造2階建個人住宅の改築工事において、梁（幅10.5cm、長さ200cm）上で「つか」の上に「もや」（10.5cm×10.5cm×100cm）となるべき木材を接合する作業をしていたときに、足を踏み外して6m下の地面に墜落した。	30202	1	1～9
		14				

2003	9	15 ～ 16	農業用倉庫の建築工事で、鉄骨組立後に高さ8mの屋根部分の頂上部まで垂木に足をかけて登り、垂木を釘で鉄骨に固定する作業中にバランスを崩して墜落した。	30209	1	～ 29
2003	9	10 ～ 11	神社の葺き替えが終了した屋根（傾斜30度）上で、5枚1組に縛った「のし瓦」（棟の部分の瓦）を1組（約10kg）ずつ両手に持って屋根上を移動中に、バランスを崩して高さ約4mの屋根の端から墜落した。	30202	1	～ 29
2003	9	15 ～ 16	工場改修工事において、スレート屋根の塗装作業中にスレート屋根を踏み抜いて約5m下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2003	8	15 ～ 16	木造2階建の新築工事において、上棟後の柱の垂直度を確認するため、2階の梁上を移動していて3.6m下の基礎コンクリート上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	8	16 ～ 17	体育館の屋根（31m×51m）の解体作業で、解体した屋根材を屋根上に設けられた廃材置場に運搬しているときに、解体するためにカッターで切れ込みが入っていた個所に載ったため、屋根材を踏み抜いて約8.9m下の床に墜落した。	30201	1	1～ 9
2003	8	16 ～ 17	校舎屋根の雨漏り補修工事中に、ガラス張りの屋根が割れて約15m下の多目的ホールの床上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2003	8	11 ～ 12	木造2階建住宅新築工事において、2階床梁に根太を並べていて突然根太の上に仰向けに倒れたのち、そのまま2.8m下の1階床面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	8	15 ～ 16	住宅の車庫工事において、梁上（高さ約3m）で軒材の釘打ち作業を行っていたときに、バランスを崩して頭部からアスファルト舗装面に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2003	8	10 ～	工場の屋根上にある換気扇の清掃作業の事前確認のため、同僚とともに屋根上で写真撮影を行っていたときに、スレート葺の屋根を踏み抜いて	150101	1	1～ 9

		11	約8.5m下のコンクリート床へ墜落した。			
2003	8	10 ～ 11	2階建アパートの瓦葺き替え工事において、瓦の撤去したのち屋根上で屋根板を打っていたときに7mの高さから墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2003	8	11 ～ 12	3階建屋の屋上で、5mスケールを使って二人一組で長尺部を測量中20mmの高さのパラペットにつまずいて地面に墜落した。	30209	1	50 ～ 99
2003	8	15 ～ 16	スレート屋根の修理のため、2階屋根に登って作業をしようとしたときに、スレートを踏み抜き3.5m下に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2003	8	8 ～ 9	木造家屋建築現場において、垂木の取り付け作業中に約3.5m下のコンクリート床に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2003	8	14 ～ 15	農機具倉庫のトタン屋根の葺き替え工事で、既設のトタンをはぐ作業中に高さ約4.9mの屋根の端（軒先）から墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	7	11 ～ 12	倉庫屋根の雨漏り個所の補修で、スレート屋根に上り作業を行っていたときに、スレート屋根を踏み抜き7.2m下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	50 ～ 99
2003	7	14 ～ 15	オートテニス場3階のテント補修のため、テントの上に乗って補修作業中にテント布地を踏み抜いて3.4m下に墜落した。	30203	1	1～ 9
2003	7	16 ～ 17	倉庫屋根に鉄板を貼り付ける工事において、屋根の現状確認のため屋根に上ったときにスレート屋根を踏み抜き、約5.5m下へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2003	7	9 ～	電話交換機の移設に伴うケーブル配線工事において、スレート等で葺かれた屋根上で配線ルートの下見中に屋根を踏み抜いて墜落した。	30301	1	1～ 9

		10				
2003	7	15 ～ 16	地面から約6.7mの高さにある桁の上で梁を組む作業で、ロープをかけた重さ約53.5kgの梁を桁にある「ほぞ」にかませようとしたときに、バランスを崩して桁から墜落し、落下してきた梁に激突された。	30202	1	1～ 9
2003	7	15 ～ 16	木造平屋のきのこ栽培小屋新築工事において、小屋東に母屋を取り付けるため高さ4mの個所にある梁上を移動中に、バランスを崩して取り付け途中の母屋材とともにコンクリート土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	7	10 ～ 11	屋根の葺き替えのため、倉庫の屋根上（高さ約10m）でスレート板の取り外し作業中にスレート屋根を踏み抜き墜落した。	30201	1	1～ 9
2003	7	9 ～ 10	工場スレート屋根の雨漏りの修繕見積りのため、下請け業者1名とともに工場スレート屋根上を移動していたときに、スレート屋根を踏み抜いて約7.7m下のコンクリート土間に墜落した。	170209	1	1～ 9
2003	6	15 ～ 16	解体作業中の鉄骨の上で、2階柱のH鋼を切断して次の作業のため梁の上を移動中に、足を滑らせて2m下の1階のガラおよび鉄骨クズ上に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2003	6	9 ～ 10	サイロ建屋前のトラックのプラットホーム上を覆う金属トタン製屋根に取り付けられた雨どいの清掃・さび取り・さび止め塗装作業で、1階に置いてあったさび取りブラシ等の用具を取りに行くため3階部分の窓の方に移動中に、明かり窓（0.95m×0.95m、厚さ6mmのガラスはめ込み）の上に乗ったため窓が割れて高さ約8mのところから墜落した。	50201	1	30 ～ 49
2003	6	10 ～ 11	住宅工事において、南側1階部分の梁の上において垂木の設置作業を行っていたときに、高さ3.56mの位置からコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	5	13 ～ 14	物流センター外壁工事に伴う足場の組み立て作業中に、屋根の明かり採り用のビニール製のスレートを踏み抜いて約12m下の1階コンクリート床に墜落した。	30201	1	10 ～ 29

2003	5	10 ～ 11	木造平屋建築物（約60m ² 、軒高3.26m）の解体作業で、柱、屋根の取り付け作業を残した状態で休憩していたところ、建物が倒壊しその下敷きになった。	30309	5	1～ 9
2003	5	16 ～ 17	ペンションの屋根葺き替え作業で、作業終了間際の休憩中にトイレに行くために地上へ降りようとしたときに、屋根上で足を滑らせて転倒し、そのまま6m下の地上へ墜落した。	30209	1	1～ 9
2003	5	16 ～ 17	米の倉庫の新築工事において、屋根のベニヤ張り作業を行っていたときに、足を乗せていた垂木が折れたため墜落し、途中高さ4mの位置にあった鉄製通路に激突しさらに地面へと落下した。	30201	1	1～ 9
2003	5	13 ～ 14	2階屋根のたる木の取付けを行うため、たる木材料（5.5cm×6cm×2m）を持って幅12cmの桁の上を歩いていたときに、バランスを崩して約6m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	5	8 ～ 9	資材倉庫用のシートハウス（幅約18m、奥行き約38m、高さ約7.5m）のシートの張り替え工事で、高所作業車のバスケットから屋根部に登って換気扇の取外しを行っていたときに、古いシートが破れて7.5m下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2003	5	15 ～ 16	工場の屋根に設置したサイロに、木材を加工する際に発生するオガクズを集積したところ、サイロの調子が悪くてオガクズが吹き出すので屋根にたまったオガクズを清掃しているときに、スレート葺き屋根を踏み抜いて4m下のコンクリート床に墜落した。	10501	1	30 ～ 49
2003	5	11 ～ 12	下屋（延長8.2m、奥行2.7m）のベニヤ、野地板、たる木を撤去する作業で、高さ2.7mの軒先付近のたる木（建物端部から0.9m突出している個所）に足を載せて軒先のベニヤを撤去する作業中に、たる木が破壊したために2.7m下のコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	4	16 ～ 17	工場の屋根に設置されていた冷却用の散水用配管の撤去工事において、屋根上で取り外した配管を運搬中、明かり採りの天窗（網入りガラス）を踏み抜き、約7m下の工場コンクリート床に墜落した。	30203	1	1～ 9

2003	4	15 ～ 16	木造2階建住宅新築工事で、2階天井梁上に渡された幅24cmの足場板上から7.2m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	4	9 ～ 10	住宅の屋根葺き替えのため、2階大屋根上で屋根瓦を撤去していたところ、滑ってバランスを崩し約5.8m下の地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2003	4	11 ～ 12	挽粉小屋から煙が出ていたので、スレート屋根上で水を汲んだバケツを挽粉小屋の屋根上にいる同僚へ手渡していたときに、スレートを踏み抜いて約6m下のコンクリート床に墜落した。	10401	1	10 ～ 29
2003	3	9 ～ 10	住宅の新築工事において、棟上げ作業のため梁上において3.5m下のコンクリートの土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	3	15 ～ 16	木造2階建住宅建築工事で、高さ3.7mの2階梁（幅12cm）上で同僚と2人で「仕切り梁」の取付け作業を行っていたときに、コンクリート床に転落した。	30202	1	1～ 9
2003	3	9 ～ 10	公民館の屋根塗装工事において、屋根（長さ約21m、幅約42m、勾配約25度、鋼板横葺）の塗装作業中に、トイレに行くため屋根上を移動して足元を滑らせ、約8m下の地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2003	3	9 ～ 10	塗装工場のダクト排気口（高さ約7m）の排気ガス測定（サンプリング）で、大屋根（高さ約6m）に上がるため小屋根（高さ約3m）に登ったのち、大屋根に脚立をはしごとして掛けようとしたときに、バランスを崩し小屋根から墜落した。	170209	1	100 ～ 299
2003	3	13 ～ 14	屋根の張り替え工事で、既存の屋根板（幅60cm・長さ約13m）4枚を取り外して6名で屋根板を運搬中に、1名が屋根板を取り外したためにできた開口部（2.4×13m）から6.4m下の地面に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2003	3	17 ～	作業場の改修工事を行っていて、雨が降っていて滑りやすくなっていたため高さ約7.83mの屋根の上から墜落した。	30202	1	1～ 9

		18				
2003	3	15 ～ 16	2階建住宅の屋根瓦の補修作業で、2階屋根の上で瓦の下に漆喰を詰める作業をされていて、風にあおられ屋根の端から6.9mほど下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2003	2	11 ～ 12	民家のセメント瓦葺き屋根の改修工事において、一階屋根瓦の取り外し作業中に、軒高約3.6mの屋根上よりコンクリート庭上に墜落した。	30203	1	1～ 9
2003	1	17 ～ 18	養鶏農場内の雨漏りしている鶏舎の屋根（軒先高さ250cm、傾斜角度22度）にアクリル製の波板（長さ186cm、幅65cm）を張る補修作業で、屋根からはしごへ移っているときに、軒先が折れて約2.5m下の地面に墜落した。	70101	1	10 ～ 29
2003	1	11 ～ 12	屋根の雪下ろしのため、3名で屋根の上部から下部に向かってママさんダンプで雪を押し、屋根下に落としているときに、暖気で緩んだ雪とともに、軒高さ6.91mの屋根から墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	1	9 ～ 10	スレート屋根の改修工事で、はがした屋根のもや部分を持って移動中に、スレートが割れたため6.4m下のコンクリートの床に墜落した。	30201	1	1～ 9
2003	1	8 ～ 9	アパート兼工場の解体作業で、隣接する工場の屋根（プラスチック製波板とスチール製波板が交互に設けられているもの）に上ったときに、プラスチック製波板部（高さ約6.7m）を踏み抜いて工場床面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	12	14 ～ 15	住宅リフォーム工事の確認中、屋根上（庇までの高さ3m）から墜落した。	170209	1	1～ 9
2002	12	14 ～ 15	木造平屋建の集会場新築工事において、基礎コンクリートから高さ5.9mのつま桁上で棟木の取り付け作業中に墜落した。	30202	1	1～ 9
		21	12mの高さにあるベルトコンベアを取替工事で、旧ベルトにウインチの			

2002	12	～ 22	ワイヤーを掛けて地上に引き降ろしていたところ、ベルトが9mのところの梁に引っ掛かって降りなくなったので、引っ掛かりを外すため手すりを乗り越え150mmの梁を渡っていたとき9m下の地上に墜落した。	11702	1	1～ 9
2002	11	～ 12	木造平屋建てのアパート建築工事において、梁（10.5cm）上で部材取付作業を行っていて、約3.3m下のコンクリート床に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2002	11	～ 15	高さ4.4mの梁の上で大作業中に、バランスを崩して墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	9	～ 11	2階屋根上で、瓦下地の隙間の漏れ止めモルタルを詰める作業を行っていて、モルタルの運搬中に足を滑らせ5.8m下の1階床面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	12	～ 20	自動車販売店の鉄骨造りテントの設置作業において、鉄骨上に張ったテント上でテント布の接合部に布を貼る作業を行っているときに、テントの端から約3.7m下の道路に墜落した。	30201	1	1～ 9
2002	11	～ 11	住宅の増築工事において、屋根上で寸法取りをしていて3.25m下に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	12	～ 10	木造建築家屋の解体作業において、グラップルで家屋から梁を外すため梁の右端をグラップルで掴み持ち上げたところ、反対側の左端が思わぬ方向へ外れ、外れた梁を切断するために準備をしていた者に激突した。	30209	6	1～ 9
2002	10	～ 12	台風で被害を受けた平屋建て民家の屋根補修工事中、屋根または2段の枠組み足場作業床の何れかから地上のコンクリート床へ墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2002	9	～ 16	木造2階建て住宅増築工事において、既存の住宅屋根鉄板の一部を剥がすため、屋根越しに地上の2tトラックとロープ(親綱)で結んだ状態で作業を行っていて、2tトラックが発進したときに引きずられて約4m下の	30202	1	1～ 9

			地面に墜落した。			
2002	11	11 ～ 12	地上28階地下4階建ビル新築工事の7階鉄骨組立作業において、7階の梁上で鉄骨柱間のひずみ調整のためレバーブロックを使用していたところ、レバーブロックのチェーンが切れ、その反動で梁上から13m下の階段に墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2002	11	9 ～ 10	牛舎新築工事において、トタン屋根の敷設作業中に下地のベニヤ板（厚さ9mm）を踏み抜き、約8m下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2002	10	13 ～ 14	工場内に設置された事務所の屋上を掃除するため、パイプと床用吸込口を一体とした掃除用具を持って梁（H鋼幅30cm）上を歩行していた8.05m下のコンクリート床面に墜落した。	170209	1	30 ～ 49
2002	10	11 ～ 12	木造平屋建住宅新築工事において、柱、梁等の軸組材の建て方作業を終え屋根上に昇って、瓦葺き作業のための屋根の実寸法測定及び野地板の取付け作業を行っていたときに屋根から約3.7m下に転落した。	30202	1	1～ 9
2002	10	9 ～ 10	農作業小屋の屋根トタンの張替え工事において、屋根上でアンテナを外そうとしていたときに腐食してもろくなっていたトタンを踏み抜き約4m下の土間に墜落した。	30209	1	1～ 9
2002	11	13 ～ 14	ビル設備管理を行っている者が工事の立会いで出勤したが勤務終了時間になっても戻らないため探したところ、隣接する建物の敷地内で倒れていた。なお、倒れていた上部の塩ビ製屋根は壊れており、鋸と剪定した木と塩ビ製屋根の破片が散らばっていた。	150101	9	1～ 9
2002	11	11 ～ 12	公民館ホールの屋根（勾配約32度、鋼板横葺）の塗装工事において、塗装作業前に高圧洗浄機で屋根の洗浄作業を2名で行っていたが、親綱の長さが足りなくなったため伸ばそうと思って、反対側の屋根の雪止めに向かって移動していたときに足を滑らせ約10m下の地上に落下した。	30209	1	1～ 9
2002	9	9 ～	石材加工場において、屋根上にある給水タンクのフロートの状態を確認するためスレート葺きの屋根に登ったときに、棟部分に葺かれた金属板	10909	9	1～

		10	から足を踏み外して明り取り用の樹脂製波板を踏み抜き工場内に墜落した。			9
2002	3	11 ～ 12	7階建の雑居ビル（高さ約26.5m）の窓の清掃のため、ブランコ作業の準備を行っていて屋上から墜落した。	150101	1	1～ 9
2002	9	11 ～ 12	屋根瓦の葺き替え工事において、瓦揚げ機（タワー）で2階屋根上に揚げた瓦2束（1束は瓦4枚、1枚2.8kg）を抱えて屋根上に配置しているときに、1階屋根上に転落しさらに地面に転落した。	30202	1	1～ 9
2002	9	11 ～ 12	瓦の取替え作業に使用する瓦を屋根の上に準備する作業中に、体勢を崩して高さ3.8mの屋根の上から墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	11	15 ～ 16	屋根しっくい工事を同僚と一緒に軒高6.18mの2階屋根上で行っていて、軒高2.93mの1階屋根部に一度墜落し、さらに地面まで墜落した。	30209	1	1～ 9
2002	1	11 ～ 12	木造2階建て住宅建築工事において、2階床梁に根太を取り付ける作業中に梁から4m下のコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	7	11 ～ 12	本社社屋において、屋根として使用していた塩化ビニール製波板の張替作業中に波板を踏み抜き5m下の床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2002	10	7 ～ 8	既存倉庫の屋根改修工事において、垂木、野地板の撤去のため垂木の上（端部）に乗ったときに、桁を支点としてテンビン状になり約2.2mの位置から墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	10	11 ～ 12	倉庫のスレート屋根の補修工事において、破損した屋根のスレートの撤去のためスレートの止め金具をカッターで切断中に、スレートを踏み抜いて7.6m下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
		9	鉄骨造平屋建て建築工事において、屋根梁上でデッキプレートの敷き込			1～

2002	10	～ 10	み作業を行なっていて3.2m下の基礎コンクリート上に墜落した。	30201	1	9
2002	3	～ 17	木造平屋建て新築工事において、1階屋根部分の梁（火打ち材）を取付けているときに、体のバランスを崩して高さ約3mの足場または梁の上からコンクリートの基礎上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	4	～ 18	住宅の増改築工事において、2階の既存屋根と増築屋根とのつなぎ工事を屋根上で行っていたときに、屋根上から約2.7m下の2階ベランダに墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	8	～ 10	倉庫の解体工事で、幅7.5cmの鉄骨製の梁（高さ6.03m）を足場にしてスレート屋根の取り壊し作業を行っていたときに、バランスを崩してコンクリート土間に墜落した。	30201	1	1～ 9
2002	10	～ 15	飼料置き場増築工事において、梁として設置するH鋼を小型移動式クレーンで仮置きして溶接するため、補助者が高さ約5mの飼料置き場屋根上からH鋼を支えていたところ、仮置きしていたH鋼が落下し同時に補助者も墜落した。	30201	1	1～ 9
2002	12	～ 14	台風で工場附設の鉄骨梁製テントハウスが潰れたので解体するため、高さ5m、40cm幅の部材上に乗り鉄骨梁をガス溶断していて地上に墜落した。	170209	1	10 ～ 29
2002	12	～ 16	木造2階建家屋新築工事において、母屋を組み立てるため高さ7.07mの桁の上で母屋及び小屋づかを組み立てる場所に運ぼうとしたときに墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	10	～ 10	牧場の牛舎において、2人でストレート屋根の補修作業中に、1人が屋根の一部を踏み抜き約10m下の地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2002	11	～ 12	個人住宅の新築工事において、2階の梁上に仮置きした合板に乗ったため合板が傾いて梁に後頭部を強打し、さらに3.7m下のコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9

2002	1	16 ～ 17	木造建築2階部分の仮筋交い取り付け作業中に、バランスを崩して2.9m下の2階床桁部分で腹部を打った後2.95m下の1階床のコンパネ上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	7	11 ～ 12	3階建て集合住宅の屋上で、2名で防水シートの貼り付け作業中にシートのはたみじわを伸ばすため、両者が互いにシートを引き合っていて後退した拍子に、50cmの屋上端につまずいて8.6m下の地上に墜落した。	170209	1	10 ～ 29
2002	7	17 ～ 18	木造住宅2階建ての新築工事において、台風に備えるため野地板等の部材を結束する作業を1階の梁上（幅170mm、高さ4090mm）で行っているときに、梁上から土間コンクリートに墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	2	17 ～ 18	邸宅の新築工事において、2階の屋根上で垂木に野地板を張り、墨壺を使用して墨打ちをしているときに約8.33m下に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	2	13 ～ 14	邸宅新築工事において、のぼり梁を取り付けるため建屋正面妻側の抜きに上がったところ、柱に固定していた抜きの片方が外れて高さ7.19mのところからベタ基礎のコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	4	16 ～ 17	鉄骨2階建の倉庫建築工事において、鉄骨建方作業のため2階床面の梁（幅30cm）の上（高さ約10m）でボルト入れの作業を行っていて次の作業場所へ移るため、梁の上を移動中に5m下のクレーン設置用の梁上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2002	11	11 ～ 12	瓦を取り除く作業で、トラック荷台から玄関先の底上に上がり移動しながら、さらに樋に足を掛けて屋根上に登ろうとしたときに樋が破損し約2.8m下に墜落した。	30209	1	50 ～ 99
2002	7	8 ～ 9	賃貸住宅の屋根葺き替え工事で、屋根上（勾配24度、高さ4.63m）の通信線支柱を動かそうとしたときにバランスを崩して墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	7	6 ～	小学校体育館屋根の防水工事準備のため体育館屋根のパラペット上を歩行中、高さ約7mの屋根上より墜落した。	30209	1	1～ 9

		7				
2002	4	16 ～ 17	住宅解体工事現場の2階屋根上において、テレビアンテナを撤去作業中に5m40cm下の地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	7	13 ～ 14	応接室内のエアコンが故障したので室外機の点検のため工場のスレート（高さ9.3m）上を歩行していて、スレートを踏み抜き落下した。	11409	1	1～ 9
2002	6	13 ～ 14	温泉ホテルの屋上でテレビアンテナの設置、配線工事中、屋上端部から25.5m下の地面に墜落した。	30203	1	1～ 9
2002	6	19 ～ 20	地上約11mにある本社ビルの屋根上で、雨漏りの原因と思われる箇所をビニールシートで覆う作業を行っていたときに、屋根から地上に墜落した。	170209	1	100 ～ 299
2002	6	20 ～ 21	客先で警備システムの作動状況を示すため、2階の窓から隣接の倉庫のスレート葺屋根上に出て移動していたところ、スレート屋根を踏み抜きそのまま地上に転落した。	80209	1	50 ～ 99
2002	7	17 ～ 18	社長と2人で1階及び2階の外壁左官作業を行っていたが、午後に社長が1階の左官作業を命じ現場を離れて午後5時頃に現場に戻ってきたところ、家屋西側の地面に倒れていた。	30202	1	1～ 9
2002	2	8 ～ 9	工場屋上に設置されたベンチレーターの取替工事のため、ベンチレーターの周囲のスレート屋根上に足場板を敷く作業を行っていたところ、地上にいた被災者（足場板を敷く作業には従事せず）が屋根に上がってベンチレーターに近づこうとして足場板が敷かれていないスレートを踏み抜き、7.4m下の工場内コンクリート土間へ墜落した。	170209	1	1～ 9
2002	4	0 ～ 1	木造3階建て住宅の2階の床部分に厚さ30mmの合板を張る作業中、90cm間隔の梁と梁の間から1階の土間コンクリート上へ転落した。	30202	1	1～ 9

2002	10	16 ～ 17	2階大屋根上において、瓦を葺替えるための位置決め用の墨付け作業を行っていたがうまく墨が付かないため、同僚のいる屋根端に移動したときに体勢を崩して高さ6.27m下の地上へ墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	5	16 ～ 17	現場仮設事務所前に掲示物・旗を設置して屋根から降りるときに、仮設事務所裏側の約30m崖下に転落した。	30105	1	1～ 9
2002	1	14 ～ 15	食品加工所の鉄骨組み立て作業で、西側に取り付けるパラペットをアー ク溶接で仮止めしたのち、移動式クレーンで吊り上げてきた鉄骨部材を 北側の位置へボルト締めするため高さ約4mの鉄骨の梁上で待機してい たところ、西側の仮止めした鉄骨部材につり上げた鉄骨部材が触れたた めに鉄骨部材とともにコンクリート床上へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2002	7	16 ～ 17	鉄骨平屋建ての店舗新築工事で、鉄骨の組立作業中に高さ3.7mの梁の上 から地上へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2002	9	17 ～ 18	木造2階建て住宅新築工事において、2階床面の根太を釘止めしている ときに、固定していない根太が動いてできた開口部から1階基礎コンク リート上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	4	17 ～ 18	工場内のボイラ2基を撤去し新規ボイラに更新する作業で、ボイラ1基を 解体したのちスレート屋根のボイラ煙突部分の空間を塞ぐ作業を行うた めの鋼製足場板（190cm×25cmr）3枚を煙突方向に向かって置いて行っ たときに、煙突の空間部付近でスレート屋根を踏み抜き5.20cm下の床面 に墜落した。	30302	1	1～ 9
2002	2	13 ～ 14	木造建築工事において、2階柱の建方作業のため2階根太の上（幅 11cm）を歩いていたときに、根太と根太の間の開口部（幅89cm）から 3.4m下の1階コンクリート部に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	1	16 ～	既設住宅の外壁塗装作業において、1階の屋根上（無落雪建築のほぼ平 らな屋根）で2階東側の外壁をローラーを使用して仕上塗装作業中に、 高さ約5.4mの屋根の端から半地下の車庫のコンクリート路面上に墜落し	30209	1	1～ 9

		17	た。			
2002	4	13 ～ 14	工場解体用の足場を組立てたのち、養生用のシートを取り付けるためスレート葺きの屋根上でシートを運搬中に、スレートを踏み抜き7.6m下の土間に墜落した。	30209	1	1～ 9
2002	3	20 ～ 21	住込みで管理するマンションの夜間定期巡回中、鳥の巣を除去する必要があるかどうかを確認するため3階屋根の端から身を乗り出して巣があるとと思われる樹木を上から確認しようとしたときに地上まで墜落した。	170209	1	300 ～
2002	3	8 ～ 9	自宅車庫の解体作業で、天井梁下の地上4.88mの位置にある鉄骨梁（幅6cm）に足を掛けて鉄製の筋交いを固定しているボルトのナットをレンチで緩めようとしたときに、足を踏み外して墜落した。	30201	1	1～ 9
2002	8	13 ～ 14	高さ3.6mの梁上で2階の柱が垂直であるか否かの確認作業を行っていて、1階コンクリート土間上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	4	11 ～ 12	自動車工場内の制御盤電源ケーブル敷設工事において、高さ7mの梁（幅約25cm）上に動力ケーブルをかり渡すため、梁上で動力ケーブルを渡していて墜落した。	30302	1	10 ～ 29
2002	1	9 ～ 10	農業用倉庫の補強及びシャッター出入口の改修工事で、側壁をよじ登って高さ5.30mにある幅6cm、厚さ4cmの胴縁に足を掛け、高さ6.34mの屋根裏に新しくタルキを設置しているときに、バランスを崩しコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2002	4	13 ～ 14	木造住宅2階建ての建築工事現場で、骨組みの補強のための仮筋かい（木製）を2階部分に上げて運搬中、地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	4	16 ～ 17	鉄骨スレート葺1階建て駐車場解体のため屋根上でスレートの撤去を行っていたときに、明かり取り（塩ビ製波板）を踏み抜き高さ5.1m下の1階土間コンクリートへ墜落した。	30209	9	50 ～ 99
			給食センターの天井裏で、空調ダクトのフィルター交換の補助作業を			

2002	10	11 ～ 12	行っていて天井床（格子状のアルミ製梁に石膏ボードがネジ止めされて断熱材が敷詰められている）に載ったときに石膏ボードを踏み抜き、さらにアルミ製梁の取り付け部分が外れたため4.5m下のコンクリート床に墜落した。	150101	1	30 ～ 49
2002	1	16 ～ 17	梁上で屋根下地用のベニヤ板70枚の束（約800kg）を移動式クレーン（吊上げ荷重10 t）で梁上に降ろし、もう1束を隣りに降ろそうとしたが吊り荷で挟まれてしまうおそれがあるので移動していたときに、高さ3.7mの梁上よりコンクリート床上に頭から墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	2	9 ～ 10	家屋の屋根の瓦が風等で飛ばないようにラバーで瓦同士を接着する作業のため、屋根（2.5分勾配、軒先の高さ地上から2.9m）に登ったときに、屋根上で転倒し地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2002	3	16 ～ 17	木造二階建住宅新築工事で、主構造部分の組立てが終わって施主に最後の棟木を納める儀式としてカケヤで叩かせるため、高さ約8.7mの梁（通称 天秤梁）の上で施主に手順を説明中にバランスを崩して地上の基礎部分に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	10	11 ～ 12	木造2階建新築工事で、2階の軸組作業中に桁から1階のたたきの上に墜落した。	30202	1	0
2002	7	16 ～ 17	2階建て木造アパートの建方作業で、2階床面部の梁上（高さ約3.5m）で作業を行っていて土間コンクリートに墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	4	9 ～ 10	物流倉庫トラックヤード底部分の塗装工事の品質・進捗状況管理のため、庇の上で写真を撮影していたときに、誤って庇に設けてある明かり取りの天窓（トップライト）のガラスを踏み抜き、8.5m下の地上部分に墜落した。	30209	1	1～ 9
2002	6	17 ～ 18	邸宅の屋根改修工事で1階屋根の野地板に防水シートを張る作業中、バランスを崩して約4m下のアスファルト路上に転落した。	30202	1	1～ 9

2002	4	14 ～ 15	鉄骨モルタル造建物の解体工事において、屋根のトタンをはがした後の下地材（木毛セメント板、厚さ20mm）上で鉄骨材をガス溶断する作業をしていて、次の溶断箇所へ移動中に下地材を踏み抜き、約5.7m下のコンクリート床へ頭部から墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2002	4	8 ～ 9	製錬所の貯鉱舎のスレート取替工事のため同僚の後についてスレート屋根上を移動中、スレートを踏み抜いて約14.5mの高さから墜落した。	170209	1	10 ～ 29
2002	3	9 ～ 10	二階建てアパートの屋根・外壁塗り替え工事で、棟木（屋根の頂上）側から北面の屋根を塗りながら降りてきたところ、高さ5.5mの軒先から墜落した。	30209	1	1～ 9
2002	4	16 ～ 17	木造平屋建て家屋の屋根の防水塗装中、3.5m下に転落した。	30209	1	1～ 9
2001	10	9 ～ 10	木造住宅の新築工事において、2階床部分の根太の取付け作業中に高さ約3mの梁の上から墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	2	11 ～ 12	養鶏場のプラスチック波板屋根の頂上付近に穴があいたため補修作業を行っているときに屋根を踏み抜き6m下に墜落した。	70101	1	1～ 9
2001	8	11 ～ 12	被災者は、災害発生当日の13時過ぎに9階ベランダ床に倒れている被災者が発見され、目撃者がいないため発生状況は不明であるが次の状況が推定される。10階建ビルの新築工事において、9階から10階にかけて一部吹き抜けとなっている10階天井の鉄骨ボルトの錆止め塗装作業のため鉄骨上を移動しているときに、9階床まで約9m墜落した。	30201	1	1～ 9
2001	12	14 ～ 15	個人住宅から1階屋根部分の除雪の依頼があったので作業を行っていて、屋根から墜落した。	30202	1	1～ 9

2001	6	9 ~ 10	屋根上において、明かり採りの葺き替え工事用に敷設安全ネット及び木製歩み板の撤去のため、袋に詰めた安全ネット(約10kg)を抱えて荷降ろし用に屋根の軒先近くに停めていた高所作業車のバスケットに積み込もうとスレート屋根を移動中に、スレート屋根を踏み抜き約10m下の地上に墜落した。	30309	1	1~ 9
2001	12	9 ~ 10	工場建屋・倉庫の解体工事に当たって、倉庫屋根上に設置してある看板の撤去を行うためスレート屋根に上がっていた被災者が、スレート屋根を踏み抜き約7m下のコンクリート土間に墜落し、頭蓋骨粉碎骨折により死亡したものの。	30201	1	1~ 9
2001	12	16 ~ 17	堆肥舎の建設工事において、鉄骨の梁上に跨って間柱の据え付け作業を行っていて、クレーンで間柱を持ち上げたところ間柱が基礎部と梁の間に入らなかったため間柱がずれ高さ約8mの鉄骨の梁上から床面のコンクリートに落下した。	30201	1	10 ~ 29
2001	12	11 ~ 12	食堂の屋根上のエアコン室外機等の掃除を行っていて、高さ約3メートル40cmメートルの屋根端部から、食堂すぐ横にある無料休憩所のテント屋根を突き破って休憩所のコンクリート地上に墜落した。	140201	1	10 ~ 29
2001	12	11 ~ 12	低層木建住宅新築工事において、1階の天井梁上で梁と柱を固定するボルトの締め付け作業中に、梁上に掛け渡していたコンクリートパネルとともにコンクリート土間に墜落した。	30202	1	1~ 9
2001	12	10 ~ 11	建売住宅の新築工事現場(木造2階建)において、屋根上で屋根材を貼り付けていたときに、高さ約6mのところから墜落した。	30202	1	1~ 9
2001	12	11 ~ 12	屋根の改修作業を行うため、屋根上に積もった雪を1階屋根上で降ろしていて、足を滑らせて2.72m下のコンクリート地面に墜落した。	30209	1	1~ 9
2001	12	15 ~ 16	学校内のミーティング室兼倉庫前の通路に設けられていた仮設の雨除け屋根を解体する作業において、屋根上でバールを用いて母屋を取り外していたときに3.6m下の地面に墜落した。	120109	1	10 ~ 29

2001	12	13	建物2階の窓を拭くため、高さ3.55mの底にハシゴを掛けた上り、滑り止めのため底上に脚立を寝かせて作業していたところ、脚立が底から滑り落ち、同時に地上へ墜落した。	170209	1	10 ～ 29
2001	10	10	工場建屋のスレート屋根上で破損したスレート部分5箇所の補修作業を行い、補修を終えてスレート片、ボルト等残材の片付けを屋根上で行っていたときにスレート屋根を踏み抜いて建屋内へ約9m墜落した。	30209	1	1～ 9
2001	11	15	2階建共同住宅新築工事において、屋根東面のたる木を北側から順に母屋に釘打ちして約7m下のコンクリート基礎に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	11	18	既存建物と増築建物との連絡通路の仮囲いの工事において、仮囲いの屋根(石膏ボード)にクロスを貼るため屋根に乗ったときに屋根が抜けて、3.1m下の床に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2001	10	15	営業所の倉庫通路において、雨漏りの原因となるゴミを取り除くため塩化ビニール波板屋根に上ったときに屋根を踏み抜き地上まで5.62m墜落した。	80109	1	1～ 9
2001	10	16	木造アパートの新築工事において、建前が終わって2階の作業床を確保するため仮止め用コンパネを敷いていたところ、開口部から後向きで3.65m下のコンクリート基礎へ墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	10	13	建物の上棟後、高さ6.84mの小屋梁のボルト締め作業中に1階の土台部分に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2001	10	9	民家の屋根塗装工事において、棟木の塗装作業中に高さ約7mの軒先から地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	10	10	木造平屋建の新築工事において、中2階部分の屋根コーナーの部材上でノミを使って切り欠き部の加工をしていて、約5.8m下の土間コンクリートに墜落した。	30202	1	1～ 9

2001	10	16 ～ 17	木造2階建住宅新築工事において、2階屋根上で野地板の取付け作業中に約5.8m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	9	10 ～ 11	4階建校舎の外周透明ガラスの内外を2人組みで清掃していて、3階の一部が終了し職長から休憩の指示を受けたので通路の手すりを乗り越えたときに高さ6.65mの3階のひさし部分から地上に墜落した。	150101	1	10 ～ 29
2001	10	13 ～ 14	倉庫改修工事において、スレート屋根をはがす作業を行っていたときにスレートを踏み抜き約5m下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2001	9	8 ～ 9	住宅屋根瓦の塗装のため、1階屋根上で準備作業中に約3.25m下のコンクリート歩道に墜落し頭部を強打した。	30209	1	1～ 9
2001	9	16 ～ 17	老人グループホームの建築工事において、地上から高さ3.48mの梁上で母屋材の移動作業を行っていたときに3.33m下の基礎コンクリート上に母屋材とともに墜落し、基礎の上に取付けられている角材に頭部を強打した。	30202	1	10 ～ 29
2001	9	13 ～ 14	倉庫の屋根材(トタン板)の解体撤去作業中に、腐食した屋根を踏み抜き約7m下のコンクリート面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2001	9	8 ～ 9	木造家屋の改修工事において、1階屋根上で2階の外壁を貼る作業をしていてバランスをくずし、約2.5mの高さから転落した。	30202	1	1～ 9
2001	9	10 ～ 11	2階屋根部分に張った防水シートが風でめくれたため張り直し作業を行い、降りる途中に道路に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	9	11	2階建民家の屋根補修工事において、2階屋根上(高さ約7m)で隅棟部分に漆喰を塗る作業中に墜落し、1階屋根にあたって地上に落下した。	30202	1	1～ 9

		12				
2001	8	13 ～ 14	工場スレート屋根上部の木くず集じん装置の外周壁(トタン板)補修を終え、屋根上に飛散した木くずの清掃を行っていてスレートを踏み抜き、約5.7m下のコンクリート地面に墜落した。	10401	1	10 ～ 29
2001	7	15 ～ 16	木造平屋建新築工事において、梁の継ぎ手箇所と柱を連結するための釘打ち作業中に体勢を崩し高さ4.52mの箇所から墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	7	11 ～ 12	木造家屋建築工事において、2階の柱を立て上げる作業中に突風で柱があおられ、その弾みで2階床の梁上から3.5m下のコンクリート床面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	8	14 ～ 15	鉄骨スレート造工場の一部が台風で雨漏りするようになったので、波型スレート屋根上で修理作業中に、スレートを踏み破り約6.2m下の工場内のコンクリート床に墜落した。	10901	1	1～ 9
2001	8	14 ～ 15	屋根の接合部に設置してある谷樋の集水桝が落葉で詰まって雨漏りが発生したので梯子を使って高さ約4.5mの集水桝の落葉を取り除いたところ、雨水の流れは良くなったが谷樋の途中で落葉が残っていたため、これを取り除くため屋根の上で棒を使って落葉を集水桝側へ流していたときに屋根を踏み抜いて墜落した。	10903	1	10 ～ 29
2001	7	13 ～ 14	移動式クレーン(4.9t)のジブの先端に取付けたゴンドラに搭乗して外壁を点検し、同乗の作業員に劣化したコンクリートのはつり作業を指示し、ゴンドラから布製テントの上(3.6m)に降りたときに布を突き破って墜落した。	30209	1	1～ 9
2001	8	11 ～ 12	屋根上(高さ3.7m)でエアコンの取付工事を行っていて墜落した。	30302	1	10 ～ 29
2001	8	16 ～	木造家屋建築工事において、大屋根の野地防湿シートの貼り付け作業中に足を滑らせ、外部足場を飛び越えて6.15m下の1階土間に転落した。	30202	1	1～ 9

		17				
2001	8	11 ～ 12	建築中の鉄骨6階の東端の幅30cmの大梁上で次に取付ける小梁がクレーンで吊り下ろされてくるのを待っていて後向きに約21.4m下の地上まで墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2001	7	0 ～ 1	シートハウス(仮設のテント状のパイプハウス)の明かり取りの補修を行うため、高さ約5mのハウス屋根に上っていたところ、シートを踏み抜きアスファルト床上に墜落した。	80102	1	1～ 9
2001	5	10 ～ 11	木造平屋建新築工事において、高さ約4mの母屋で作業中に母屋材とともにコンクリート床に転落した。	30202	1	1～ 9
2001	7	15 ～ 16	工場2階に設置されているダクトの点検、補修を行うため2階屋根上で作業をしていたところ、明かり取りのガラスの天窓(番線入り、厚さ7mm程度)を踏み抜き約10m下の工場内に墜落した。	30203	1	10 ～ 29
2001	7	9 ～ 10	建屋一部の改築工事のためスレート屋根に登り、新設する鉄骨梁の位置調整を行って降りようとしたときに、スレート屋根が割れて6.2m下に墜落した。	30201	1	1～ 9
2001	7	11 ～ 12	住宅屋根の塗り替え作業中に、屋根端部より5.66m下のコンクリート道路に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2001	6	16 ～ 17	納屋の屋根吹き替え工事において、下屋根の地点から3.2m下のコンクリート床面に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2001	7	13 ～ 14	工場の換気用窓を開けるためスレート葺の屋根に上がって7枚の窓のうち5枚を開けて移動中、バランスを崩し明かり取り用の半透明波板を突き破り7m52cm下の工場コンクリート床に墜落した。	11209	1	1～ 9
2001	7	13	工場の屋根上にある全体換気装置の修理を終えて屋根から下りるため、梯子に向かって屋根上を歩いていてスレートを踏み抜き、約8m下の工	11702	1	1～ 9

		14	場内へ墜落した。			
2001	6	11 ～ 12	橋脚建設用の作業構台の解体作業において、梁の補強のためのアングルの片側がまだ接合していると思い、ガス溶断しやすいようにアングルを移動式クレーンでワイヤロープが張るまで吊り上げたところ、実際は両側がすでに溶断されていたためアングルが持ち上がり、片足をアングルにのせていたため約1.1m下の川に落下した。	30199	1	30 ～ 49
2001	6	13 ～ 14	防水工事のため、屋根上で天窓の既存シール材を撤去中に、天窓の硝子が割れて約9m下に墜落した。	30201	1	1～ 9
2001	6	17 ～ 18	神社の神楽殿(木造平屋建)の屋根葺き替え工事において、高さ2.94mの庇の先で瓦葺き替え作業を行っていて地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2001	5	13 ～ 14	個人宅の新築工事において、火打梁を取付けたのち梁の上を移動していて3.35m下の1階土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	5	9 ～ 10	2階建アパートの屋根改修工事において、高さ約6.6mの屋根上で作業中に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	6	11 ～ 12	新聞販売店の瓦葺き替え工事において、瓦上げ機を設置するため屋根上で作業中、庇部分(高さ4.8m)から地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	6	16 ～ 17	木建家屋新築工事において、午後から雨が降り出したため外部の作業から2階内部の作業に変え梁上(高さ4.49m)で墨出しの作業をしていたときに転落した。	30202	1	1～ 9
2001	5	14 ～ 15	スレート屋根の張り替え工事において、当日の張り替え作業を終えて地上に降りるため梁の上を移動していたときに、老朽化したスレート上に足を載せたため踏み抜いて5.5m下の地上に墜落した。	30201	1	10 ～ 29

2001	5	16 ～ 17	木造2階建住宅の瓦屋根修理作業中に、2階屋根から地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	5	14 ～ 15	住宅新築工事において、屋根のトタン葺作業中に降雨のためトタンが濡れていたため足を滑らせ、軒先から枠組足場の手すりの隙間から地面に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2001	4	14 ～ 15	軒高7.2mのスレート屋根上に単管足場を組立てる作業中に、スレートを踏み抜いて約8mの、コンクリートの土間に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2001	5	8 ～ 9	木造2階建住宅の増改築工事において、トタン屋根の葺き替えのためバールを使用してトタン屋根の解体作業中に高さ6.59mのところから転落した。	30209	1	1～ 9
2001	4	13 ～ 14	高さ約8mの倉庫と約2m離れた倉庫の間に屋根を設置する作業で、屋根の基礎となる鉄骨をボルト締めするため鉄骨の上に乗って作業を行っていたときに9.1m下の地上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2001	4	13 ～ 14	木造2階建新築工事において、2階廊下の根太の取付作業をしていて1階の土間コン上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	4	15 ～ 16	木造住宅新築工事において、2階部分に仮の筋交いを取付ける作業中に乗っていた梁(高さ3.28m)上からコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	4	16 ～ 17	木造家屋の屋根(高さ7m21cm)部分で作業をしていて墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	2	15 ～ 16	建物のリフォーム工事において、屋根の仕上げ塗装中に屋根端から地上まで約5m墜落した。	30209	1	10 ～ 29

2001	2	13 ～ 14	ソーラーシステム取外し作業において、屋根上には上がらないよう指示されていた者が屋根上に昇ってきて、垂木(最下部の高さ約6m)から墜落した。	30203	1	～ 29
2001	4	17 ～ 18	スレート屋根の張り替え作業中にスレートを踏み抜き、約10m下のコンクリート床に墜落した。	30309	1	50 ～ 99
2001	3	16 ～ 17	工場屋根(軒高4.6m)のトタンふき作業で、ルーフファン用のトタン下地材の取付け作業を終えて屋根(勾配約22度)上を移動中に、降雨のため濡れていたため足を滑らせ墜落した。	30209	1	1～ 9
2001	3	9 ～ 10	工業用水の配管の取替工事で、作業場所に工具を置き忘れたので取りに戻るため、工場と工場間のアーケードの上に昇ったときにアーケードの端部から約6m下のコンクリート上に墜落した。	30309	1	1～ 9
2001	3	16 ～ 17	線棒工場のスレート葺き屋根上の雨樋の修理作業で、当日の作業が終了したので残材や工具類の片付けを行っていて、道具袋を取ろうとしてバランスを崩し歩み板から足を踏み外して、スレートを突き破って約4.5m下の工場内の設備の上に墜落しさらに約1.9m下の通路に転落した。	30309	1	1～ 9
2001	3	16 ～ 17	木造2階建住宅の新築工事で、サッシの枠の現場搬入に訪れたサッシ業者が大きな音に気付いて、その方向を見るとコンクリート土間に倒れているた。(作業内容は不明)	30202	1	1～ 9
2001	3	9 ～ 10	木造建築工事において、2階屋根の垂木の取付作業等のため梁に移動中に足を踏み外して6.3m下の土間に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2001	2	9 ～ 10	木造2階建新築工事で、2階ベランダの根太(下地の骨組み)を入れるために墨出しをしていて、2階床から約3.4m下のコンクリート土間へ転落した。	30202	1	1～ 9
		10	製畳工場の屋根の雨樋にたまった雪やごみを清掃するため、5mの高さ			

2001	2	～ 11	にある換気窓から屋根に乗り移って雪やごみを取り除き、続いてスレートの交換のため取り除いたスレートをフォークで降ろしているときに、スレートを踏抜き約6m高さから墜落した。	11709	1	1～ 9
2001	2	11 ～ 12	鉄骨組立作業において、幅約10cmの鉄骨上を移動中に足を滑らせ、約7.8m下の地面に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2001	3	0 ～ 1	木造住宅の風呂場増築工事において、屋上で雨漏れ養生作業中に足を滑らせ風呂場の屋根から隣地の側溝に約4.6m墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	1	15 ～ 16	商店の2階の屋根に雪がつもり水漏れとなったため、雪かきをしようと梯子で2階の屋根に登り墜落した。	80209	1	1～ 9
2001	2	10 ～ 11	木造2階建住宅の2階屋根上において、瓦の葺き替えのため古い瓦の撤去作業を行っていて、軒先から約4.6m下のアスファルト道路に墜落した。	30209	1	1～ 9
2001	1	8 ～ 9	個人宅の増築工事において、矢張り(切づまの両端のつま)部分のモルタル塗りの段取りのため1階の屋根(高さ約4m)に上り移動していたときに、地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	2	16 ～ 17	屋根の瓦葺き替え工事において、作業を終わるため屋根下地の野地板・垂木を取り外した上にビニールシートを掛ける作業中に、高さ3mの1階の屋根の軒から地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	2	13 ～ 14	事務所の屋根の除雪を一人で行っていて、バランスを崩し約4m下の地上に墜落した。	80202	1	1～ 9
2001	2	8 ～ 9	トラックターミナルの屋根の雪下ろし作業中、ターミナル内にトラックが入っていないかを確認しようとして、屋根の雪を下に落とすために敷いてあった塩ビ波板(プラスチック製)に足を乗せてしまったため、足が	50201	1	50 ～ 99

			滑り高さ約7mの軒先から地面に墜落した。			
2001	1	16 ～ 17	機械工場の折板葺の屋根の上にルーフファンを取付けるため、屋根の開口部の周囲に水切り板を取付ける作業のために移動していて、折板が未設置の開口部(約1m×1m)に掛けられたブルーシートを踏み抜き9.6m下の土間に墜落した。	30201	1	1～ 9
2001	1	14 ～ 15	工場建屋屋根のスレート吹き替え工事で、材料を屋根にあげスレートの上を移動中に、スレートを踏み抜き、約10～12m下の建屋内に墜落した。	30309	9	1～ 9
2001	1	10 ～ 11	ガソリンスタンドの高さ5.7mに位置する車寄せ屋根の除雪作業を行っていて、屋根にあった開口部(明り採り)が積雪のため気がつかず、開口部から墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2001	1	11 ～ 12	熱延工場酸洗棟の屋根上においてスレートのフックボルトの取り替え作業中に、スレートを踏み抜き工場内に墜落(約15m)した。	30201	1	1～ 9
2000	5	18 ～ 19	空港内の手荷物搬送口の屋根補修工事において、高さ3.7mの屋根に登ってコンクリートのはつり作業中にコンクリート屋根の一部が崩れたため地面に墜落し、直後に落ちてきたコンクリート塊の下敷きになった。	30201	1	1～ 9
2000	1	16 ～ 17	3階ボイラー室の屋根補修のためスレート屋根へ登ったときに、スレートを踏み抜き約5.7m下のコンクリート床へ墜落した。	130301	1	10 ～ 29
2000	7	16 ～ 17	木造平屋新築工事において、セメント瓦をトラックから瓦上げ機を使用して屋根に上げ運搬中に、バランスを崩して墜落し、トラックの側面あたりで足が当り、その反動で頭から地面に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2000	6	9 ～ 10	雨漏りの点検補修工事において、テント状の屋根に親綱を張って、作業を開始するため親綱に体重をかけたときに親綱が切れ、テント上を約28m滑落したのち高さ5.6mの軒先より墜落した。	30201	1	10 ～ 29

2000	6	9 ～ 10	スレート屋根補修工事において、屋根に登り葺き替えるスレートの枚数を数える作業を行なっていてスレートを踏み抜き7.44m下のコンクリート床に墜落した。	30201	1	1～ 9
2000	12	9 ～ 10	増築工事のため、母屋の瓦を外して庭に降ろす作業中に、足元がすべり高さ3.35mの屋根からコンクリートの地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	7	9 ～ 10	パチンコ交換所新築工事において、木造建築物の棟上げのため梁上(高さ3m)で地上から同僚が手渡した「たる木」を引き上げようとして足を踏み外し地上に転落した。	30202	1	10 ～ 29
2000	10	16 ～ 17	14階建ビル新築工事において、屋上で打設されたコンクリートの均し作業を行っていて約20m下のエレベーター開口部に設けた蛇腹まで墜落した。	30201	1	1～ 9
2000	5	9 ～ 10	新築工事の高さ17.45mの4階鉄骨上(幅30cm)にデッキプレート(重量17kg)を梁の間に置いていて、地面に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2000	4	15 ～ 16	立体駐車場組立工事において、地上約30mの場所で胴縁に足を乗せて鉄骨外周に胴縁(水平角パイプ)をボルトで取付ける作業中に、体のバランスを崩し胴縁と外周安全ネットの間から最下段の胴縁まで墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2000	10	17 ～ 18	2階建民家の1階屋上から、解体したソーラーパネル(約60kg)を2.5t吊りトラッククレーンで吊り降ろす作業中に強風が吹いてパネルが揺れ、パネルに弾き飛ばされて屋上端より地面に墜落した。	80209	1	10 ～ 29
2000	10	14 ～ 15	塗装作業をしていた者が昼休み終了後に地上2mのところまで屋根葺き替え作業をしていた同僚の所に上がってきたときに、屋根下方の高さ30cmの土の上に転落した。	30202	1	1～ 9
2000	12	9 ～ 10	公務員宿舎の屋上パラペット部分に防水シールを貼り付けるため、コイル状に巻かれたシートの一端を持って後退しながら引き出していたときに、パラペット(高さ25cm)に足をとられて14.6m下の地面に墜落した。	30209	1	10 ～ 29

			た。			
2000	7	18	鉄骨造2階建新築工事において、幅15cmの鋼製梁上で、2階の梁間に デッキプレートを架け渡していたときに、梁上から約3m下のコンク リート地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2000	4	17 ～ 18	木造2階建新築工事現場において、屋根上で道具等の片づけ作業を行っ ていて墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	1	13 ～ 14	実験棟屋上の防水工事のため、屋上で旧防水シートをカッターナイフで 切断中に足を踏み外して11. 5m下に墜落した。	30309	1	1～ 9
2000	9	11 ～ 12	個人邸宅の新築工事において、建物の小屋梁(高さ約3. 5m)上で、移動 式クレーンが吊って来た母屋材を受け取り納める作業中に足を滑らせて 建物内側のコンクリート土間へ墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	8	10 ～ 11	工場のスレート屋根の補修工事で、作業が終了して後片付けの最中に、 スレート屋根を踏み抜いて転落した。	30201	1	1～ 9
2000	4	13 ～ 14	個人邸の壁塗り工事において、1階屋根上で庇の上方の三角部分の壁塗 りが終わり、バケツ持って立ち上がったときに足が滑り約3m下の地面 に墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	7	8 ～ 9	工場の屋根上にある引き粉集積庫付近に散乱している引き粉を屋根上で 掃き落していて、足を滑らせて約3. 5メートル下の側溝に墜落した。	10401	1	1～ 9
2000	12	8 ～ 9	スレート屋根一部葺き替え工事で、屋根上に仮置きしていた古いスレー トを移動式クレーンで降ろすための段取り中に、スレートを踏みぬき約 16メートル下の地上床に墜落した。	30309	1	1～ 9
2000	11	11 ～	ひさしにカラーベストを貼る作業中に、ひさしから3m30cm下の隣家の 敷地に転落した。	30209	1	1～ 9

		12				
2000	7	9 ~ 10	木造2階建住宅新築工事において、2階床の根太工程に入る準備作業として2階床大引上で柱の根元をノミでカットしているときに、バランスをくずし大引から足を踏み外して約3.5m下の1階床組みから土間コンクリート部分に転落した。	30202	1	1~ 9
2000	4	13 ~ 14	二階建木造住宅の新築工事で、通し柱に接続した梁の上で通し柱を固定しているときに、バランスを崩して約3.7メートル下のコンクリート床に墜落した。	30202	1	1~ 9
2000	4	16 ~ 17	屋根瓦葺き替え工事において、下屋部分の瓦設置の作業が終了し工具(カッター、電気コード)を持って梯子で降りているときに、バランスを崩して高さ3.6mの下屋から墜落した。	30202	1	1~ 9
2000	2	11 ~ 12	ベルトコンベア投入口の梁上を歩いていて墜落した。	30302	1	1~ 9
2000	1	9 ~ 10	屋根瓦一部修復工事において、屋根上(高さ約5.4m)から古い瓦土を入れた土のう袋(質量約20kg)を道路上のダンプトラックの荷台へ放り投げる作業を行なっていてバランスを崩し、アスファルト舗装道路上へ墜落した。	30209	1	1~ 9
2000	12	11 ~ 12	鉄骨3階建の住宅新築工事において、3階梁上(高さ6m)でボルトの本締め作業を行っていたときにバランスを崩し、地上の基礎コンクリート上に墜落した。	30201	1	1~ 9
2000	11	14 ~ 15	木造2階建住宅建設工事において、2階床梁部分の間柱落とし込み作業に使用する「かけや」を取りに行くため合板を敷いていない箇所の梁上を移動中に、バランスを崩して3.3m下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	10 ~ 29
2000	10	16 ~ 17	3階建の建物の解体で、屋上で作業をしていたときに屋上部分が突然崩壊し、地上に墜落してコンクリートブロックと壁との間に腰部を挟まれた。	30209	5	1~ 9

2000	8	9 ～ 10	建築物の解体撤去作業で、高さ6mの屋根上のスレートを撤去していたときに誤ってスレートを踏み抜いて墜落した。	30201	1	1～ 9
2000	7	10 ～ 11	倉庫のスレート屋根付近の現在使用していない配管の撤去のためスレート屋根上に登っていたとき、スレート屋根を踏み抜き倉庫の床まで墜落(高さ4.97m)した。	30309	1	1～ 9
2000	4	8 ～ 9	パチンコ店の建築工事において、鉄骨の組立作業中に高さ約4.8mの2階梁から墜落して1階基礎の鉄筋が頭部を貫通した。	30201	1	1～ 9
2000	1	14 ～ 15	冷却塔に上がりファンの状態を点検していたときに、床板(厚さ3cm、幅18.2cm、米松材)が腐食していたため、床3枚を踏み抜いて13m下の水槽に墜落し溺死した。	10804	10	300 ～ 499
2000	10	11 ～ 12	新築工事現場において、10名で棟上げの作業を行っていたときに、棟上げの手伝いに来ていた大工が2階床面となる梁に掛け渡された足場板から基礎コンクリート面まで3.6m墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	10	8 ～ 9	木造家屋建築工事において、二階屋根の瓦葺き作業の前作業として防水シートの上に杉皮を葺く作業を行っていて、バランスを崩して6.7m下の一階土間コンクリートに墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	2	15 ～ 16	個人住宅のリフォームに伴う板金作業を高さ2.3mの庇上で行っていて墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	11	14 ～ 15	屋根改修工事において、屋根の下見のために屋根に登って移動中に、バランスを崩して8.5m下に墜落した。	30201	1	1～ 9
2000	10	13 ～ 14	2階建住宅の建設中、屋根の小屋梁に火打梁を取付けようとしたときにバランスを崩し約5.9m下のコンクリートに墜落した。	30202	1	1～ 9

2000	7	15 ～ 16	スレート屋根の修繕工事で、スレートの交換等の作業をほぼ終了し、最後の修繕を行うため明かり取り用のスレートに載ったところスレートがずれるように外れ、約5m下のコンクリート床に墜落した。	30201	1	1～ 9
2000	11	10 ～ 11	塗装作業で、屋根に掛かっていた足場あたりの塗り残し部分を塗るため、ひさし部分に移動はしごを掛けひさしに乗り移ったときに3. 1m下のアスファルト上に頭から墜落した。	30209	1	1～ 9
2000	2	9 ～ 10	外装フィルム接着のための墨出し作業中、外壁からはり出しているひさし(高さ4. 16m)からアスファルトの地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2000	8	8 ～ 9	米の乾燥小屋の瓦屋根ふき作業中、高さ4. 52mの屋根上から地上(コンクリート敷)に墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	7	14 ～ 15	寺本堂の屋根瓦葺き替え工事で、古い瓦の取り外し作業中に屋根の端から6. 41m下の地上へ転落した。	30202	1	10 ～ 29
2000	8	15 ～ 16	工場スレート屋根の張替工事において、張替材料を運搬中にスレートを踏み抜いて約10メートル下のコンクリート床へ墜落した。	30209	1	1～ 9
2000	3	11 ～ 12	鉄筋3階建の屋上で、アンテナの移設作業に使用するワイヤーロープ(30メートル)を引き伸ばすため屋上の端に向かって後ろ向きに移動していたときに、高さ30cmのパラペットを越えて9. 8メートル下に転落した。	30209	1	1～ 9
2000	9	10 ～ 11	爆発災害で屋根及び外壁等に被害のあった近隣事業場の応急措置を行う作業において、倉庫のスレート葺き屋根に穴が開いた箇所にビニールシートを被せる作業中にスレートを踏み抜き約9. 5m下に墜落した。	30309	1	1～ 9
2000	6	13 ～ 14	木造建築現場において、2階天井部の屋根を支える小屋束を建てるためのかすがい打設作業中に、2階天井の梁上で向きを変えようとしたときにバランスを崩し、途中1階天井梁にぶつかりながら6. 3m下の土間へ	30202	1	1～ 9

			墜落した。			
2000	4	13 ～ 14	木造2階建住宅建築工事において、2階床の骨組み上で荷上げ作業をしていて高さ3.5mの2階床骨組みから1階のコンクリート床に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2000	3	0 ～ 1	工場屋根の波板が強風のため破損したので屋根に上り、はずれた波板を留めようとしていて6.75mの屋根上の開口部から墜落した。	11209	1	10 ～ 29
2000	3	15 ～ 16	倉庫の解体工事において、午後3時の休憩のためスレート屋根を移動中に、スレートを踏み抜き約8メートル下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2000	3	16 ～ 17	2階建の屋根全面の塗装作業中、屋根(高さ7.2m)より墜落し死亡した。	30209	1	1～ 9
2000	3	9 ～ 10	ビル外側のガラス清掃で、7階屋上においてブランコの取付作業中に墜落した。	150101	1	1～ 9
2000	12	13 ～ 14	倉庫の解体作業中に、高さ5.37mのスレート屋根からコンクリート面に転落した。	30201	1	1～ 9
2000	11	10 ～ 11	2階建住宅の改築工事において、1階屋根を金属ルーフに葺き替えるための下地作業中に、軒先(高さ約4m)から敷地外の道路に墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	7	13 ～ 14	マンションの共用スペースの清掃を以て、最上階(9階)のフェンスの外の排水溝及び側溝の掃除を終え、フェンス内に戻ろうとしたときに足を滑らせて地上に墜落した。	150101	1	1～ 9
2000	7	9 ～	碎石を貯蔵、払出しする建物の解体作業中、床からの高さ約4.6mの梁の一方を他の作業者が切断し、梁上でもう一方をチェーンソーで切断し	30201	1	10 ～

		10	ていたところ梁が方杖を支点に回転したため墜落し、建物内の通路の手すりに胸部を強打した。				29
2000	4	16 ～ 17	木造家屋建築工事において、2階屋根上で破風板取付のため玄能で釘を打ちつけているときにバランスを崩し屋根軒先から1階のコンクリート床に墜落した。	30202	1		1～ 9
2000	4	13 ～ 14	軒高6mの2階建てアパートの屋根(勾配20度～30度)の塗装作業を行っていたところ、地面に墜落、死亡したものの。	30209	1		1～ 9
2000	12	11 ～ 12	木造2階建住宅工事現場において、2階屋根の垂木を取り付ける作業中に材料を取るため、屋根の母屋を移動中に誤って約7メートル下の1階コンクリート土間に墜落した。	30202	1		1～ 9
2000	4	15 ～ 16	3階建木造家屋建築工事で、2階の梁上で母屋の取付け作業を行おうとしたときに7mの高さから2階のコンクリート土間に墜落した。	30202	1		1～ 9
2000	5	13 ～ 14	鉄骨平屋建工場の改築工事において、既存のスレート屋根を取り外す作業のためスレート屋根に上っていて、スレート屋根を踏みぬき約4.5m下のコンクリート床面へ墜落した。	30201	1		1～ 9
2000	4	9 ～ 10	木造住宅新築工事現場で、2階のバルコニーを構成する桁と桁の間に小梁を取り付けていたときに、バランスを失って梁付近の開口部から約4m下の1階土間コンクリートへ頭部より墜落した。	30202	1		1～ 9
2000	11	14 ～ 15	屋根改修工事現場において、棟木取付け作業のため屋根上を移動していて約7.2メートル下の地面に墜落した。	30209	1		1～ 9
2000	9	16 ～ 17	一般住宅の解体工事において、軒高約3.5mの屋根上で手作業により瓦の撤去を行っていて、瓦を止めていた針金を外すために腰袋から金槌をとろうとしたときに腰袋からスケールが落ち、それを拾おうとして足を滑らせ墜落した。	30202	1		10 ～ 29

2000	9	9 ～ 10	木造建築工事現場において、2階ベランダの根太取付中に高さ3.59メートルの開口部より墜落し、地上のアンカーボルトが胸を貫通した。	30202	1	1～ 9
2000	9	13 ～ 14	駅トイレの屋根の塗装作業中に高さ約3.4mの妻側から隣接する駐輪場に墜落した。	30209	1	1～ 9
2000	6	16 ～ 17	1階屋根の塗装作業中、屋根から足を滑らして約3.2m下に墜落し、鉄製柵で腹部を強打した。	30202	1	1～ 9
2000	7	14 ～ 15	倉庫のスレート屋根の補修作業の前に要補修箇所の確認を行い、次いで簡易処置(ビニールシート張り)を行う段取り中に、スレート屋根を踏み抜き8m下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	30 ～ 49
2000	6	14 ～ 15	屋根の葺き替え作業で屋根上にあがったときに、木毛板を踏み抜き7.5m下のコンクリート床に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2000	11	15 ～ 16	木造家屋の建て方作業で高さ4.83mの桁上で母屋をカケヤで外そうとしていたときに墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2000	9	11 ～ 12	ハウスの片側全面を新しい波形鋼板と半透明波形プラスチック板に取替る工事で、鋼板の位置合せのために鉄骨交差部上の垂木に腰を掛け、片手で鋼板を引き寄せようとしたときに垂木が折れて5.2m下の地上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2000	6	10 ～ 11	御堂屋根に銅板を張る改修工事で、棟木に「鬼飾り」を取付ける作業中に屋根から滑り落ちて、外部足場の作業床と手摺の間からすり抜けて3.7m下のアスファルト道路に墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	3	16 ～	倉庫新築工事の鉄骨建方作業で、アーチ状の屋根の垂木に昇って翌日に取付ける安全ネットの取付け位置を確認していたときに、バランスを崩	30201	1	1～ 9

		17	して5. 2m下のコンクリートの床に墜落した。			
2000	1	11 ～ 12	倉庫の屋根上の除雪作業が終わったので、他の5名は隣の屋根上に移動し、被災者は1人で、今まで使用していた親綱を撤去して小脇に抱えて屋根上を移動中に、天窓を踏み抜いて墜落した。	40301	1	10 ～ 29
2000	1	0 ～ 1	作業員が死亡した災害の現場検証が終了したので、屋根に置いたままにしてあったスノーダンプを取りに屋根に上り、歩いていたときに天窓を踏み抜き7. 5m下の倉庫内のコンクリ床に墜落した。	40301	1	10 ～ 29
1999	12	15 ～ 16	木造2階建アパートの新築工事現場で、移動式はしごで2階床の梁(高さ3. 27m)に上がったときに、墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	12	2 ～ 3	新築工事現場において、けた上(約4m)で作業中に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	10	16 ～ 17	台風で損壊した倉庫の破損した箇所にスレートを仮さしするため、に屋根上に登って移動中、スレートを踏み抜き約9メートル下に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
1999	11	9 ～ 10	鉄骨倉庫の解体作業で、高さ5mの屋根のスレートを取り外していたところ、スレートが割れてスレートと共に土間に落下した。	30201	1	1～ 9
1999	6	15 ～ 16	倉庫の雨樋の補修作業のため、屋根上で切断した既設の波形鉄板を搬出する作業を行っていたときに、木毛板を踏み抜き、約6メートル下の床上に転落した。	30309	1	1～ 9
1999	12	14 ～ 15	設備建設工事において、屋根の上で足場材料の荷降ろし作業中に天窓(採光用)のガラスを破り11. 2m下のベルトコンベアの上に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
1999	12	9 ～	倉庫解体工事現場において、屋根トタンを外す作業を行っていたときに厚さ1. 2センチメートルの木毛板を踏み抜き約8m下に墜落した。	30209	1	1～ 9

		10				
1999	12	10 ～ 11	木造2階建新築工事の棟上げ作業において、1階の登り梁を移動中に足を踏み外して約4.6メートル下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	12	14 ～ 15	旅館の鳩除けのネットを取付ける作業中、作業床としていた2階軒屋根(地上高5.93m)から墜落した。	30309	1	1～ 9
1999	12	15 ～ 16	鉄骨造工場の増築工事現場において、木毛板を屋根に葺くため屋根の上で同僚と運搬中に、木毛板を踏み抜き約4m下の地上に頭から墜落した。	30201	1	10 ～ 29
1999	12	14 ～ 15	木造作業小屋の新築工事において、2階吹き抜け部分に渡した足場板(長さ3.6m×幅19cm×厚さ4cm)を桁(幅12cm)の上で移動させようとしたときに、足場板の片方が桁から外れ、足場板と共に約3.6m下のコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	3	8 ～ 9	ビル改築工事で建物を解体する前に商品の搬出作業をすることになったが、朝から雨が降っていたので商品の濡れるのを防ぐためビニールシートを建物のパラペット部分と横はけしたトラックの荷台のあおりに取り付ける作業中、パラペットの骨組み部分から屋根のシートを突き破り約3.7メートル下のコンクリート地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
1999	12	15 ～ 16	焼却場のダイオキシン除去設備の新築工事現場において、建屋の鉄骨を固定するためのボルトを仮差し作業中に、高さ9mの鉄骨梁から墜落した。	30203	1	10 ～ 29
1999	11	17 ～ 18	保育園の2階屋根上に暖房用ボイラの膨張タンクを取付ける工事において、配管の状況を確認するため屋根上(勾配17.5度)を移動中に、足を踏み外して1階の屋根に転落し、さらに地上へ転落した。	30301	1	50 ～ 99
1999	11	13	工場の改修工事で、外階段のボルト頭の塗装作業のため、足場から階段の屋根に乗り移って移動中、足を滑らせて約4.4メートル下のアスファ	30209	1	1～ 9

		14	ルトに墜落した。			
1999	10	10 ～ 11	倉庫天盤部の屋根材(スレート)補修作業で、屋根中央部に登り補修材料(スレート)の見積もりをされていてスレートを踏み抜き5.62メートル下のコンクリート床に墜落した。	30302	1	1～ 9
1999	11	11 ～ 12	鉄骨造平屋倉庫の新築工事で、鉄骨の上棟のため高さ約4.7mの梁の上でシノをテコにしてボルト穴の調整をしていたところ、シノが外れた反動でバランスを崩し地上に転落した。	11209	1	1～ 9
1999	11	9 ～ 10	神社本堂の改修工事現場において、屋根上(軒下2.79メートル)で瓦葺き作業を行っていたときに、バランスを崩して地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	11	9 ～ 10	木造2階建て住宅の新築工事現場において、屋根の上に下地であるシートを貼る作業を行っていたところ、風にあおられ高さ6.4mの屋根の端より地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
1999	11	11 ～ 12	倉庫(木造平屋建)のスレート葺屋根の災害復旧工事で、防水シート掛け作業中にスレート葺屋根を踏み抜き約5m下に転落した。	30202	1	1～ 9
1999	9	16 ～ 17	工場の原土倉庫(スレート葺き)屋根の補修作業で、スレート(4枚)の交換作業を終えて目地及びフックボルトの穴等のコーキングをしているときに、樹脂製の明かり取り用波板(バンボライト)を踏み割って約10m下の土場に墜落した。	10909	1	10 ～ 29
1999	11	11 ～ 12	台風被害復旧でスレート屋根の修理作業中、誤ってスレートを踏み抜き約5m下のコンクリート土間に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
1999	11	13 ～ 14	工場屋根のスレート葺き替え工事で、事前点検のため、スレート屋根上に上がったときに、腐食していた母屋が折れたため、高さ約3.7メートル下のコンクリート上に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
		11	木造2階建て住宅新築工事現場で、屋根に防水紙を貼る作業中に、屋根か			300

1999	11	～ 12	ら7.5m下の地面に墜落した。	30202	1	～ 499
1999	9	10 ～ 11	屋根と屋根との間の清掃で、となりの棟に移動するときに、スレート屋根を踏み抜き墜落した。	30209	1	10 ～ 29
1999	11	0 ～ 1	木造家屋2階建て建築工事において、建屋2階梁上で建屋南側の角に隅木を取り付けるため、ノミ及びノコを使用して切り欠きを作っていたときに約7メートル下の建屋1階床上に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	11	10 ～ 11	小学校校舎の屋根上に設置された給水用高架水槽の外壁塗装工事で、勾配のある屋根上に移動式クレーンで吊り上げられ仮置きされた鋼管枠足場の束の番線を切断したところ、鋼管枠足場が崩れて足場もろとも13m下のアスファルトの地上に墜落した。	30309	1	1～ 9
1999	10	11 ～ 12	台風の影響を受けた倉庫屋根の波形スレートの取り替え工事を行っていて、屋根下地の木毛板を踏み抜き約6、3メートル下へ墜落した。	30201	1	1～ 9
1999	11	0 ～ 1	マンションの10階屋上で基準点の測定を終了し、両手に器材(アルミ梯子約9.8Kgと測量器約8Kg)を持ち1階へ降りるときに、最短距離を通ろうと屋上のパラペット外側の底を通ったためバランスを崩し、10階屋上から地上へ墜落した。	170209	1	50 ～ 99
1999	11	16 ～ 17	木造2階建住宅の新築工事現場において、2階の軒桁上(高さ6.3m)に立ち小屋梁を組み込もうとしたときに、小屋梁の受け口となる補強材が脱落したため、組み込もうとした小屋梁が落下し、同時にバランスを崩して外部足場に激突したのち、躯体と足場の隙間から1階のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
1999	9	9 ～ 10	コンプレッサー室の屋根補修作業を行っていて、3m下の地面に墜落した。	10909	1	10 ～ 29

1999	10	9	スレート屋根上に集積していた土のう袋を移動式クレーンを使用して吊りおろす作業で、土のう袋を持って移動していたときに、スレートを踏み抜き、7m下の工場敷地に墜落した。	30309	1	1～9
1999	9	11～12	住宅の修善工事の見積もりのため屋根に登って雨漏りの状況を点検して高さ2.58メートルの屋根から降りようとしたときに墜落した。	170209	1	100～299
1999	10	8～9	鉄骨組立て作業で、クレーンで梁を吊って両端をボルト締めをしたのちに、梁に掛かっていたクランプを外そうと安全帯を外して梁にまたがって外しに向かったときに、バランスを崩して高さ4.24mから墜落し地面から出ていた鉄筋に脇腹が刺った。	30201	1	1～9
1999	10	10～11	2階建家屋の屋根塗装工事現場において、地上から約6.5メートルの高さにある2階の屋根上で塗装作業中に地上まで墜落した。	30202	1	1～9
1999	10	10～11	建築工事において、鉄骨建て方中の3階部分にコンデンサーを設置するため、一人で高さ7.28mの梁(H鋼)の上に乗し、すみ出し作業を行って墜落した。	80109	1	30～49
1999	9	16～17	台風により破損した屋根の修理を行っていて、屋根の庇(高さ6.24m)から墜落した。	30209	1	10～29
1999	10	9～10	台風災害復旧工事のため、工場建屋のスレート屋根に上りコーキング作業を行っていて、高さ約8メートルのスレート屋根を踏み抜き墜落した。	30209	1	10～29
1999	9	16～17	スレート屋根上(高さ16.2m)で台風により破損したスレートの葺き替え作業中、屋根スレートを踏み抜き高さ16.2mのスレート屋根から地上に墜落した。	30209	1	1～9
1999	9	16～	鉄骨2階建新築工事現場で鉄骨の組立作業中、高さ3.4メートルの鉄骨梁(幅12.5センチメートル)から墜落し、基礎コンクリートから立ち上げ	30201	1	10～

		17	てあった鉄筋(高さ44センチメートル、直径10ミリメートル)が左頬から後頭部に貫通した。				29
1999	9	14 ～ 15	木造2階建住宅新築工事において、2階屋根の梁に載ってクレーンで吊り上げられた木材を受け止める作業中に、地上に墜落した。	30202	1		1～ 9
1999	10	11 ～ 12	工場の樋、水切り等の交換、補修工事の見積もりのため、屋根に登って調べているときにスレート板を突き破り、高さ約4m下に墜落したものの。	30309	1		1～ 9
1999	9	14 ～ 15	木造住宅建築現場において、屋根上で「もや」に「たる木」を取付けているときにバランスをくずして7.4m下の地面に墜落した。	30202	1		10 ～ 29
1999	9	10 ～ 11	育苗土を保管する小屋の屋根の錆止めのため、コールタールを塗っていたところ、傾斜約27度の屋根から約5メートル下の地面に墜落した。	30106	1		10 ～ 29
1999	8	15 ～ 16	材料置場にショベルローダーを保管しておくため、単管で車庫を組立て波トタンを取り付けるために屋根上を移動中に端部から約4.5m下の地面に墜落した。	40301	1		10 ～ 29
1999	9	9 ～ 10	新築工事において、トタン板を葺く準備作業中にトタン板を張る下地となる木毛板を踏み抜いて高さ6.97m下のコンクリート床上に墜落した。	11209	1		30 ～ 49
1999	9	11 ～ 12	木造家屋の増築工事において、車庫の上に増設するため車庫の屋根材(スレート平板)をバリを使ってはがして3.6m下のコンクリート面に墜落した。	30202	1		1～ 9
1999	7	8 ～ 9	玄関用屋根の改修作業で、屋根の梁(もや)を切断する作業中にバランスを崩し約4m下の玄関入り口付近の地面に墜落した。	30202	1		10 ～ 29
		9	一般木造住宅の建設で、2階の梁を取付けていて約3.6m下の一階コン				1～

1999	7	～ 10	クリート面に墜落した。	30202	1	9
1999	8	9 ～ 10	鑄造工場のガス取り出し金具取り替え工事で、キューポラ上部ふたの開閉金具の取り外し作業中、安全帯をかけかえるため、安全帯を外し、開閉金具に手をかけたところ、止め金が腐食していたため外れて、約3m下の屋根へ開閉金具とともに転落し、さらにスレート屋根を突き破って約15mに墜落した。	30309	1	10 ～ 29
1999	8	11 ～ 12	新築工事現場の建前当日、小屋組み作業において筋かいを取り付ける作業中、小屋梁から1階(コンクリート基礎)に墜落(6.3m)した。	30202	1	10 ～ 29
1999	8	11 ～ 12	高さ3, 55メートルの事務所の屋根を解体中に、屋根もろとも墜落した。	30201	1	10 ～ 29
1999	7	9 ～ 10	工場の冷房用クーリングタワーの電源工事で、工場外壁に配管用の穴を開けるため建物の底にのり穴あけ位置を確認しているときに約4.7メートル下に墜落した。	30301	1	10 ～ 29
1999	7	0 ～ 1	2階のルームエアコンの取り替え工事で、1階屋根部分で古いエアコンの室外機を取り外そうと作業しているときに、屋根の端(高さ約4メートル)から隣接するマンションの駐車場に墜落した。	30302	1	1～ 9
1999	4	14 ～ 15	スレート屋根葺き替え工事において、常設されている鉄板歩道から歩み板(約25cm幅の板を2枚横に並べたもの)を渡って作業箇所に向かう途中で、屋根の最上部から下りにさしかかったときにバランスを崩し、約11m下の地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
1999	7	14 ～ 15	木造建築新築工事において、2階の垂木取付作業中、足を踏み外して2階床部分の木材に一度当たったのち1階床のコンクリートに墜落した。	30202	1	1～ 9
		13	個人住宅の瓦葺き替え工事において、既設瓦を撤去した後、2階屋根下			1～

1999	7	8 ～ 9	木造2階建住宅の新築工事で、2階の屋根上で天窓の取り付け作業を行って足を滑らせ、約6m下のアスファルト道路に転落した。	30202	1	1～ 9
1999	6	14 ～ 15	木造2階建住宅新築工事現場において、枠組み工法におけるトラスを仮止めしたのち、隣あうトラスの間を渡す棟木の固定していたところ、トラスが倒れ約5.5m下の一階床まで墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	6	16 ～ 17	製缶工場の屋根改修工事で、屋根の長尺トタンとその下に敷かれている木毛板が取除かれた小梁の上で長尺トタンの止め金物を外そうとしたときに木毛板を踏み抜き、工場内の部材置場の部材上まで約8m墜落した。	11503	1	10 ～ 29
1999	6	15 ～ 16	傾斜地に建設中の別荘にバルコニーを設置するために、2本の桁の上に足場板を渡してその上で作業中、足場板を渡していた一本の桁が落ちたため、足場板と共に約7メートル下の川に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	3	15 ～ 16	高さ約5メートルの屋根の上で作業中に、開口部から墜落した。	30209	1	1～ 9
1999	6	0 ～ 1	屋上庭園の芝を刈払い機で刈っていたところ、後ろ向きで移動していたため屋上端のパラペットにつまづき、6メートル下のアスファルト道路へ墜落した。	60101	1	10 ～ 29
1999	5	10 ～ 11	製袋工場のスレート屋根に設けられた明かり取りに日差しよけの黒色ビニールシートを取り付けていたときに、スレート屋根を踏み抜き約9メートル下のコンクリート床に墜落した。	10602	1	100 ～ 299
1999	4	9 ～ 10	3階建木造住宅新築工事において、3階の木材梁の上でボルト締めをしているときにバランスを崩し、2階の梁に引っ掛かったのち約6m下の1階コンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	5	11 ～	工場の谷樋取り替え工事において、溶接用の発電機のスイッチを入れるため屋根下に降りたのち再び作業場所に戻るときに屋根の下地ボードを	30209	1	1～ 9

		12	踏み抜いてコンクリート床に墜落した。			
1999	5	15 ～ 16	牛舎に付属するサイロの屋根を修理していて、高さ5.75メートルのた るき上からコンクリート地面上に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	1	14 ～ 15	民家の外壁塗装工事において、一階の庇上を歩行中に約4m50cm下の道 路に墜落した。	30209	1	1～ 9
1999	4	14 ～ 15	自動車工場の解体現場において、片づけ作業でスレート葺の屋根に登っ ていたときに、採光用の塩化ビニール窓を踏み抜いてピットまで墜落し た。	30201	1	10 ～ 29
1999	5	11 ～ 12	製材工場のスレート葺き屋根の雨漏りを修理するため屋根に上がったと きに、スレートを踏み抜いて約5.7メートル下のコンクリート土間に墜 落した。	10401	1	1～ 9
1999	4	15 ～ 16	国民宿舎で、屋上の雨漏りの点検中に12メートル下のコンクリート路面 に転落した。	140101	1	10 ～ 29
1999	4	17 ～ 18	木造平屋建てのガレージ兼倉庫の新築工事で屋根板の上に防水シートを 固定する作業中、バランスを崩したため転がり落ちるようにして軒下約 4.3メートルの石垣上に墜落し、さらに1.3メートル下の地面に転落し た。	30202	1	1～ 9
1999	4	17 ～ 18	二階建カラオケボックス屋上のネオンサイン取り付け工事において、一 部ペンキの塗り残しがあったので、屋上に上がっていた2人のうち1人が 下にペンキを取りに行った間に、屋上に残った者が約高さ10メートルの 所から墜落した。	30309	1	10 ～ 29
1999	4	16 ～ 17	工場であった建物を倉庫とすることに伴って建屋の屋根を塗装すること になり、塗装前の水洗を行っているときにスレート屋根を踏み抜き約7 メートル下の工場内のピットに墜落した。	30209	1	1～ 9

1999	4	8 ～ 9	スレート屋根の葺き替え作業中に、スレートを踏み抜き高さ5.65mから土間コンクリート上に墜落した。	30209	1	1～ 9
1999	3	14 ～ 15	木造2階建住宅の新築工事現場において、高さ約8メートルの位置にある大屋根棟木上に乗って切り妻側の破風板を取りつける作業を行っていて地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	3	15 ～ 16	木造2階建住宅新築工事において、2階梁上で部材のボルト締め作業を行っているときに、1階コンクリート土場に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	3	13 ～ 14	石材店のトタン板葺替工事中、明かり採りの塩ビ波板を踏み抜いて約5.7メートル下の加工石上に墜落した。	30209	1	1～ 9
1999	1	15 ～ 16	木造平屋建新築工事において、屋根の野地板に使用するパネル一枚を運搬しているときに、足をすべらしてパネルと共に屋根上をすべって地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	1	13 ～ 14	老朽化したスレート屋根をトタン屋根に葺き替え工事で、屋根に上がり準備していたときにスレートを踏み抜き4、5メートル下に墜落した。	30209	1	1～ 9
1999	2	10 ～ 11	木造平屋建ての住宅新築工事で、屋根上で瓦葺き工事を行っていて高さ約3.3メートルの軒先から墜落した。	30202	1	10 ～ 29
1999	2	0 ～ 1	屋根上にあるエアコンの室外機を修理するため屋根に登って室外機に向かったときに、スレートの屋根を踏み抜き約6m19cm下のコンクリート床に墜落した。	11702	1	10 ～ 29
1999	1	11 ～ 12	民家の屋根葺き替え工事で2階屋根部の野地板上の土を土嚢袋に詰め一階屋根部に降ろす作業を中に一階屋根のひさしから約3m70cm下部の溝に墜落した。	30202	1	10 ～ 29

1999	1	8 ～ 9	住宅の屋根に1mほど積もった雪下ろし作業中、誤って屋根から約5m下のコンクリート通路に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	1	9 ～ 10	寺の屋根の雪下ろし作業で、屋根から下ろした雪で窓が割れないように、コンパネをあてようとしていたところに、高さ約7mの軒に垂れ下がっていた雪が落下し、下敷きとなった。	30209	4	1～ 9
1999	1	8 ～ 9	雨漏り修繕の依頼を受けて、瓦をはがしていたときに、野地板を踏み抜いて約2.7m下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_02.html